授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
文章表現	演習	2	必修	必修	必修	1年・後期	先川 尚美
科目コード SGAAB10001							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。
授業の目的・概要	学生時代及び社会生活において、小論文やレポート、報告、伝達、記録等、自分の考えや、伝えるべき事柄を的確な文章によって表現することが求められる。また、相互のコミュニケーションを取る上で、音声言語による表現力は必要不可欠な能力と言える。授業では、基本的な日本語の表現技術、伝える力を身に付けることを目的とし、実践的な練習を通して、文の構造、分かりやすく明快な文章を書く技術、敬語表現、ビジネス文書、手紙の書き方を学ぶ。更に、日本語音声の特徴を踏まえ、相手に理解される話し方を学ぶ。
到達目標	① 分かりやすく簡潔な文章表現ができるようになる。 ② 音声表現の基礎を学び、伝達手段としての理解を深める。 ③ 日本語の敬語表現を理解し、正しく表現できる。 ④ レポート、小論文、グラフの書き方を理解する。 ⑤ 手紙、ビジネス文書、履歴書、メール等が正しく書けるようになる。
授業の進め方	様々な資料、例文等を題材に、日本語の文章表現を多角的に学ぶ。 課題に則した文章を書くという実践を通じて、文章表現力を養う。 例題を元に、テーマに沿って音声表現を学ぶ。

第 1 回	文章を書く目的
【学修内容】	思考を文章化することの意義を理解し、簡潔な表現と内容要約(新聞記事要約）を学ぶ。
【事前学修】	食物栄養科に関係する新聞記事を探し、目を通す。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理し、内容要約に関する課題をまとめる。（2時間）
第 2 回	文の構造Ⅰ
【学修内容】	文章における主語と述語の関係、語順、修飾語について学ぶ。
【事前学修】	前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）
第 3 回	文の構造Ⅱ
【学修内容】	助詞の使い方、読点の打ち方を理解する。
【事前学修】	前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）
第 4 回	文の構造Ⅲ
【学修内容】	接続詞について学び、話し言葉と書き言葉について理解する。
【事前学修】	前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間）
第 5 回	話し方Ⅰ
【学修内容】	音声言語表現の特徴、発声、発音の基礎を学ぶ。
【事前学修】	前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）
第 6 回	話し方Ⅱ
【学修内容】	自己紹介と挨拶のことば、説明と報告、電話のかけ方を学ぶ。
【事前学修】	前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　敬語表現Ⅰ 【学修内容】　敬語の特徴、尊敬語と謙譲語を理解する。 【事前学修】　これまでに学び普段使っている敬語を再確認し、授業に備える。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 8 回　敬語表現Ⅱ 【学修内容】　丁寧語と美化語、敬意表現、敬語の誤った使い方を理解する。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 9 回　文章の書き方Ⅰ 【学修内容】　手紙の書き方について学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 10 回　文章の書き方Ⅱ 【学修内容】　ビジネス文書の書き方について学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 11 回　分析と考察Ⅰ 【学修内容】　グラフ・表の利用と分析を理解する。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 12 回　分析と考察Ⅱ 【学修内容】　レポート、小論文の書き方を学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 13 回　就職活動に向けてⅠ 【学修内容】　履歴書、送り状などの書き方を学ぶ。日本語の語彙を増やす。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 14 回　就職活動に向けてⅡ 【学修内容】　エントリーシート、メールの書き方を学ぶ。 【事前学修】　前回の授業を振り返り、配付資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを整理確認し、ファイリングする。課題を解く。（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　確認と総括　語彙を増やす。全授業内容を振り返り、内容を再確認し理解する。 【事前学修】　すべての配付資料に目を通し、まとめ、ファイリングする。（2時間） 【事後学修】　授業全体で学んだことを整理・確認し、まとめる。課題を解く。（2時間）
評　価　方　法	各講義での参考資料を基に筆記試験を実施（80%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。 授業プリントを配付する。
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
心理学の世界	講義	2	選択	選択	選択	1年・前期	田　鍋　佳　子
科目コード　SgaaA10002							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	保育関係の仕事に限らず、広く活用できるよう、楽しみながら積極的に受講すること。
授業の目的・概要	①　現代社会に生きるため、自分や周りの人間の理解と関係の維持、又は、専門分野の仕事に心理学の知識が参考になると考える。本講義は、人間の心と行動を理解しようとして、欧米で発達し展開されてきた学問を紹介することが主の目的である。 ②　講義は具体的に次の３つの内容で構成される。（１）心理学の概念・用語（２）個人の心的過程（３）個人と集団とのかかわり　これらを中心にし、授業を聴きながらこれらについてノートを取ることが学修にとって重要である。
到達目標	人の基本的認知能力について概観し、個人と個人ないし社会と個人の関係において生じる心理的事象について考察する。その上で、私たち自身が実際に組織や広く社会の中で、よりよいパフォーマンスを生み出すためにはどうしたらよいかを考え、実践へとつなげていく。
授業の進め方	授業は、配付資料に基づき行う。 毎時間、講義内容に関連した課題を課す。

第　１　回	心理学的発想と心理検査法
【学修内容】	様々な心理検査手法を学び、“心理学的に考える”とはどういうことかを理解する。
【事前学修】	自分の体験を振り返りつつ「心理学」とは何か、自分なりの意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　２　回	感覚・知覚・認知
【学修内容】	人間の基本的な感覚・知覚・認知機能について概観する。
【事前学修】	普段我々が外界の情報をどのように処理しているか、振り返り自分なりにまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　３　回	記憶のメカニズム（１）
【学修内容】	記憶の種類と基本的なメカニズムを理解する。
【事前学修】	自分なりの「記憶する」時の習慣や特徴について、振り返ってまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　４　回	記憶のメカニズム（２）
【学修内容】	記憶のバイアス・誤りについて理解し、司法面接法を学ぶ。
【事前学修】	うまく思い出せない／記憶が間違っていたなどの自分自身の具体的体験をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　５　回	対人スキル
【学修内容】	コミュニケーションにおいて必要な対人スキルを学ぶ。
【事前学修】	他者と上手くいった／いかなかった体験などを振り返り、そのプロセスをまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　６　回	ストレスとコーピング
【学修内容】	ストレスの仕組みを知り、疾病との関連を理解し、対処方法を考える。
【事前学修】	自分でストレスだと感じることや自分なりの対処方法について、振り返ってまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

授　業　計　画	第 7 回　言語と発達 【学修内容】　新生児の言語発達段階を学び、その諸問題やその後の発達について理解する。 【事前学修】　自分自身の乳幼児期の言葉に関するエピソードを養育者から聞き取りまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 8 回　自己理解の心理過程 【学修内容】　自己概念の種類と形成過程について学ぶ。 【事前学修】　自分自身をどのように捉えているか、改めて見つめ直してまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 9 回　他者理解の心理過程 【学修内容】　他者を理解する際に陥りやすい認知バイアスについて学ぶ。 【事前学修】　普段、他者を理解する際にどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 10 回　説得的コミュニケーション（1） 【学修内容】　説得に利用される心理メカニズムについて学ぶ。 【事前学修】　普段他者を説得するときにどのような点に気をつけているか、振り返ってまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 11 回　説得的コミュニケーション（2） 【学修内容】　具体的な説得テクニックと騙されないための予防策を学ぶ。 【事前学修】　他者から意図せぬ説得を受けた体験を思い出し、具体的エピソードをまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 12 回　集団意思決定（１） 【学修内容】　集団で議論する際に陥りやすい問題点について学ぶ。 【事前学修】　集団で議論した実際の場面を思い出し、そのプロセスや特徴についてまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 13 回　集団意思決定（２） 【学修内容】　よりよい意思決定に至るための集団技法を学ぶ。 【事前学修】　前回の講義で学んだ集団意思決定の落とし穴に相当する体験を思い出してまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 14 回　非対面コミュニケーション 【学修内容】　非対面状況でのコミュニケーションの利便性と危険性、デマ・流言に影響を受けるプロセスについて学ぶ。 【事前学修】　インターネットを利用する中で経験した様々な諸問題をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　半期間の講義内容を総括し、今後の生活にどのように活かすか議論する。 【事前学修】　半期間の講義を振り返り、自分自身の生活との関わりについて考える。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
評　価　方　法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）
教　　科　　書	使用しない。資料を授業時に配付する。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生活と法律	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	髙　野　俊太郎
科目コード　SgAAA10003							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	講義において触れる各種法律は、社会人として、最低限知っておくべきものが大半であるので、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	日本国憲法は、自由権・平等権等の人権規定を定めて、国民に当然保障されるべき権利・自由を高らかに宣言するとともに、それを脅かす国家権力の濫用が行われないような統治機構の仕組みについて規定している。 本講義では、主に国民に保障されている自由権・平等権・社会権等の人権規定につき概説する。その際、憲法違反を争って裁判となった事例・憲法が日常生活に関係する事例等を挙げて、その問題点を学生自身が探求することで、憲法の理念とその重要性につき理解を深めることを目的とする。 また、憲法以外にも、生活を送る上で必要となる法的知識について、具体的事例をあげて紹介、解説を行う。
到達目標	①　法学全般・憲法学の基本的な考え方を理解させる。 ②　法律全般に対する理解を深め、今後の社会生活の一助とさせる。
授業の進め方	毎回必要なレジュメを配付の上、講義形式で授業を進める。
	第 1 回　法全般と憲法の概念について 【学修内容】　法全般と憲法の基本的な考え方を理解するとともに裁判手続全般に対する理解を深める。 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　配付したレジュメ等を復習する。（2時間） 第 2 回　基本的人権総論（人権を保障される者の範囲） 【学修内容】　人権享有主体性（特に外国人の人権）について理解するとともに、裁判員裁判の内容を理解する。 【事前学修】　前回のレジュメを確認し、憲法の考え方を確認しておく。（2時間） 【事後学修】　配付したレジュメ等を復習する。（2時間） 第 3 回　基本的人権総論（人権保障の限界） 【学修内容】　公共の福祉概念に関する理解を行うとともに、債務整理制度について理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間） 第 4 回　二重の基準と法の下の平等 【学修内容】　違憲判断の際の基本的考え方と平等原則について理解し、家事事件の基本を学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間） 第 5 回　精神的自由権全般といわゆるDVに対する法的な対応 【学修内容】　自由権と社会権の区別と精神的自由権の重要性について理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配布したレジュメを確認する。（2時間） 第 6 回　報道の自由及び取材の自由と他の利益との調整 【学修内容】　報道の自由等の重要性について理解するとともに、いわゆるセクハラとその法的対応を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　憲法に規定のない新しい人権（プライバシー権、名誉権）の保障とストーカー対策 【学修内容】　憲法に規定のない人権が保障される理由やその法的構成を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（2時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 8 回　信教の自由と交通事故対応 【学修内容】　信教の自由の重要性とその制度的保障である政教分離原則を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 9 回　経済的自由権と規制目的二分論、悪徳商法 【学修内容】　経済的自由権とその制約根拠について理解するともに、悪徳商法への法的な対応を理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 10 回　財産権及び国家に対し国民が請求できる権利と労働問題全般 【学修内容】　財産権の構造等について理解するとともに、労働問題についての理解を深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 11 回　社会権全般と労働問題全般 【学修内容】　自由権と社会権の区別を行い、社会権全般を理解し、労働問題の理解をさらに深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 12 回　教育を受ける権利と民事裁判の基本 【学修内容】　教育を受ける権利の特殊性を理解し、民事裁判の基本的なルールを学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 13 回　労働者特有の権利及び子育てとその法的支援 【学修内容】　いわゆる労働三権を理解し、日本における出産・育児への法的支援制度について学ぶ。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 14 回　国民の権利・自由を守るための統治機構の仕組み（三権分立） 【学修内容】　国家権力の仕組みを理解し、それがどのように国民の権利を守っているかを理解する。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間） 第 15 回　憲法の重要性についての総括等 【学修内容】　これまでに行った講義の内容を総復習し、憲法全体の理解を深める。 【事前学修】　前回までに配付したレジュメを復習する。（２時間） 【事後学修】　今回配付したレジュメを確認する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（100%）
教　　科　　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	実務経験のある教員：検事、弁護士の実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
国際文化	講義	2	選択			1年・後期	南部ユンクィアンしず子 ほか
科目コード　SgZZA10004							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	国際社会へ広く目を向けて、楽しみながら積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	国際文化とは、世界の国々に目を向け、その国の歴史、自然、経済、教育等について学びながら、各国の現在の状況を把握し、それを根底として成り立つ文化を理解することである。 他国の文化への理解を深め、柔軟な発想で社会の諸問題に対応できる洞察力や問題解決能力を養うとともに、改めて日本の文化を敬愛する心を育てる。
到達目標	①　世界の国々に目を向け、文化や歴史について理解を深め、国際交流の視点から考察する。 ②　世界各国の異文化とのかかわりについて相互理解する。
授業の進め方	本講義では、ビデオやスライド、外国人講師による授業も含めながら、各国の文化を肌で感じられる講義を通して理解を深める。
	第 1 回　国際文化の概論、ヨーロッパの文化　Ⅰ 【学修内容】　シラバスに沿って授業の概要を説明し、ヨーロッパの文化について理解を深める。 【事前学修】　事前にシラバスに目を通し、授業の主旨について確認する。（2時間） 【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（2時間） 第 2 回　ヨーロッパの文化　Ⅱ 【学修内容】　第1回目の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。 【事前学修】　前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる（2時間） 【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（2時間） 第 3 回　ヨーロッパの文化　Ⅲ 【学修内容】　第1回、第2回の授業内容に引き続き、ヨーロッパの文化について理解を深める。 【事前学修】　前回の授業内容を振り返り、ヨーロッパの国々の文化や歴史について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業内で配付した資料等を参照し、ヨーロッパの文化について学修内容をまとめる。（2時間） 第 4 回　日本の文化　Ⅰ 【学修内容】　年中行事と行事食 【事前学修】　日本の年中行事にはどのようなものがあるか、また食とのつながりについて調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだ年中行事の中で特に興味を持ったものについてさらに調べる。（2時間） 第 5 回　日本の文化　Ⅱ 【学修内容】　日本茶の基礎知識：歴史と伝来 【事前学修】　日本茶のルーツや世界の茶事情を調べる。（2時間） 【事後学修】　伝来した茶がその後どのように普及していったかを調べる。（2時間） 第 6 回　日本の文化　Ⅲ 【学修内容】　日本茶の基礎知識：正しい茶の淹れ方 【事前学修】　日本の主な茶の生産地について調べる。（2時間） 【事後学修】　実際に入れてみた経験をもとに、それぞれの茶の特徴をまとめる。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　日本の文化　Ⅳ 【学修内容】　郷土料理と伝統・地域野菜 【事前学修】　日本の郷土料理について、どのようなものがあるか調べておく。（２時間） 【事後学修】　自分の出身地の郷土料理や特徴ある野菜について調べ理解を深める。（２時間） 第 8 回　アメリカの文化　Ⅰ 【学修内容】　概要、歴史、選挙制度について学ぶ。 【事前学修】　アメリカ合衆国について、地理・歴史など基本情報を調べ確認する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、地理、歴史、選挙制度について学んだことを復習する。（２時間） 第 9 回　アメリカの文化　Ⅱ 【学修内容】　人々の暮らしについて学ぶ。 【事前学修】　現代のアメリカ合衆国に関するニュースなどを調べ情報収集する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、アメリカの人々の暮らしについて学んだことを復習する。（２時間） 第 10 回　イスラムの文化　Ⅰ 【学修内容】　イスラム圏の人々と宗教、美術、食文化について学ぶ。 【事前学修】　イスラム教の国々について新聞記事やニュースなどから情報収集する。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、イスラム圏の人々の暮らしについて学んだことをまとめる。（２時間） 第 11 回　イスラムの文化　Ⅱ 【学修内容】　エジプトの歴史、食文化について学ぶ。 【事前学修】　前回資料からイスラム圏の文化を再確認し、エジプトの基本情報を調べる。（２時間） 【事後学修】　配付資料を確認し、エジプトの歴史や人々の暮らしについて学んだことを復習する。（２時間） 第 12 回　アジアの文化　Ⅰ 【学修内容】　台湾の歴史をオランダ人、明、清、日本と蒋介石の統治を経て今日までの概略を理解する。 【事前学修】　台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、日本との関係を考え討論する。（２時間） 【事後学修】　講義の資料について更に調べ理解を深める。（２時間） 第 13 回　アジアの文化　Ⅱ 【学修内容】　今日の台湾の日常生活（特に食、住や音楽）を紹介し認識してもらう。 【事前学修】　台湾に関する書籍やインターネットの情報に目を通し、授業で学んた事を振り返えり討論する。（２時間） 【事後学修】　講義の資料について更に調べ理解を深める。（２時間） 第 14 回　アジアの文化　Ⅲ 【学修内容】　韓国の食文化：年中行事、食文化 【事前学修】　韓国・韓国文化について調べておく。（2時間） 【事後学修】　講義で学んだ内容を復習し、感想や疑問点を書く。（2時間） 第 15 回　アジアの文化　Ⅳ 【学修内容】　韓国の大衆文化：韓国ドラマ、K-POP 【事前学修】　事前に予告した内容について自分で調べる。（2時間） 【事後学修】　講義で学んだ内容を復習し、感想を書く。（2時間）
評　価　方　法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）、平常点や受講態度など総合的に評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守 。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食科学の基礎	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	木野村美花・村山はるか 萩原はるか
科目コード　SgAAA10005							担当形態：クラス分け

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	演習課題等の取組みにより、自己の課題を明確にし、単元毎に問題点を解決しながら受講すること。
授業の目的・概要	人間の健康維持と増進には、人体そのものの構成物質やその担い手である食並びに食生活の科学的・総合的な考察が必要不可欠である。 本講座では、授業を数学分野と化学分野に分け、数学分野では、栄養士として必要とされる数学の基本的知識を理解するとともに、数学的な表現、処理方法を学修し、物事を数理的に考察する力を修得する。 化学分野では、高等学校までに学修した化学の内容を復習し、更に関連する専門科目を理解する上で基礎となる知識、併せて科学的な物事の捉え方と問題解決に必要な考え方を身に付ける。
到達目標	数学分野 栄養士に必要とされる様々な数学的な表現や処理方法を理解し、数理的に考察する力を修得する。 化学分野 化学的知識は、生化学、食品学、栄養学、生化学実験、食品衛生学実験、食品学実験等の理解に必要となることから、１年生前期に基礎知識の修得を目標とする。特に、原子や分子の成り立ち、元素記号や化学式について学修する。
授業の進め方	数学分野：教科書と配付プリントを用いて進める。 化学分野：パワーポイントと配付プリントを用いて進める。
	数学分野 第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。合わせてクラス分けテストを行う。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（1時間） 【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（1時間） 第 2 回　数と計算　食品成分表の活用 【学修内容】　食品成分表の使い方について理解する。 【事前学修】　食品成分表、ベーシックデータに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 3 回　式と計算　Ⅰ　栄養計算 【学修内容】　可食部重量の計算、栄養計算について理解する。 【事前学修】　前回、ノートに記載した公式に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 4 回　式と計算　Ⅱ　水の割合、調味の割合 【学修内容】　炊飯の水加減、ゆで物の水量と塩分濃度について理解する。 【事前学修】　水分量、塩分濃度について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 5 回　前半のまとめ 【学修内容】　前半の授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　前半までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 6 回　式と計算　Ⅲ　吸水率、吸油率 【学修内容】　吸水率、吸油率について理解する。 【事前学修】　吸水率、吸油率について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　　式と計算　Ⅳ　　栄養比率 【学修内容】　栄養比率について理解する。 【事前学修】　栄養比率について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 8 回　　数学分野のまとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 化学分野 第 1 回　　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（1時間） 【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（1時間） 第 2 回　　物質、元素、周期表 【学修内容】　物質、元素、周期表について理解する。 【事前学修】　物質、元素、周期表について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 3 回　　原子核と電子配置　Ⅰ 【学修内容】　原子核と電子配置について理解する。 【事前学修】　原子核と電子配置について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 4 回　　原子核と電子配置　Ⅱ 【学修内容】　原子核と電子配置について理解する。 【事前学修】　原子核と電子配置について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 5 回　　イオン結合 【学修内容】　イオン結合について理解する。 【事前学修】　イオン結合について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 6 回　　無機化合物と化学構造式 【学修内容】　無機化合物と化学構造式について理解する。 【事前学修】　無機化合物と化学構造式について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 7 回　　共有結合 【学修内容】　共有結合について理解する。 【事前学修】　共有結合について調べる。（2時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 8 回　　有機化合物と化学構造式 【学修内容】　有機化合物と化学構造式について理解する。 【事前学修】　有機化合物と化学構造式について調べる。（2時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）、平素の受講態度等。
教　　科　　書	数学分野：調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 化学分野：配付プリント
参　考　書 参 考 資 料 等	授業内で適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食科学の応用	演習	2	選択	必修	必修	2年・後期	食物栄養科教員ほか
科目コード　SgAAB20006							担当形態：複数

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	各科目での自己の問題点を明らかにするとともに、その解決に努めながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士に必要な基礎知識を再度整理して確認するとともに、栄養士としての資質向上を目指し、幅広く深い知識の修得を目的とする。
到達目標	栄養士に必要なすべての知識を総合的に理解し、身に付ける。
授業の進め方	講義及び栄養士実力認定試験過去問題の演習、プリント配付により授業を進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業概要の説明、栄養士実力認定試験について
【事前学修】　シラバスに目を通しておく。全科目の教科書および配付資料、ノートを確認する。（1時間）
【事後学修】　全科目の教科書および配付資料、ノートを確認する。（3時間）

第　2　回　　公衆衛生学
【学修内容】　公衆衛生学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　3　回　　社会福祉概論
【学修内容】　社会福祉概論のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　4　回　　解剖・生理学
【学修内容】　解剖・生理学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　5　回　　生化学
【学修内容】　生化学のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

第　6　回　　食品学総論
【学修内容】　食品学総論のまとめ
【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　食品学各論（食品加工学を含む） 【学修内容】　食品学各論（食品加工学を含む）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第　8　回　　食品衛生学 【学修内容】　食品衛生学のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第　9　回　　栄養学総論 【学修内容】　栄養学総論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し解決する。（2時間） 第10　回　　栄養学各論（応用栄養学） 【学修内容】　栄養学各論（応用栄養学）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第 11 回　　臨床栄養学概論 【学修内容】　臨床栄養学概論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第12　回　　栄養指導論 【学修内容】　栄養指導論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第13　回　　公衆栄養学概論 【学修内容】　公衆栄養学概論のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第14　回　　調理学 【学修内容】　調理学のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間） 第15　回　　給食管理論（給食計画論、給食実務論を含む） 【学修内容】　給食管理論（給食計画論、給食実務論を含む）のまとめ 【事前学修】　講義の前に該当する科目の教科書を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業を復習し、不明な点は教科書・参考書で調べる。自己学修により理解できないことは質問し、解決する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）平素の受講態度を加味する。
教　　科　　書	栄養士実力認定試験過去問題集（一般社団法人全国栄養士養成施設協会編、建帛社）
参　考　書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
情報処理	演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	中　山　理智恵
科目コード　SGAAB10007							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	世の中のあらゆるところで情報通信技術が使われている現代において、コンピュータやネットワークは、必要不可欠なものとなり、安全かつ有益に使いこなすことの重要性が高まっている。 この講義では、情報処理の基礎知識として、コンピュータの基本構成やオフィスツールの操作方法について学び、最終的には、実践的な側面からも完成度の高いドキュメントやプレゼン資料を作成できるテクニックと情報セキュリティなどを含めた幅広い知識を修得する。 進化する情報社会の中でICTの適切な利活用の仕方を探求し、履修や就職後のICT利活用の為に実用的な知識と操作能力を会得することを目的とする。
到達目標	①　基礎知識をしっかりマスターし、オフィスツールの様々な機能を駆使した課題を効率良く作成できるようにする。 ②　個々の基本的資質を高め、この授業をきっかけとして学んだことを実践の場で活用できる能力を養う。
授業の進め方	アプリケーションごとに操作技法を解説し、操作上の疑問点はその都度対応していく。 各回で説明した内容に対応した演習問題と指定課題を出題して修得状況を確認し、その後の授業内容を工夫しながら進めていく。また、アプリケーションごとに作成した操作ガイドを参考資料として授業内で配付するので課題作成時などに活用してもらう。 演習問題と指定課題については、授業内で解説する。

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方・留意事項）、PC 操作について解説	
【学修内容】	PC起動時に必要なパスワードの設定と、授業で使用するフォルダについて解説する。	
【事前学修】	PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第 2 回	Word による文書作成Ⅰ：文字書式・段落書式の設定、罫線作成	
【学修内容】	配布する操作ガイドと例題を使い、Wordの様々な書式設定について解説する。	
【事前学修】	PCキーボードの入力に不慣れな場合は、入力練習をしておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第 3 回	Word による文書作成Ⅱ：インデント・タブの設定、段組みの設定	
【学修内容】	例題を使い「インデントとタブ設定」「段組み」について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「インデントとタブ設定」「段組み」の項目について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第 4 回	Word による文書作成Ⅲ：ページレイアウトの設定、目次と表紙の作成	
【学修内容】	長文作成時に利用する「目次と表紙」「ページ番号」の設定について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「見出しの設定」「目次と表紙」について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第 5 回	Word による文書作成Ⅳ：SmartArtの作成、図形作成、図の挿入、図表番号の設定	
【学修内容】	図形作成のポイントと画像と文章のレイアウト、図表番号について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「Smartart」「図表番号」の項目について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
第 6 回	Word による文書作成Ⅴ：ヘッダー/ フッターの設定、ページ番号の設定	
【学修内容】	例題を使い「ヘッダー/フッター」と「ページ番号」の設定について解説する。	
【事前学修】	操作ガイドの「ヘッダー/フッター」「ページ番号」の設定について目を通しておく。	（2時間）
【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）

授　業　計　画	第 7 回	Word による課題作成	
	【学修内容】	授業で解説した操作を利用して課題を作成する。	
	【事前学修】	授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。	（2時間）
	【事後学修】	課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。	（2時間）
	第 8 回	Excelによるデータ処理Ⅰ：効率的なデータ入力と表作成	
	【学修内容】	Excelの基本操作と「データの入力規則」を利用したデータ作成について解説する。	
	【事前学修】	Excelを利用するとどのようなことができるかを考えてみる。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 9 回	Excelによるデータ処理Ⅱ：四則演算と関数を利用した計算	
	【学修内容】	例題を使い、計算式の作成とさまざまな関数の使い方を解説する。	
	【事前学修】	配布する操作ガイドに目を通してExcelの機能について確認しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 10 回	Excelによるデータ処理Ⅲ：グラフの作成と印刷設定	
	【学修内容】	グラフ作成の基本操作と表とグラフをバランスよく印字するポイントを解説する。	
	【事前学修】	操作ガイドの「グラフ作成」について目を通しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 11 回	Excelによるデータ処理Ⅳ：データベースの活用、条件付き書式の設定	
	【学修内容】	作成したデータを活かすためのデータベース機能と条件付き書式について解説する。	
	【事前学修】	操作ガイドの「データベース機能」について目を通しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 12 回	Excelによる課題作成	
	【学修内容】	授業で解説したExcelの操作を利用して課題を作成する。	
	【事前学修】	授業で行った内容を操作ガイドを用いて復習しておく。	（2時間）
	【事後学修】	課題作成時に困惑した点や操作についての解決策をまとめておく。	（2時間）
	第 13 回	PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅰ：基本操作	
	【学修内容】	スライドの作成と編集、ファイル保存までの操作を解説する。	
	【事前学修】	どの様な場面でPowePointを活用できるかを考えてみる。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 14 回	PowerPointによるプレゼンテーション資料作成Ⅱ：応用操作	
	【学修内容】	プレゼンテーション時に利用できる操作とポイントを解説する。	
	【事前学修】	プレゼン資料を作成するために必要な基本操作を復習しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で解説した内容を利用できるようにノートを整理しておく。	（2時間）
	第 15 回	総括：Word・Excel・PowerPointを利用した横断的な活用方法	
	【学修内容】	アプリケーション間のデータリンクを含めた総合的な解説と各自のフォルダを整理する。	
	【事前学修】	授業で学んだことを復習し、不明な点や質問を整理しておく。	（2時間）
	【事後学修】	授業で行った操作を振り返り、活用できるようにポイントをノートに整理しておく。	（2時間）

評　価　方　法	演習問題と指定課題の提出（80%）、平常点（20%）平素の受講態度などを加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	アプリケーションごとに作成した独自の操作ガイド（プリント）を授業内で配付する。 それ以外の参考資料は授業内で説明する。
備　　考	・指定する提出物については、授業内で口頭や紙面にて提示するので休まず出席すること。 ・指定課題は、成績評価と修得状況を把握する上で重視するので提出期日を守り忘れずに提出する こと

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
芸術鑑賞・教養講座Ⅰ	演習	1	必修			1年・通年	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGZZB10008							担当形態：オムニバス

科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 本学キャンパスで行われる特別授業・講演や学外での芸術鑑賞・特別講座等を含むため各自開講日時を確認して受講すること。
授業の目的・概要	美術や音楽等の芸術を鑑賞し知性や感性を磨く。また、社会で求められるマナーや知識を身に付け、常識や教養を高める。 芸術鑑賞　（美術館やコンサートホール等で実際に鑑賞する。） 教養講座　（時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講する。） 特別授業　（外部講師による特別に開講される授業を受講する。） マナー講座（社会で求められているマナーに関する授業を受講する。）
到達目標	①　美術や音楽等の芸術を鑑賞し、知性や感性を磨き、豊かな教養を身に付ける。 ②　社会で求められているマナーや知識を身に付け、女性としての常識や教養を身に付ける。
授業の進め方	各回のテーマに添った講演・講座の受講、美術・音楽等の鑑賞をする。 レポート・ワークシートを作成する。
授業計画	第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、レポートの書き方 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　レポートの書き方を復習する。（0.5時間） 第 2 回～第14回　芸術鑑賞、教養講座、特別授業、マナー講座等 【学修内容】　実際に美術館やコンサートホールに赴き、美術や音楽等の芸術鑑賞を行い知性や感性を磨く。時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講し、教養を身につける。外部講師による特別に開講される授業を受講し、見識を深める。社会で求められているマナーに関する授業を受講し、社会人としての知識や技術を身に付ける。 ※具体的な内容については、その都度授業前に公示する。 【事前学修】　公示されたテーマについて事前に文献やインターネット等を活用し調べる。（授業1回につき0.5時間） 【事後学修】　学修内容について振り返り、感想や興味を持った事柄について考察しレポート等にまとめる。（授業1回につき0.5時間） 第15 回　まとめ 【学修内容】　本科目で学んだことを振り返る。 【事前学修】　これまでの授業を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　学修内容、感想等をレポートにまとめる。（0.5時間）
評価方法	レポート等（50%）、平常点（50%） 平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
芸術鑑賞・教養講座Ⅱ	演習	1	必修			2年・通年	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGZZB10009							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 本学キャンパスで行われる特別授業・講演や学外での芸術鑑賞・特別講座等を含むため各自開講日時を確認して受講すること。
授業の目的・概要	美術や音楽等の芸術を鑑賞し知性や感性を磨く。また、社会で求められるマナーや知識を身に付け、常識や教養を高める。 芸術鑑賞　（美術館やコンサートホール等で実際に鑑賞する。） 教養講座　（時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講する。） 特別授業　（外部講師による特別に開講される授業を受講する。） マナー講座（社会で求められているマナーに関する授業を受講する。）
到達目標	①　美術や音楽等の芸術を鑑賞し、知性や感性を磨き、豊かな教養を身に付ける。 ②　社会で求められているマナーや知識を身に付け、女性としての常識や教養を身に付ける。
授業の進め方	各回のテーマに添った講演・講座の受講、美術・音楽等の鑑賞をする。 レポート・ワークシートを作成する。
授業計画	第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、レポートの書き方 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　レポートの書き方を復習する。（0.5時間） 第 2 回～第14回　芸術鑑賞、教養講座、特別授業、マナー講座等 【学修内容】　実際に美術館やコンサートホールに赴き、美術や音楽等の芸術鑑賞を行い知性や感性を磨く。時代の流れに即した内容をテーマにした講演会を受講し、教養を身につける。外部講師による特別に開講される授業を受講し、見識を深める。社会で求められているマナーに関する授業を受講し、社会人としての知識や技術を身に付ける。 ※具体的な内容については、その都度授業前に公示する。 【事前学修】　公示されたテーマについて、文献やインターネット等を活用し事前に調べる。（授業1回につき0.5時間） 【事後学修】　学修内容について振り返り、感想や興味を持った事柄について考察しレポート等にまとめる。（授業1回につき0.5時間） 第15 回　まとめ 【学修内容】　本科目で学んだことを振り返る。 【事前学修】　これまでの授業を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　学修内容、感想等をレポートにまとめる。（0.5時間）
評価方法	レポート等（50%）、平常点（50%） 平素の受講態度等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅰ	演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	盛 合 直 人
科目コード SGAAB10010			フランス語Ⅰとどちらかを必修				担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。英語Ⅰを履修しなければ、英語Ⅱ・英語Ⅲの科目選択はできない。また、英語Ⅰからフランス語Ⅱへの履修はできない。
授業の目的・概要	Simple conversation and communication skills（speaking, listening, reading and writing）will be developed through English topics related to food and health.　Quizzes will be given regularly. 食に関連した基本的な英語を学ぶ。本授業では「シンプル」な「実践型」で「意外と楽しい」英語を学び、英語でコミュニケーションするための基礎力を身に付けることを目的とする。また、和食が無形文化遺産に登録され、和食の魅力や調理法等英語で紹介する機会も増えることも想定し、授業では“食”に関するトピックを取り上げ、映像資料を提示しながら授業を進めていく。 毎時間ポートフォリオの提出と確認小テストも行う。
到達目標	Students will learn the basic conversational English. （食にまつわる語彙の修得と英語での簡単な会話力を身に付ける。）
授業の進め方	プリント等を使用しながら授業を進める。 レベル、修得状況に応じて進めていく。 小テスト、発表・レポート提出など適宜実施する。

第 1 回	英語基礎知識の確認　/　オリエンテーション（受講心得、持参するもの等）
【学修内容】	基礎力確認テストを実施。シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。
【事前学修】	授業前にシラバスに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	シラバスで説明されたことを確認する。基礎力確認テストの内容を復習する。（2時間）
第 2 回	Meeting People
【学修内容】	自己紹介と将来の仕事について話す（Dietitian & Nutritionist）
【事前学修】	自己紹介のための要点をまとめ、文章を事前に作成する。Dietitian & Nutritionistを知る。（2時間）
【事後学修】	自己紹介で伝えるべきポイントを整理し、伝わりやすい表現を確認する。（2時間）
第 3 回	Talking about the Kitchen（1）
【学修内容】	Kitchen Tools　キッチン用語を学ぶ
【事前学修】	Kitchen Tools英語表記と発音を調べておく。（2時間）
【事後学修】	カタカナ語になっているものや、発音の違いを復習する。（2時間）
第 4 回	Talking about the Kitchen（2）
【学修内容】	Preposition（ 前置詞）を使って道具の場所を説明する
【事前学修】	物の配置を表現する英単語を調べておく。（2時間）
【事後学修】	間違いやすい前置詞の表現を復習しておく。（2時間）
第 5 回	Taste & Texture　Likes and Dislikes
【学修内容】	味と食感　好きな食べ物、嫌いな食べ物について話す
【事前学修】	味や食感、好き嫌いの理由を含めて英語で表現する英単語を調べておく。（2時間）
【事後学修】	学習事項を整理して復習する。（2時間）
第 6 回	Shopping for Food
【学修内容】	スーパーで買い物をする際に知っておきたい用語を学ぶ　店員さんとのやりとりを練習する
【事前学修】	食品の英単語を調べる。店員との会話のやり取りを想定する。（2時間）
【事後学修】	食品の日本語と英語表記の違い、店員との会話を確認する。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　Ordering Food:What Do We Need? 【学修内容】　単位を学び、冷蔵庫で何が足りないか英語で説明する 【事前学修】　英語での単位表記を調べる。冷蔵庫にある食材の英単語を調べておく。（2時間） 【事後学修】　単位の確認と復習。食材の英単語の復習と確認。（2時間） 第　8　回　　Cooking 【学修内容】　調理する時に使用する動詞を学ぶ 【事前学修】　調理用語を調べておく。（2時間） 【事後学修】　英語表記の調理用語を復習する。（2時間） 第　9　回　　Recipes 【学修内容】　英語のレシピを読む。また得意料理を英語で紹介する練習 【事前学修】　前時の調理用語と食材・調味料について調べ、得意料理を英語で表現する準備をする。（2時間） 【事後学修】　レシピや調理の動画を思い起こし確認する。発表を聴いて、料理の理解を深める。（2時間） 第10　回　　Group project presentation（前半） 【学修内容】　和食の紹介文を読む 【事前学修】　英文を通し、和食の特徴と外国の料理との違いを考えておく。（2時間） 【事後学修】　和食の特徴について、食材や調理方法を通して復習する。（2時間） 第 11 回　　Group project presentation（後半） 【学修内容】　外国の食育についての紹介文を読む 【事前学修】　海外の料理や食事事情について調べておく。（2時間） 【事後学修】　海外の食の特徴について、食事事情を通して復習する。（2時間） 第12　回　　Life as a Dietitian 【学修内容】　栄養士の仕事について英語で読む 【事前学修】　栄養士の仕事について、海外との違いがあるのか調べておく。（2時間） 【事後学修】　海外の栄養士の仕事や職場環境について考察しておく。（2時間） 第13　回　　At a Restaurant 【学修内容】　レストランでの注文方法を学び、練習する 【事前学修】　海外での料理の注文手順などについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　会話手順や表現を復習する。（2時間） 第14　回　　Potluck Party とBYO（Bring Your Own）/BYOB 【学修内容】　パーティーについて学ぶ 【事前学修】　外国のパーティーについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　持ち寄りのパーティーの決まり事などを復習する。（2時間） 第15　回　　Review 【学修内容】　まとめ 【事前学修】　既習事項の最終確認をしておく。（2時間） 【事後学修】　既習事項の再確認をしておく。（2時間）
評　価　方　法	ポートフォリオ・check & quiz（50%）、レポート（25%）、授業の取り組み・発表（25%）を総合的に評価する。
教　　科　　書	使用しない。 資料は適宜紹介する。授業プリントを配付する。
参　考　書 参 考 資 料 等	“Speaking of Nutrition”（NAN'UN-DO） “Talk a Lot” by David Martin（EFL Press）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名		形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フランス語Ⅰ		演習	2	必修	必修	必修	1年・前期	ヴェガス・マリオン
科目コード	SGAAB10011			英語Ⅰとどちらかを必修				担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。フランス語Ⅰを履修しなければフランス語Ⅱの科目選択はできない。また、フランス語Ⅰから英語Ⅱへの履修はできない。
授業の目的・概要	フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。
到達目標	① フランス語で自己紹介ができる。 ② フランス語で相手についてたずねる。
授業の進め方	会話を優先した授業を進める。 授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解を深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答え合わせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。

第 1 回　アルファベット
【学修内容】　フランス語のアルファベット、単語と名前のスペルを言う練習、挨拶
【事前学修】　シラバスを読む。教科書の内容を確認する。（2時間）
【事後学修】　P Ⅷ・Ⅸ・Ⅹ　アルファベットの復習。録音を聞く。（2時間）
第 2 回　挨拶
【学修内容】　P1・2　挨拶　名前を言う・尋ねる
【事前学修】　P1・2を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）
第 3 回　出会い1
【学修内容】　P3　Commentを使った質問と答え。
【事前学修】　P3の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P6の文法のまとめを読む。宿題。（2時間）
第 4 回　出会い2
【学修内容】　P4・5　住んでいる所を聞く。いろいろな挨拶の仕方。
【事前学修】　P4・5の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P6の文法のまとめ・面積と人口を読む。宿題。（2時間）

第 5 回　出会い3
【学修内容】　P7・8　出身地・国名・国籍・言葉について知る。
【事前学修】　P7の地図で国の位置を探す。P8の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（2時間）
第 6 回　出会い4
【学修内容】　P9　職業・言語・休暇中の滞在先。
【事前学修】　P9の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　　出会い5 【学修内容】　P10・11　数字。電話番号を尋ねる。自己紹介。 【事前学修】　P10・11の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 8 回　　出会い6 【学修内容】　P11　クラスメートに質問する。P12　文法のまとめ。 【事前学修】　P11・12を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 9 回　　紹介1 【学修内容】　P14　人を紹介するための表現。　P18　文法。 【事前学修】　P14の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 10 回　紹介2 【学修内容】　P13・15　地名を覚える。人を紹介する。 【事前学修】　P13の地図で地名を探す。P15の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 11 回　紹介3 【学修内容】　P16　住んでいる所や出身地を尋ねる。P18 文法。 【事前学修】　P16の日本語の部分とP18の文法のまとめを読む。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 12 回　紹介4 【学修内容】　P16　フランスの地名やその他の国名。P１８の文法。 【事前学修】　P16　日本語の部分を読む。P18の文法のまとめを読む。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 13 回　紹介5 【学修内容】　P17　人物の紹介。 【事前学修】　P17の日本語の部分を読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間） 第 14 回　まとめ 【学修内容】　総復習：前半。 【事前学修】　最初から読む。録音を聞く。（2時間） 【事後学修】　復習。（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　総復習：後半。手紙を読む。オーラルの練習。 【事前学修】　手紙を書く。（2時間） 【事後学修】　総復習。（2時間）
評　価　方　法	口頭試験（80%）、平素の受講態度（20%）。
教　　科　　書	EN SCENE Ⅰ　Troisième édition 場面で学ぶフランス語１（三修社）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅱ	演習	2	選択	選択	選択	1年・後期	盛 合 直 人
科目コード　SgaaB10012							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	英語Ⅰの単位を修得した者に限る。 なお、英語Ⅲを履修するためには、本科目の単位を修得する必要がある。
授業の目的・概要	Speaking, Listening, Reading, and Writing の4領域活用し、会話やコミュニケーションの技術や能力を高め、英語を通して、食や保育にかかわらず、幅広く海外の様々な情報や、現状に多く触れる。 （レポートの提出や、発表などを行う。） （毎回の授業でポートフォリオの提出や小テストを行う。）
到達目標	様々な項目に興味関心を持ち、自ら進んで深く探求する姿勢と、考えを表現する能力を養う。 （様々な場面における英語力向上を目指す。）
授業の進め方	映像・Powerpoint・プリント等を使用しながら授業を進める。 学習状況、修得状況に応じて進めていく。 授業の最後にポートフォリオをまとめ提出する。 発表やレポート提出を適宜実施する。
	第 1 回　自己紹介 【学修内容】　（Self-introduction）〝Home Town〟 【事前学修】　自分の故郷を含めた自己紹介を準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や表現方法を確認する。（2時間） 第 2 回　食文化（1） 【学修内容】　味や食感、盛り付けなどの感想について表現する（感嘆文を復習） 【事前学修】　味や食感の表現や感想を述べる表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　様々な表現方法の理解を深める。（2時間） 第 3 回　食文化（2） 【学修内容】　世界の食事事情 【事前学修】　日本以外の食事事情について調べておく。（2時間） 【事後学修】　食材だけでなく様々な料理を知り知識を深める。（2時間） 第 4 回　食文化（3） 【学修内容】　メニューと注文方法・料理の提供順や物の位置や配置を表現する（前置詞を復習） 【事前学修】　注文方法やテーブルセッティングなどを事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　注文時の会話表現や、テーブルセッティングを理解する。（2時間） 第 5 回　生活編（1） 【学修内容】　建物の位置や間取り、自分の部屋の理想の物件について話す 【事前学修】　建物の構造や物品の表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　理想の間取りを表現できるように復習する。（2時間） 第 6 回　生活編（2） 【学修内容】　子どもや環境について 【事前学修】　海外の子どもの置かれている環境を調べておく。（2時間） 【事後学修】　日本と海外の子どもの置かれている環境について理解する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　健康編（1） 【学修内容】　ケガや病気について学び、病院でのやり取りを学ぶ 【事前学修】　ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　症状の表現や病院での会話表現を復習する。（2時間） 第 8 回　健康編（2） 【学修内容】　ドラッグストアや薬局での会話や、薬品とその効能などを学ぶ 【事前学修】　ケガや病気の症状に関する表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　薬品とその効能などの表現の理解を深める。（2時間） 第 9 回　娯楽編（1） 【学修内容】　運動、遊び、スポーツ、旅行などについて経験を述べる（副詞を復習） 【事前学修】　自分の経験に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第10 回　娯楽編（2） 【学修内容】　自分の趣味特技や旅行などの経験を述べる 【事前学修】　自分の趣味特技に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第 11 回　職業編（1） 【学修内容】　アルバイトや職業体験について述べる 【事前学修】　自分のアルバイト、職業経験に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第12 回　職業編（2） 【学修内容】　理想の就職先と将来の夢を述べる 【事前学修】　自分の理想の就職先に関する発表を事前に準備する。（2時間） 【事後学修】　様々な表現や、他者の発表から知識を深める。（2時間） 第13 回　映像編（1） 【学修内容】　映画の宣伝映像を考察する。本編を観る① 【事前学修】　海外の映画の予告動画を事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　映画の事前予告、Trailorの手法を理解する。（2時間） 第14 回　映像編（2） 【学修内容】　映画の宣伝映像を考察する。本編を観る② 【事前学修】　本編に関する情報を事前に確認しておく。（2時間） 【事後学修】　会話表現の幅広さを理解する。（2時間） 第15 回　映像編（3） 【学修内容】　本編のReviewと海外のCMについて 【事前学修】　本編のあらすじを確認しておく。（2時間） 【事後学修】　記憶に残る台詞の確認。日本のCMとの違いを理解する。（2時間）
評　価　方　法	ポートフォリオ・check & quiz（50%）、課題レポート・授業の取り組み・発表（50%）
教　科　書	使用しない。 資料は適宜紹介する。授業プリントを配付する。
参　考　書 参考資料等	“First Steps in Reading English” by I.A. Richards / Christine Gibson（IBC pulishing.co） “Talk a Lot” by David Martin（EFL Press）
備　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フランス語Ⅱ	演習	2	選択	選択	選択	1年・後期	ヴェガス・マリオン
科目コード　SgaaB10013							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	フランス語Ⅰの単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	フランス語で日常生活のコミュニケーションを取るための基本を学ぶ。
到達目標	①　フランス語で趣味について話す。 ②　フランス語で家族を紹介する。
授業の進め方	会話を優先した授業を進める。 授業で学んだことを復習しながら宿題をすることによってフランス語の理解をより深める。授業の最初に、前回の復習と宿題の答えあわせをする。教科書付属の録音音源を聞いて、フランス語の聞き取りや発音の練習に役立てる。

第　1　回　　フランス語Ⅰの復習　出会い1
【学修内容】　復習：出会い1
【事前学修】　復習：出会い1（2時間）
【事後学修】　復習：出会い1（2時間）
第　2　回　　フランス語Iの復習　出会い2：紹介する。
【学修内容】　復習：出会い2　紹介する
【事前学修】　復習：出会い2　紹介する（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（2時間）
第　3　回　　専攻と余暇1
【学修内容】　P19・20　どのような勉強をしたか尋ねる・答える。
【事前学修】　P19・20を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。　P20の単語を覚える。宿題。（2時間）
第　4　回　　専攻と余暇2
【学修内容】　P21・22　好きな事・ものについて尋ねる・言う。
【事前学修】　P22のあなたはビデオゲームが好きですか？を読む。録音を聞く。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（2時間）
第　5　回　　専攻と余暇3
【学修内容】　P22の週末あなたは何をするのが好きですか？　P24の文法のまとめの部分冠詞。
【事前学修】　P24の文法のまとめの部分冠詞を読む。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題（2時間）
第　6　回　　専攻と余暇4
【学修内容】　P23　7・9　　好きなことや習慣について話す。
【事前学修】　P23の録音を聞く。宿題。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　専攻と余暇５ 【学修内容】　P２３　８　よく行きます。　文法のまとめの中性代名詞。 【事前学修】　P２３　文法のまとめの中性代名詞を読む。録音を聞く。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。P２４のフランス人の名前を読む。宿題。（２時間） 第 8 回　家族１ 【学修内容】　Ｐ２６ 家族・兄弟姉妹。自分の家族を紹介する。 【事前学修】　Ｐ２５のMa Familleの部分を読む。録音を聞く。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。宿題。（２時間） 第 9 回　家族２ 【学修内容】　Ｐ２７ 自分の家族の年齢や性格などを説明する。 【事前学修】　録音を聞く。P３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（２時間） 第 10 回　家族３ 【学修内容】　Ｐ２８ 両親について尋ねる。 【事前学修】　Ｐ２８を読む。録音を聞く。Ｐ３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。 宿題。（２時間） 第 11 回　家族４ 【学修内容】　Ｐ２９ 他人の家族について勉強する。 【事前学修】　Ｐ３０の文法のまとめを読む。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。他の学生と家族の紹介文を交換し勉強する。 宿題。（２時間） 第 12 回　家族５ 【学修内容】　他人の家族について話す。 【事前学修】　５課全体の授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習し、ノートを整理する。（２時間） 第 13 回　まとめ 【学修内容】　オーラルの練習 - 質問に答える。 【事前学修】　フランス語Ⅱで習ったことを復習する。（２時間） 【事後学修】　総復習（２時間） 第 14 回　まとめ 【学修内容】　オーラル練習　- 自分について話す。 【事前学修】　フランス語Ⅱで学んだことを復習する。（２時間） 【事後学修】　総復習（２時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　オーラル練習　- 他人について話す。 【事前学修】　フランス語Ⅱで学んだことを復習する。（２時間） 【事後学修】　試験準備（２時間）
評　価　方　法	口頭試験（80%）、平素の受講態度（20%）。
教　　科　　書	EN SCENE Ⅰ　Troisième édition 場面で学ぶフランス語１（三修社）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
英語Ⅲ	演習	2	選択	選択	選択	2年・前期	盛 合 直 人
科目コード　SgaaB20014							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	英語Ⅰ、英語Ⅱの単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	Simple conversation and communication skills （ speaking, listening, reading and writing） will be developed in a group environment using practical travel situations. Portfolio should be submitted every time and Quizzes will be given regularly. （英語Ⅰ、Ⅱで学んだ文法表現をおさらいし、旅行英会話に挑戦する。） （毎時間ポートフォリオの提出と定期的に会話表現の確認を行う。）
到達目標	Students will be able to perform a variety of oral communicative tasks. （様々な場面における英語力向上を目指す。）
授業の進め方	プリント等を使用しながら授業を進める。 レベルや到達度、修得状況に応じて進めていく。 発表・レポート提出など適宜実施する。
	第 1 回　Talking about travel experiences 【学修内容】　旅の経験や思い出を述べる 【事前学修】　自分の旅の思い出をまとめておく。（2時間） 【事後学修】　自分の発表だけでなく他者の発表を聴き表現について理解を深める。（2時間） 第 2 回　At airport immigration and customs 【学修内容】　空港の入国と税関 【事前学修】　海外旅行の際の入港や税関でのやり取りを事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第 3 回　Asking and following directions 【学修内容】　道順を尋ねたり、説明したりする 【事前学修】　道順の説明方法や位置関係に関する表現を確認しておく。（2時間） 【事後学修】　理解しやすい説明や表現を復習する。（2時間） 第 4 回　Making reservations 【学修内容】　ホテルやレストラン飛行機などの予約をする 【事前学修】　予約に関する表現を事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第 5 回　At restaurant 1（order, recomendations） 【学修内容】　レストランでの注文など 【事前学修】　レストランでの注文の仕方や、お勧めを尋ねる表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　店員とのやり取りや、注文の仕方を理解する。（2時間） 第 6 回　At restaurant 2（menue, trouble and payment） 【学修内容】　料理とメニュー、トラブルや会計など 【事前学修】　レストランで想定されるトラブルや支払い方法を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを通してトラブルの対処や支払いでの表現を確認する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　Making skit and rollplay　1 【学修内容】　スキットを作成しロールプレイする 1 【事前学修】　自分で場面を想定しスキットを準備しておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれのスキットの要点を理解する。（2時間） 第 8 回　Shopping 1（find out items and to try on clothes） 【学修内容】　商品を探す、試着する 【事前学修】　洋品店の店員とのやり取りを事前に考察しておく。（2時間） 【事後学修】　サイズ・色・形・好みの表現を復習する。（2時間） 第 9 回　Shopping 2（discount negotiation or bargaining / trouble and customer service） 【学修内容】　値引き交渉と割引 / トラブルとお客様相談窓口 【事前学修】　値引きの依頼表現について事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　様々な値引き表現やトラブル相談の表現を理解する。（2時間） 第10 回　Making skit and rollplay　2 【学修内容】　スキットを作成しロールプレイする 2 【事前学修】　自分で場面を想定しスキットを準備しておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれのスキットの要点を理解する。（2時間） 第 11 回　At hospital　（receiving medical examination） 【学修内容】　病院での診察や病状を伝える 【事前学修】　症状を伝える表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第12 回　At pharmacy and drugstore 【学修内容】　薬局とドラッグストア 【事前学修】　病院からの指示や処方箋などの表現を調べておく。（2時間） 【事後学修】　スキットを確認し会話内容の理解を深める。（2時間） 第13 回　Making travel plan 【学修内容】　旅行の計画を立てる 【事前学修】　自分の旅の計画案を考えておく。（2時間） 【事後学修】　順序だてて表現する方法や表現の理解を深める。（2時間） 第14 回　Presentation 【学修内容】　旅行の計画を発表する 【事前学修】　計画案の精査をしておく。（2時間） 【事後学修】　自分の発表だけでなく他者の発表を聴き、表現について理解を深める。（2時間） 第15 回　Review 【学修内容】　まとめ 【事前学修】　既習事項について確認しておく。（2時間） 【事後学修】　既習事項を振り返り様々な表現について復習する。（2時間）
評　価　方　法	Grading will be based on participation attendance, group presentation and examination. ポートフォリオ（30%）、レポート（25%）、授業の取り組み・発表（45%）を総合的に評価する。
教　科　書	使用しない。
参　考　書 参考資料等	“Talk a Lot” by David Martin（EFL Press） English conversation for beginners by Kuwahara kenji（Natsume Press）
備　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
体育理論	講義	1	選択	選択	必修	2年・通年	渡　邊　　望
科目コード　SgaAA10015							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。
授業の目的・概要	生涯にわたり心身ともに健康な体であるための基本的な知識の理解を深めるとともに、生活習慣の見直しができるようにすることで、自らの健康を管理するだけでなく、より健康的なライフスタイルを確立できる能力を養う。 また、女性の体のしくみや、心と体の関連性について学び、健康づくりの一助となることを目的とする。
到達目標	①　健康の保持・増進をするための基本的な知識を身に付け、心身の健康を自ら管理できるようにする。 ②　からだのしくみや機能について理解を深め、体内のリズムに合った正しい生活習慣を身に付ける。 ③　女性としての体のしくみについて理解する。
授業の進め方	必要な資料は、プリントを配付し、パワーポイントを使用して授業を進めていく。
授業計画	第　1　回　オリエンテーション・健康の捉え方 【学修内容】　健康とはなにか・健康を管理する体内リズムと生活リズム 【事前学修】　健康とは何か自分の考えをまとめる。（2時間） 【事後学修】　体内リズムを理解し、正しい生活習慣を身に付けるためにどのようにすればよいかまとめる。（2時間） 第　2　回　からだのしくみや機能① 【学修内容】　骨の新陳代謝・血液循環とリンパ 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、骨の新陳代謝・血液循環とリンパについて理解を深める。（2時間） 第　3　回　からだのしくみや機能② 【学修内容】　消化のリズム・肌と毛髪のサイクル 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、消化と排泄・肌と毛髪のサイクルについて理解を深める。（2時間） 第　4　回　からだのしくみや機能③ 【学修内容】　体温調節と熱中症 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、体温調節と熱中症について理解を深める。（2時間） 第　5　回　女性の健康① 【学修内容】　飲酒・喫煙について 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、飲酒と喫煙について理解を深める。（2時間） 第　6　回　女性の健康② 【学修内容】　ダイエットについて 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、ダイエットについて理解を深める。（2時間）

	第 7 回　女性の健康③ 【学修内容】　女性ホルモンについて 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、女性ホルモンの働きについて理解を深める。（2時間） 第 8 回　メンタルヘルス 【学修内容】　ストレスと健康について 【事前学修】　授業で配布した資料に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを復習してノートにまとめ、メンタルヘルスついて理解を深める。（2時間）
評価方法	提出物（60%）、筆記試験（小テストを含む）（30%）、平常点（10%） 平素の受講態度や課題の取組み等を加味する。
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
体育実技	実技	1	選択	選択	必修	2年・通年	渡邊　望
科目コード　SgaAC10016							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 運動ができる服装（ジャージ等）で参加すること。使用する用具の準備や後片付けを積極的に行うこと。 ピアス・ネックレス等の装飾品は、自他ともにケガ防止のためはずすこと。
授業の目的・概要	①　心身ともに健康であるためには、運動やスポーツを主体的に行うことが不可欠の要件であることから、各種の運動種目を通じて、自らが体を動かす楽しさを味わい、生涯にわたって運動の習慣を身に付ける。また、自己の体力向上に効果的な運動を行うとともに自分に合ったスポーツライフを実現できる。 ②　ゲーム形式を通じて仲間と協力し、体を動かす楽しさを共有することで交流を深め、コミュニケーションを図る。
到達目標	①　運動の楽しさや喜びを味わい、自ら進んで運動に取り組むことができる。 ②　自己の体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け実践することができる。 ③　仲間と協力してスポーツを楽しめる能力を身に付ける。
授業の進め方	ウォーミングアップとしてラジオ体操や体づくりのトレーニング、ストレッチ等でしっかり体を動かしてから各運動種目を行う。
	第　1　回　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明と運動の効果を学ぶ。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　本授業の概要と目標について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第　2　回　体力測定・ラジオ体操 【学修内容】　ラジオ体操・体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」 【事前学修】　授業で配布された資料「ラジオ体操の動きと運動の効果」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ラジオ体操の運動効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第　3　回　レクリエーション① 【学修内容】　からだほぐし運動、仲間づくりレクリエーション 【事前学修】　授業内で配布された資料「体ほぐし運動」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　からだほぐし運動の効果について理解を深め、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第　4　回　レクリエーション② 【学修内容】　ミニ運動会「リレー・玉入れ・綱引き」 【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間） 【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第　5　回　ボール運動 【学修内容】　ボールを使った運動 【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間） 【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第　6　回　ボールゲーム① 【学修内容】　ドッヂボール 【事前学修】　授業で配布された資料「いろいろなドッヂボール」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ドッヂボールのルールやゲームの中で養われる運動能力について理解を深める。（0.5時間） 第　7　回　ボールゲーム② 【学修内容】　パスゲーム 【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間） 【事後学修】　運動を通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第　8　回　縄跳び 【学修内容】　縄を使った運動 【事前学修】　授業で配布された資料「なわとび跳び方一覧」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。（0.5時間） 第　9　回　長縄跳び 【学修内容】　長縄跳び、ダブルダッチ 【事前学修】　ダブルダッチの映像資料をに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　縄跳び運動の効果、跳び方やポイントについて理解を深める。（0.5時間）

授　業　計　画	第10　回　有酸素運動① 【学修内容】　ウォーキングの正しいフォーム 【事前学修】　授業で配布された資料「ウォーキングの正しいフォーム」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ウォーキングの正しいフォームを理解し、ウォーキングを楽しめたか振り返る。（0.5時間） 第 11 回　有酸素運動② 【学修内容】　エアロビクスで有酸素運動 【事前学修】　有酸素運動について調べ、リズム感を意識して好きなダンスミュージックを聞く。（0.5時間） 【事後学修】　エアロビクスの運動効果と有酸素運動について理解を深める。（0.5時間） 第12　回　バドミントン① 【学修内容】　ルール理解・チーム作り 【事前学修】　バドミントンのルール全般を調べ、自分のバドミントン経験を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンのルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第13　回　バドミントン② 【学修内容】　ダブルス戦 【事前学修】　バドミントンダブルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンダブルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第14　回　バドミントン③ 【学修内容】　シングルス戦 【事前学修】　バドミントンシングルスルール全般を調べ、ストレッチングでからだのケアと体調管理に努める。（0.5時間） 【事後学修】　バドミントンシングルスルールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第15　回　ミニバレー① 【学修内容】　ルール理解・チーム作り 【事前学修】　ミニバレールール全般を調べ、自分の運動経験を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレールールを理解し、授業の感想や次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第16　回　ミニバレー② 【学修内容】　練習試合 【事前学修】　ミニバレーで使用するボールの特徴を意識して自分の課題を明確にする。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第17　回　ミニバレー③ 【学修内容】　チーム戦 【事前学修】　仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。（0.5時間） 【事後学修】　ミニバレーを通して仲間と協力したり楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第18　回　バレーボール① 【学修内容】　サーブ・レシーブ練習 【事前学修】　バレーボールのサーブ・レシーブのポイントを調べる。（0.5時間） 【事後学修】　バレーボールのサーブ・レシーブのポイントを理解し、次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第19　回　バレーボール② 【学修内容】　パス練習・ラリーボール 【事前学修】　授業で配布する「ラリーボールのルール」に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　ラリーボールのルールと練習の効果を理解し、次回の目標をまとめる。（0.5時間） 第20　回　バレーボール③ 【学修内容】　チーム戦 【事前学修】　仲間と協力してプレーするにはどのようにすればよいか考える。（0.5時間） 【事後学修】　バレーボールを通して仲間と協力し、楽しさを味わうことができたか振り返る。（0.5時間） 第21　回　体力測定 【学修内容】　体力測定「柔軟性、上体起こし、平衡性、縄跳び」縄跳び発表（個人課題） 【事前学修】　授業内で行ったラジオ体操やストレッチングを自宅でもできる範囲で取り組む。（0.5時間） 【事後学修】　第２回目に行った測定の結果と比較し、自己の課題を明確化する。（0.5時間） 第22　回　まとめ 【学修内容】　振り返りとリクエスト 【事前学修】　今まで実施したスポーツを振り返り、もう一度実践したいスポーツを考えておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業で経験した運動やスポーツから学んだことや感じたことをまとめ、健康の保持・増進のために自身がどのように行動すればよいかまとめる。（0.5時間）
評　価　方　法	平常点（７０％）、技能点（３０％） 授業運営においての積極的に取り組む態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
キャリア教育	演習	2	必修	選択	選択	1年・後期	食物栄養科教員　ほか
科目コード　SGaaB10017							担当形態：オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	卒業要件の科目であり、必ず履修し、単位を修得しなければならない。 将来、社会の一員として職に就くことを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	本演習では、社会人に必要な基礎力やマナーを身に付け、社会人としての資質を磨くことを目的とする。 また「職業キャリア」にとどまらず、個人の環境や状況、人生の節目や転機に応じて柔軟に、他者・社会との関わりのなかで、自分の人生を主体的に創造していく力を身に付け、キャリア教育本来の目標でもある「人間力」や「生きる力」の育成を目指す。
到達目標	①　自己理解を深めることを通して、社会への関心を深め、働くことの意義を知る。 ②　社会で求められているスキルや能力、姿勢について学ぶ（社会人基礎力）。 ③　卒業後のキャリアを自ら考えることができる。
授業の進め方	授業担当者による社会人基礎力の養成講座と、外部講師による講義・質疑応答を行う。

第　1　回　　授業オリエンテーション、キャリアとは何か
【学修内容】　学科長講話・オリエンテーション
【事前学修】　シラバスに目を通しておく。キャリアについて調べる。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

第　2　回　　社会から求められる資質
【学修内容】　社会から求められる人材になるために大切なこと
【事前学修】　テーマについて調べておく。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

第　3　回　　就職活動について
【学修内容】　就職活動の実際
【事前学修】　卒業後の進路について調べる。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

第　4　回　　キャリア形成と職業理解Ⅰ
【学修内容】　栄養士としての資質、社会人としての資質
【事前学修】　求められる栄養士像について考える。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

第　5　回　　キャリア形成と職業理解Ⅱ
【学修内容】　栄養士としての資質、社会人としての資質
【事前学修】　栄養士として、社会人として必要なことは何か考える。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

第　6　回　　一般常識的知識・文章読解力
【学修内容】　読む・書く・考える
【事前学修】　新聞やニュース、話題の本などを読み、自分なりの考えを持つ。（2時間）
【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　キャリア形成と自己理解 【学修内容】　自己分析 【事前学修】　長所・短所、力を入れてきたことなどを整理する。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　8　回　　社会人としてのマナー 【学修内容】　社会人として必要なマナー 【事前学修】　日常の言葉遣い、生活の仕方などふりかえり、自己を見つめる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第　9　回　　書いて伝える力Ⅰ 【学修内容】　自己ＰＲ・志望動機の作り方・エントリーシートの書き方 【事前学修】　自己分析をもとに、自己PRを考える。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第10　回　　書いて伝える力Ⅱ 【学修内容】　論作文 【事前学修】　論作文の構成について調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第 11 回　　円滑なコミュニケーションⅠ 【学修内容】　言葉の表現、話し方、伝え方の工夫 【事前学修】　コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第12　回　　円滑なコミュニケーションⅡ 【学修内容】　他者理解を深める、聞き上手になること 【事前学修】　コミュニケーションを円滑にするために必要なことをこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第13　回　　ストレスマネジメント 【学修内容】　ストレス評価とリラクゼーション、「生きる力」 【事前学修】　ストレスやその対処法についてこれまでの経験や書籍、インターネット等で調べる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第14　回　　話して伝える力Ⅰ 【学修内容】　面接試験の基本 【事前学修】　面接試験の内容を想定してみる。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間） 第15　回　　話して伝える力Ⅱ 【学修内容】　面接試験に向けて 【事前学修】　「面接試験の基本」で学んだことをもとに、面接試験のイメージトレーニングをする。（2時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（2時間）
評　価　方　法	レポート等（40%）、平常点（60%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
公衆衛生学	講義	2	選択	必修	必修	2年・前期	中　村　佳　苗
科目コード　SgAAA20101							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	感染症や母子保健等将来、栄養士としての業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士として疫学、健康の指標、感染症、生活環境、医療制度、生活習慣病、難病、母子保健及び健康教育に対する考え方と関連する法律の基本的事項を修得する。
到達目標	健康増進、健康の多要因、人口問題、母子保健、生活習慣病、健康教育等多種多様な公衆衛生の問題に対する栄養を介してのアプローチと地域保健活動における栄養士の役割を理解し、実践する基礎的知識を修得させる。
授業の進め方	教科書を中心に、現実の公衆衛生に関する社会問題等を交えて講義を進める。

第　１　回　　公衆衛生とは（公衆衛生の概念、健康の概念、公衆衛生の歴史）
【学修内容】　公衆衛生学の概念と歴史について理解する。
【事前学修】　教科書第1章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　２　回　　健康と環境、（環境の健康への影響）
【学修内容】　地球環境の健康に影響を及ぼす要因について理解する。
【事前学修】　教科書第２章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　３　回　　保健統計（人口問題、人口動態調査等各種統計）
【学修内容】　保健統計を通して人口問題を理解する。
【事前学修】　教科書第３章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　４　回　　疾病の測定（疫学）
【学修内容】　疫学の概念と種類を理解する。
【事前学修】　教科書第４章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　５　回　　生活習慣と健康（健康日本２１）
【学修内容】　健康日本２１と生活習慣について理解する。
【事前学修】　教科書第５章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　６　回　　主要疾患（ガン・循環器疾患など）
【学修内容】　がん・循環器疾患・代謝疾患などを理解する。
【事前学修】　教科書第６章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）

授　業　計　画	第　７　回　　感染症とその予防（感染症の種類、感染予防） 【学修内容】　感染症の種類と感染予防について理解する。 【事前学修】　教科書第７章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　８　回　　精神疾患（主な精神疾患と対策） 【学修内容】　主な精神疾患と福祉対策を理解する。 【事前学修】　教科書第８章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　９　回　　社会保障、医療制度（社会保障の概要と医療） 【学修内容】　社会保障の概要と医療制度について理解する。 【事前学修】　教科書第９章と第１０章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第10　回　　社会福祉制度（年金制度・各種社会福祉制度） 【学修内容】　年金制度と各種福祉制度を理解する。 【事前学修】　教科書第１１章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第11　回　　母子保健（母子保健の現状と課題） 【学修内容】　母子保健の現状と課題について理解する。 【事前学修】　教科書第１３章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第12　回　　高齢者保健と介護保険制度 【学修内容】　高齢者保健と介護保険について理解する。 【事前学修】　教科書第１５章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第13　回　　産業保健（労働災害と対策） 【学修内容】　労働災害とその対策について理解する。 【事前学修】　教科書第１６章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第14　回　　学校保健と国際保健 【学修内容】　学校保健と安全、国際保健（各国の疾患やSDGｓ）について理解する。 【事前学修】　教科書第１７章と第１８章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　公衆衛生学全般について復習を行う。 【事前学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか必要に応じ小テストや平素の受講態度を加味する（10%）。
教　　科　　書	公衆衛生学（中村信也編著、同文書院）
参　考　書 参 考 資 料 等	統計資料、法規等の抜粋は必要に応じて配付する。
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の保健所における公衆衛生に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
社会福祉概論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	磯　部　ゆかり
科目コード　SgAAA10102							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士が所属する職場は、社会福祉と関連していることが多い。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	少子高齢化や経済不安により社会福祉に対する需要が増加する一方で、近年の法制度の変革に伴い福祉サービスは複雑化、多様化している。そもそも社会福祉とは何か、意義や内容を学ぶことで、それが人々（私たち）の生活にどのように関係しているのか理解する。
到達目標	①　現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について理解する。 ②　社会福祉と人権、家庭生活との関連性について理解する。 ③　社会福祉の法・制度・実施体系について理解する。 ④　社会福祉の実践方法、援助技術、利用者保護の仕組みについて理解する。 ⑤　社会福祉の動向や課題について理解する。
授業の進め方	テキストと板書を基本とする。必要に応じてプリントを配付する。

第　1　回	オリエンテーション
【学修内容】	シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。
【事前学修】	シラバスに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、本授業の概要と目標について理解を深める。（2時間）
第　2　回	社会福祉とは何か
【学修内容】	社会福祉を学ぶ意義と目的
【事前学修】	テキストに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。（2時間）
第　3　回	社会保障①
【学修内容】	社会保障制度とは
【事前学修】	テキストに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、社会保障制度について理解を深める。（2時間）
第　4　回	社会保障②
【学修内容】	社会保険
【事前学修】	テキストに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、社会保険について理解を深める。（2時間）
第　5　回	社会福祉の歴史
【学修内容】	日本とヨーロッパ
【事前学修】	テキストに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、社会福祉の歴史について理解を深める。（2時間）
第　6　回	社会福祉の法と行財政
【学修内容】	社会福祉法制
【事前学修】	テキストに目を通しておく。（2時間）
【事後学修】	授業を振り返り、社会福祉法制について理解を深める。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　ソーシャルワークの理解 【学修内容】　ソーシャルワークの概念 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、ソーシャルワークについて理解を深める。（2時間） 第 8 回　最低生活保障と生活保護制度 【学修内容】　貧困問題と生活保護 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、生活保護制度について理解を深める。（2時間） 第 9 回　児童家庭福祉と次世代育成の展開① 【学修内容】　児童の権利と擁護 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、児童の権利と擁護について理解を深める。（2時間） 第 10 回　児童家庭福祉と次世代育成の展開② 【学修内容】　児童家庭福祉の相談機関と施設 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、児童家庭福祉の相談機関と施設について理解を深める。（2時間） 第 11 回　障がい者の自立と福祉 【学修内容】　障がいの理解と施策 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、障がいの理解と施策について理解を深める。（2時間） 第 12 回　高齢者の生活と福祉 【学修内容】　高齢社会における高齢者福祉、介護保険 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、高齢者福祉、介護保険について理解を深める。（2時間） 第 13 回　地域福祉への展開 【学修内容】　地域福祉の意義 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、地域福祉について理解を深める。（2時間） 第 14 回　これからの社会福祉 【学修内容】　社会福祉の課題、動向について 【事前学修】　テキストに目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉の課題、動向について理解を深める。（2時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　社会福祉の役割を確認し、社会福祉従事者としてのあり方を考える。 【事前学修】　全ての授業の振り返り（2時間） 【事後学修】　授業を振り返り、社会福祉を学ぶ意義と目的について理解を深める。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験70%、平常点30%（提出物、受講態度等を加味する。）
教　　科　　書	新・社会福祉とは何か　第4版（大久保秀子著、中央法規）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	新版　社会福祉概論　（金子光一編著、建帛社） 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉　（岩松珠美編、みらい）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
解剖学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	福　本　真一郎
科目コード　SgAAA10201							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 無遅刻、無欠席を基本とする。
授業の目的・概要	食物と栄養は、ヒトの生命や体と極めて密接な関係にあることから、食物と栄養を学ぶ者は必然的に人体についても学ばなければならない。解剖学は医学、生物学の中で最も基礎的な学問で、「人体とは何か」を知るために、人体の形態と構造について学ぶ学問である。 本科目では、医学解剖学で学ぶ膨大な内容の中から、食物と栄養を専門とする栄養士が知っておく必要があると思われる基本的な内容について講義を行う。人体はその構成の最小単位である細胞を基にして組織→器官（臓器）→器官系のそれぞれの集合体で成り立っている。食物、栄養と人体を構成するそれぞれの単位との関連性を視野に入れた解剖学を学修する。
到達目標	免許・資格を持つ専門家が知っておきたい人体の形態と構造に関する知識を理解し、修得する。 ① 消化器系及び内分泌系の主な形態と構造を説明することができる。 ② 生殖器系及び泌尿器系の主な形態と構造を説明することができる。 ③ 循環器系、血液、及び呼吸器系の主な形態と構造を説明することができる。 ④ 神経系及び感覚器系の主な形態と構造を説明することができる。
授業の進め方	パワーポイントで解剖図やイラストを中心に用語の理解を深めるようにする。 関連する運動生理学で学ぶ機能についても、必要に応じて説明する。

第 1 回	オリエンテーション、細胞の基本的構造
【学修内容】	解剖学の概説　細胞の構造
【事前学修】	序章　解剖学とは？導入と概説を読み予習（2時間）
【事後学修】	講義と配付資料等の復習（２時間）
第 2 回	組織の基本的な構成、組織の種類
【学修内容】	細胞から組織・器官・臓器の概略
【事前学修】	教科書　第1章　総論を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して復習（２時間）
第 3 回	人体各部の名称、器官系の概要
【学修内容】	器官＝各臓器の形態学と機能の概略
【事前学修】	教科書　第1章　総論　基本的な臓器の把握を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して臓器を復習（２時間）
第 4 回	骨格系
【学修内容】	運動器系としての基本である全体的な骨格系の説明と把握
【事前学修】	総論　第1章　p32-37　骨格の形態学を読み予習 （２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照して骨格系の形態を復習（２時間）
第 5 回	筋肉系
【学修内容】	全体的な筋肉系＝骨格筋の説明
【事前学修】	総論　第1章　p38-44　骨格筋の形態学的説明を読み予習 （２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照による復習（２時間）
第 6 回	循環器系
【学修内容】	循環器系の概説　血管　心臓　動脈　静脈　リンパ系の形態学的概説と生理学的機能
【事前学修】	総論　第1章ｐ46-61　第3章　胸部160-167の形態学的特徴を読み予習（２時間）
【事後学修】	教科書 プリント参照による復習（２時間）

授　業　計　画	第 7 回　血液・造血器系 【学修内容】　血液の成分　血球と造血系　形態学と生理学的特徴　免疫学概説 【事前学修】　総論　第1章　p54-57　形態学と生理学的特徴を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書 プリント参照による復習（2時間） 第 8 回　消化器系（Ⅰ）：消化管の構造 【学修内容】　消化器系の概説　消化管　吸収　運動など 【事前学修】　教科書　総論　第1章　p62-67　第4章 p182-191を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書 プリント参照による復習（2時間） 第 9 回　消化器系（Ⅱ）：肝臓、膵臓の構造 【学修内容】　消化器系のうち肝臓、膵臓の構造と機能の概説 【事前学修】　教科書　第4章　p192-199　肝　膵の構造機能を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書 プリント参照による復習（2時間） 第 10 回　呼吸器系 【学修内容】　呼吸器系の概説　構造と機能 【事前学修】　教科書　第1章　p68-69　第3章　胸部　p150-161　形態学的認識を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 11 回　泌尿器系 【学修内容】　腎　泌尿器系の構造と機能 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p70-71　　第4章　腎臓の構造と機能　尿産生　p200-203を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 12 回　生殖器系 【学修内容】　生殖器の構造　妊娠胎児の成長など 【事前学修】　教科書　第4章　p206-217　生殖器系の形態学と生理学的機能を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 13 回　内分泌系 【学修内容】　内分泌系の概要　ホルモンの概説 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p72-75　ホルモンの機能や生理学を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 14 回　神経系：中枢神経系、末梢神経系 【学修内容】　神経系の構造と機能　中枢神経と末梢神経 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p76-89を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間） 第 15 回　皮膚・感覚器系 【学修内容】　五感　に関する感覚器　皮膚感覚の概説 【事前学修】　教科書　第1章　総論　p90-95　第2章　頭部頸部　p98-141を読み予習（2時間） 【事後学修】　教科書　プリント参照による復習（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（課題レポート）（50%）、小テスト・レポート・受講態度（50%）
教　科　書	ぜんぶわかる人体解剖図（坂井達雄・橋本尚詞著、成美堂出版）、プリント教材
参　考　書 参 考 資 料 等	カラー人体解剖学（井上貴央監訳、西村書店）　※本学図書館に所蔵
備　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生理学	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	森　田　香代子
科目コード　SgAAA10202							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	生理学では、人体で営まれる様々な生命現象において、人体を構成している細胞、組織及び器官（臓器）が、それぞれどのような役割と機能（働き）を持っているかについて学び、生命現象を理解することを目標とする。 生理学は、細胞、組織及び器官の形態と構造を学ぶ解剖学とは、ちょうど車の両輪のように密接な関係にあるので常に解剖学と関連させることで、理解を高めることができる。
到達目標	①　運動とエネルギー産生の基本的機能を説明することができる。 ②　主要栄養素の消化及び吸収を理解し説明することができる。 ③　内分泌系、特にインスリンと血糖上昇ホルモンの基本的働きを説明することができる。 ④　循環器系、神経系及び泌尿器系の基本的働きを説明することができる。 ⑤　最近の生命科学の著しい進歩に伴い、変化する知見を、自分で吸収できる基礎を養う。
授業の進め方	教科書を中心にした講義の中で様々な臨床的症例を紹介しながら理解を深めるよう授業を進めていく。 必要に応じ、学ぶ順番を変更する場合があるので、常に教科書を持参のこと。

第　1　回	体液
【学修内容】	太古の海水と現代の生物の細胞内液・外液の関係の理解。
【事前学修】	半透膜とはP5,9。アルカローシスとアシドーシスの関係P11。脱水について、その原因の理解P13。それぞれ教科書を読んでおく。（1時間）
【事後学修】	授業中のノートの内容の理解とまとめ。教科書著者による講義動画を見る。（1時間）
第　2　回	血液
【学修内容】	血液の成分とその機能について学ぶ。血液型の基礎知識を学ぶ。
【事前学修】	血液の成分P17,19。貧血についての基礎知識P25，P20～23。白血球の種類とそれぞれの機能P27。血液型の基礎知識P35，37。（2時間）
【事後学修】	授業ノートの整理。動画の視聴。（2時間）
第　3　回	免疫
【学修内容】	免疫の種類とアレルギーとの関係を理解する。
【事前学修】	自己と非自己が免疫に与える影響を理解するP41。細胞性免疫とはP43。液性免疫とはP45。アレルギーとは何かを理解P47。（2時間）
【事後学修】	授業ノートの整理と動画の視聴。（2時間）
第　4　回	循環
【学修内容】	循環器系の構造とその機能についての理解
【事前学修】	循環器系の構造P51。刺激伝達系P57。血圧についてP67，69，71。末梢循環P73。冠動脈や門脈の特殊性を理解するP72。（3時間）
【事後学修】	循環器系のシェーマを完成させて理解を深める。動画の視聴。（3時間）
第　5　回	呼吸
【学修内容】	呼吸と肺・呼吸運動について理解する。呼吸性アシドーシスと呼吸性アルカローシスについて理解を深める。
【事前学修】	呼吸運動についてP76～79。拘束性肺障害と閉塞性肺障害P83。呼吸性アシドーシスと呼吸性アルカローシスP89。（3時間）
【事後学修】	授業ノートの整理と動画の視聴。（3時間）
第　6　回	代謝
【学修内容】	三大栄養素の基本的理解、ATP（アデノシン三リン酸）についての理解。
【事前学修】	栄養素についてP94～101を読んでおく。ATPについてP102のシェーマを理解。肥満のタイプと定義について理解するP106，107。（4時間）
【事後学修】	まとめノート作成、動画の視聴。（4時間）

授　業　計　画	第　7　回	内分泌
	【学修内容】	内分泌について概要を理解する。特に膵臓・副腎の分泌するホルモンと性ホルモンへの理解。
	【事前学修】	ホルモンの内分泌と作用の表をノートに写しておくP112。ホルモンと神経の命令伝達の違いを理解するP111。性ホルモンについて事前に読むP124～127。（2時間）
	【事後学修】	まとめノートの整理、動画の視聴。（2時間）
	第　8　回	体温
	【学修内容】	熱の産生と放散のしくみ、体温中枢と発熱の関係、発汗についての理解を深める。
	【事前学修】	熱の産生と放散P131。体温中枢と発熱P134，135。汗P137。事前に教科書を読んでおく。（1時間）
	【事後学修】	体温調節のしくみが理解できているか、体温調節中枢と感染症での発熱について説明できること。ノートにまとめる。動画視聴。（1時間）
	第　9　回	消化
	【学修内容】	消化管は長い1本の管であることの理解。肝・胆・膵も消化管の一部であることの理解。消化液・消化管ホルモンについての理解を深める。
	【事前学修】	消化管についてP142～145、P146～P153を読める範囲で事前に読んでおく。（4時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（4時間）
	第　10　回	排泄
	【学修内容】	排泄器官としての腎の役割と内分泌器官としての腎の役割の双方を理解する。
	【事前学修】	排泄器官としての糸球体と尿細管についてP162～P165。内分泌器官としての腎についてP168，169。（2時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（2時間）
	第　11　回	神経
	【学修内容】	ニューロン・末梢神経・自律神経・中枢神経について理解する。脊髄・伝達経路・反射について理解する。脊髄・伝導路・反射について理解する。
	【事前学修】	教科書第11章を読み、おおまかな理解を得ておく。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成、動画視聴。（1時間）
	第　12　回	筋
	【学修内容】	筋収縮のしくみや筋肉の種類について大まかな理解を得る。
	【事前学修】	筋収縮のしくみP194,195。骨格筋が身体の各部分を動かすしくみの理解を深める。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成。（1時間）
	第　13　回	感覚
	【学修内容】	生体にとって感覚とはどんな役割があるのかを理解し、それぞれの感覚器のしくみと機能を理解する。
	【事前学修】	教科書第13章を読み、自分なりにある程度の理解を得ておく。P200～P213。特に嗅覚・味覚の項目をよく読んでおくP213。（1時間）
	【事後学修】	まとめノート作成。動画視聴。（1時間）
	第　14　回	遺伝
	【学修内容】	細胞の基本構造を復習し、細胞分裂・遺伝情報（遺伝子）の複製、遺伝形式を学ぶ。
	【事前学修】	教科書P216～222を読み、質問があれば用意する。（1時間）
	【事後学修】	確実な理解が出来たか、自分で確認。（1時間）
	第　15　回	まとめ
	【学修内容】	これまでの授業のまとめと質疑応答
	【事前学修】	テスト前の自作ノートの総まとめと質問作成。（2時間）
	【事後学修】	ノート点検。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（60%）、平常点（40%）、平素の受講態度等を加味する。	
教　　科　　書	イラストでまなぶ生理学（田中越郎著、医学書院）	
参　考　書 参考資料等	シンプル生理学（貴邑冨久子、根来英雄共著、南江堂）	
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の病院における医師としての実務経験を活かした授業を行う。	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
解剖生理学実習	実習	1	選択	選択	選択	2年・後期	福　本　真一郎
科目コード　SgaaC20203							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 無遅刻、無欠席を基本とする。
授業の目的・概要	解剖学、生理学で学ぶ内容は、観察や実験に基づいて得られたものである。そのため、観察と実験を基本とする実習を行うことによって、教科書の記述や講義の内容がよく理解できることになる。 実習によって、教科書だけでは学べない内容を知り、確かめることができる。実習を行う意義を理解し、実習を通して事実の観察と確認を行い、正確な人体の形態・構造と生理的機能について理解を深めることが大切である。
到達目標	①　実習を通して解剖学と生理学で学んだ知識の理解を深める。 ②　人体の形態と構造について顕微鏡標本などを用いての観察をおこなう。及び生理機能検査で使用する計測機器とその基本的操作方法を理解する。 ③　実験結果に基づく考察力を養う。
授業の進め方	初めに解剖学、生理学の講義で学んだことを復習し、続いて実習の目的や内容、方法、手技を説明してから実習を行う。本実習では、映像（DVD、パワーポイント等）教材も併用する。

第　1　回　　実習についてのオリエンテーション、生命誕生の仕組みと人体の発生過程
【学修内容】　実習全体の概要の説明　DVD「生命の誕生」聴講
【事前学修】　解剖学の総説部分の復習　（0.5時間）
【事後学修】　授業資料と解剖学の総説部分の復習　（1時間）
第　2　回　　人体器官の観察　Ⅰ　上肢の骨格の観察
【学修内容】　人体模型と映像による肉眼的観察
【事前学修】　自己身体と骨格標本による上肢の骨及び関節等の観察　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書・授業資料の復習　（1時間）
第　3　回　　人体器官の観察　Ⅱ　下肢の観察
【学修内容】　自己身体と骨格標本による下肢の骨及び関節等の観察
【事前学修】　解剖学教科書の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書等の復習　（1時間）
第　4　回　　人体器官の観察　Ⅲ　上肢下肢等の骨格筋の観察
【学修内容】　全身の骨格筋の体表解剖学的観察
【事前学修】　解剖学教科書の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書の復習　（1時間）
第　5　回　　循環器系
【学修内容】　脈拍と血圧の変動とその変動要因の関係
【事前学修】　解剖学・運動生理学の循環器系の復習　（0.5時間）
【事後学修】　実験データのレポート作成　教科書等の復習　（1時間）
第　6　回　　血液・造血器系
【学修内容】　血液塗抹標本による血液細胞の顕微鏡による観察
【事前学修】　解剖学の「血液」の復習　（0.5時間）
【事後学修】　レポート作成　教科書等の復習　（1時間）

授　業　計　画	第 7 回　呼吸器系 【学修内容】　呼吸停止（息こらえ）試験、肺気量の測定 【事前学修】　解剖学・運動生理学の循環器系の復習　呼吸器系の復習　（0.5時間） 【事後学修】　実験データのレポート作成　（1時間） 第 8 回　消化器系　Ⅰ 【学修内容】　唾液消化試験（口腔内消化）アミラーゼ消化試験 【事前学修】　消化器系の復習　消化酵素　（0.5時間） 【事後学修】　実験データのレポート作成教科書等の復習　（1時間） 第 9 回　消化器系　Ⅱ　腸管の構造の観察 【学修内容】　消化管（小腸）組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　解剖学　消化器系の復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 10 回　消化器系　Ⅲ 【学修内容】　肝臓と膵臓組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　肝臓と膵臓の解剖学の復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 11 回　消化器系　Ⅳ 【学修内容】　肝臓機能の映像学習　DVD　肝の聴講 【事前学修】　肝臓の項目を復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間） 第 12 回　泌尿器系 【学修内容】　腎臓組織の顕微鏡による観察 【事前学修】　解剖学　泌尿器系の復習　（0.5時間） 【事後学修】　観察結果のレポート作成　教科書等の復習　（1時間） 第 13 回　学外実習 【学修内容】　標本館見学（札幌医科大学）現地にて説明を受ける。 【事前学修】　解剖学・運動生理学の復習（0.5時間） 【事後学修】　レポート作成　（1時間） 第 14 回　食材の食中毒要因の解剖学的実習 【学修内容】　海産魚のアニサキス検査 【事前学修】　食品衛生学的に重要な食中毒について予習（0.5時間） 【事後学修】　レポートの作成　（1時間） 第 15 回　感覚器系 【学修内容】　皮膚感覚（圧・触点試験、二点弁別試験）神経系　脊髄反射試験、小脳機能検査に付いて実施 【事前学修】　解剖学で皮膚　感覚器の項を復習　（0.5時間） 【事後学修】　教科書等の復習　レポートの作成　（1時間）
評　価　方　法	レポート（60%）、平素の受講態度（40%）
教　　科　　書	プリント教材
参　考　書 参 考 資 料 等	イラスト解剖生理学実験（青峰正裕ほか著、東京教学社）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生化学	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	佐分利　亘
科目コード　SgAAA10204							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士など食に関係する業務に活かすことを意識し、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	①　生体成分（タンパク質、核酸、脂質、糖質等）の化学的基礎を理解する。 ②　生体成分の生体内における代謝と役割（エネルギー代謝、遺伝、タンパク質合成等）について理解する。
到達目標	①　生体成分の化学的特性、機能、代謝、欠乏症等についての基礎的知識を修得する。 ②　遺伝子の働き方について理解する。 ③　代謝について化学的に理解する。
授業の進め方	教科書を中心に講義を進める。

第　1　回　　生きるために必要な物質１
【学修内容】　化学の基礎（元素記号，官能基），糖質
【事前学修】　教科書第１章1.1の内容を把握する。(2時間)
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間)
第　2　回　　生きるために必要な物質２
【学修内容】　タンパク質
【事前学修】　教科書第１章1.2の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間)
第　3　回　　生きるために必要な物質３
【学修内容】　脂質
【事前学修】　教科書第１章1.3の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間)
第　4　回　　生きるために必要な物質４
【学修内容】　核酸，ビタミン，ミネラル
【事前学修】　教科書第１章1.4～1.6の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間)
第　5　回　　生きるために必要な物質5
【学修内容】　教科書第１章のまとめ（チェックテスト）
【事前学修】　教科書第１章をあらためて読むとともに講義資料を復習する。（2時間）
【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。(2時間)
第　6　回　　体の中の化学反応
【学修内容】　酵素のはたらき
【事前学修】　教科書第２章の内容を把握する。（2時間）
【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間)

授　業　計　画	第　7　回　　タンパク質と遺伝子の関係１ 【学修内容】　遺伝 【事前学修】　第３章3.2の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第　8　回　　タンパク質と遺伝子の関係２ 【学修内容】　DNAの複製 【事前学修】　第３章3.2の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第　9　回　　タンパク質と遺伝子の関係３ 【学修内容】　転写と翻訳 【事前学修】　教科書第３章3.1の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第10　回　　タンパク質と遺伝子の関係４ 【学修内容】　遺伝子工学 【事前学修】　教科書第３章3.3の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第 11 回　　タンパク質と遺伝子の関係5 【学修内容】　教科書第２章と第３章のまとめ (チェックテスト) 【事前学修】　教科書第２章と第３章、これらと関連する講義資料の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。(2時間) 第12　回　　エネルギーを得る仕組み1 【学修内容】　糖質の代謝 【事前学修】　教科書第４章4.1と4.,2の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第13　回　　エネルギーを得る仕組み2 【学修内容】　脂質代謝 【事前学修】　教科書第４章4.3の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第14　回　　エネルギーを得る仕組み3 【学修内容】　アミノ酸代謝と生体防御 【事前学修】　教科書第４章4.4と第５章5.3と5.4の内容を把握する。（2時間） 【事後学修】　講義資料を中心に復習する。(2時間) 第15　回　　まとめ 【学修内容】　講義全体の内容の確認 (チェックテスト) 【事前学修】　講義で学習した内容を復習する。（2時間） 【事後学修】　チェックテストでできなかった問題を復習する。(2時間)
評　価　方　法	筆記試験（60%）、小テストやレポートおよび平素の受講態度等（40%）。
教　　科　　書	カラー図解　生化学ノート　書く！塗る！わかる！（森誠著、講談社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	スタートアップ生化学（椎名隆ほか著、化学同人） 必要に応じ資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生化学実験	実験	1	選択	必修	必修	2年・前期	佐分利　亘
科目コード　SgAAC20205							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士など食に関係する業務に活かすことを意識し、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 生化学の講義で学んだ生体を構成する物質の性質や機能について，実験を通じて実体としての理解を深め、理論と技術を体系的に理解する。 授業概要 ① 生体試料の基本的な取り扱い方および分析方法について教授する。 ② 生体物質の定性および定量分析について教授する。 ③ 酵素の働きを定性的な分析を通じて理解する。
到達目標	生化学実験の理論、専門的技術の修得を目標とする。 ① 生体試料の基本的な取り扱い方及び分析方法を修得する。 ② 生体物質の定性及び定量分析について学修する。 ③ 酵素反応の定性分析法について理解する。
授業の進め方	実験の目的、学術的背景、実験方法や注意点を教授したうえで、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。
	第 1回　器具練習 【学修内容】　実験器具の使い方を学ぶ 【事前学修】　メスピペットの使い方を復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 2回　タンパク質の定量1 【学修内容】　検量線の作成と野菜からの抽出液の調製 【事前学修】　タンパク質について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 3回　タンパク質の定量2 【学修内容】　未知試料のタンパク質濃度の定量 【事前学修】　タンパク質について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 4回　核酸の分析 【学修内容】　コメからのゲノムDNAの調製 【事前学修】　核酸について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 5回　核酸の抽出 【学修内容】　PCRによるDNA断片の増幅 【事前学修】　遺伝子工学について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 6回　核酸の増幅 【学修内容】　電気泳動による核酸の分析 【事前学修】　核酸について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間）

授　業　計　画	第 7回　澱粉の観察1 【学修内容】　澱粉を調製する。 【事前学修】　糖質（多糖）について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 8回　澱粉の観察2 【学修内容】　調製した澱粉粒を顕微鏡で観察する。 【事前学修】　糖質（多糖）について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第 9回　糖質の機能 【学修内容】　シクロデキストリンによる化合物の包接 【事前学修】　糖質（オリゴ糖）について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第10回　甘酒作りとシクロデキストリンによる化合物の包接 【学修内容】　麹により甘酒を調製するとともにシクロデキストリンにより食品成分の包摂による味質の変化を確かめる。 【事前学修】　糖質について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第11回　糖の定性 【学修内容】　甘酒中の糖質をTLCにより分析する。 【事前学修】　糖質と酵素について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第12回　還元糖の定量 【学修内容】　甘酒中の還元糖量を定量する。 【事前学修】　糖質と酵素について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第13回　レバーからの脂質の抽出 【学修内容】　レバーから中性脂肪を抽出する。 【事前学修】　脂質について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第14回　中性脂肪の定量 【学修内容】　中性脂肪を定量する。 【事前学修】　脂質について復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間） 第15回　まとめ 【学修内容】　生化学で学んだ知識を統合し、実際の食品への利活用を考える。 【事前学修】　生化学、実験で学んだことを総合的に復習する。（0.5時間） 【事後学修】　レポート課題を完成させる。（1時間）
評　価　方　法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。
教　　科　　書	プリントを毎回配付する。
参　考　書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
運動生理学	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	福　本　真一郎
科目コード　SgAAA20206							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	我々の健康は栄養、運動、休養の適切なバランスの上に成り立っており、生活習慣病、運動器疾患等の疾病予防には日常生活における運動の重要性が指摘されている。これらを背景として将来栄養士として幅広い分野において活用できる身体運動の生理学的基礎と、健康及び体力の維持・増進をもたらす適切な運動の実施法や運動処方について学ぶことは重要である。一年時に学修した人体解剖学の基礎的な情報と関連付けて生理学の基本的な情報を学修する。
到達目標	①　身体運動の生理学的基礎知識を理解し、説明することができる。 ②　運動時のエネルギーや栄養素の代謝について理解し、説明することができる。 ③　健康及び体力の維持・増進における運動の重要性や実施方法を説明できる。
授業の進め方	授業はパワーポイントと配付資料を用いて進める。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　運動生理学の概要　食物栄養学としての取り組みの説明
【事前学修】　解剖学　特に運動器系（筋肉系　消化器系）の復習　（２時間）
【事後学修】　配付資料等を参照による復習　（２時間）
第　2　回　　筋収縮とエネルギー供給系
【学修内容】　骨格筋の収縮の基本的な情報を学修する。最も基本的な筋収縮のメカニズムを学修する。P1-10
【事前学修】　教科書　第1章を熟読。解剖学の骨格筋を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書　資料を復習する。（2時間）
第　3　回　　筋繊維の種類とその特徴
【学修内容】　骨格筋を中心に構成する筋繊維の特徴を学修する。P12-18
【事前学修】　教科書　第2章　筋繊維の特徴を熟読。（2時間）
【事後学修】　教科書　資料を復習する。（2時間）
第　4　回　　神経系の構造と種類
【学修内容】　骨格筋の運動に関与する神経関連の情報を学修する。　P21-29
【事前学修】　教科書　第3章　神経系の役割について　解剖学の神経系を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書や資料を復習する。（2時間）
第　5　回　　筋の収縮様式と筋力
【学修内容】　第1章の骨格筋の収縮機構をさらに深く学修する。　P.32-40
【事前学修】　教科書　第4章　筋の収縮様式と筋力　　特にトレーニングによる筋肉構造の変化について熟読。（2時間）

【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）
第　6　回　　運動と循環・運動と呼吸
【学修内容】　筋肉の運動に関連する循環器系について学修する。　p44-48
【事前学修】　教科書　第5章　運動と循環　解剖学の循環器系を復習しておくこと。（2時間）
【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　　運動と呼吸 【学修内容】　運動と呼吸器系の関連を学修する。　p51-61 【事前学修】　教科書　第6章　呼吸器系について　解剖学も復習しておくこと。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 8 回　　運動とホルモン 【学修内容】　運動に関連するホルモン支配について学修する。　p65-71 【事前学修】　教科書　第7章運動とホルモンについて　解剖学の内分泌も復習しておくこと。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 9 回　　筋疲労の要因 【学修内容】　運動に伴う筋疲労の解説　　p76-78 【事前学修】　教科書　第8章　筋疲労の要因　乳酸などの解釈について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 10 回　　運動と体温調節 【学修内容】　運動に伴う体温調節の解説　暑熱対策・熱中症なども関連 【事前学修】　教科書　第9章　運動と体温調節について　p84-89について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 11 回　　運動と栄養 【学修内容】　運動の基本となる栄養に関して解説する。　栄養素についての復習 【事前学修】　教科書　第10章　p92-99　栄養素の復習（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 12 回　　身体組成と肥満 【学修内容】　健康に悪影響を及ぼす肥満と運動との関連を解説する。 【事前学修】　教科書　第11章　p105-112　第9・10章も復習　（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 13 回　　運動処方 【学修内容】　健康や体力に関わる運動の効用について解説 【事前学修】　教科書　第１２章　運動による健康への効能　p114-120について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 14 回　　運動と生活習慣病 【学修内容】　国民的問題である生活習慣病の理解と運動の効能について解説 【事前学修】　教科書　第１３章　運動と生活習慣病　p129-136について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間） 第 15 回　　老化に伴う身体機能の変化 【学修内容】　高齢化社会の現在 高齢化に伴う身体機能と運動の関係を解説 【事前学修】　教科書　第１４章　老化に伴う身体機能の変化　p142-148について熟読。（2時間） 【事後学修】　教科書と資料を復習すること。（2時間）
評　価　方　法	課題レポート（90%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教　　科　　書	入門運動生理学　第４版（勝田茂編著、杏林書院）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学総論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	山 岸 和 敏
科目コード　ＳｇＡＡＡ10301							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品の基礎知識として、人間とのかかわりや機能について修得する。 授業概要 食品の体系的な理解のため、健康や環境等とのかかわり、食品の種類・分類について教授する。 食品成分の化学的性質や働き、所在等について教授する。
到達目標	食品学は調理学や栄養学等、他科目とのかかわりが深いことから、一年次に食品の基礎知識の修得を目標とする。 ① 人間生活における食品の位置付け、食品の種類・分類について理解する。 ② 生命維持に必要な栄養成分、おいしさにかかわる嗜好成分の化学的性質や働き、所在について学修する。 ③ 疾病や老化の予防等にかかわる成分の所在や生理機能について学修する。
授業の進め方	教科書と講義資料に基づき授業を進めるので、授業終了後に復習し、理解できない点がある場合は、次の授業時間後等に質問すること。

第 1 回　オリエンテーション
【学修内容】　シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。
【事前学修】　食品学総論のシラバスを読んでおく。（2時間）
【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（2時間）
第 2 回　食品とは何か　Ⅰ
【学修内容】　人間と食品の関わりについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.1～10を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「人間と食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 3 回　食品とは何か　Ⅱ
【学修内容】　食品の種類・分類、食品成分表について学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.12～15、p.162～173を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「食品の種類・分類、食品成分表」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 4 回　食品とは何か　Ⅲ
【学修内容】　食品成分の分類、水分について学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.15～19を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「食品成分の分類、水分」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 5 回　栄養成分　Ⅰ
【学修内容】　たんぱく質①：アミノ酸、ペプチドについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.19～27を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「たんぱく質①」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 6 回　栄養成分　Ⅱ
【学修内容】　たんぱく質②：ポリペプチドについて学ぶ。
【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.27～37を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　講義資料「たんぱく質②」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　　栄養成分　Ⅲ 【学修内容】　炭水化物①：単糖類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.38～45を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「炭水化物①」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 8 回　　栄養成分　Ⅳ 【学修内容】　炭水化物②：少糖類、多糖類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.46～56を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「炭水化物②」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 9 回　　栄養成分　Ⅴ 【学修内容】　脂質について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.56～69を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「脂質」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 10 回　　栄養成分　Ⅵ 【学修内容】　ビタミンについて学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.69～78を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「ビタミン」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 11 回　　栄養成分　Ⅶ 【学修内容】　ミネラルについて学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.78～84を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「ミネラル」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 12 回　　嗜好成分　Ⅰ 【学修内容】　色素成分について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.91～98を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「色素成分」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 13 回　　嗜好成分　Ⅱ 【学修内容】　呈味成分について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.98～109を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「呈味成分」を用いて、今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 14 回　　嗜好成分　Ⅲ 【学修内容】　香気・におい成分、褐変について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.109～120を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「香気・におい成分、褐変」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 15 回　　食品の物性 【学修内容】　食品の物理的性質について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.120～127を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「食品の物性」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）平素の受講態度等。
教　　科　　書	食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－（荒川義人ほか共著、三共出版） 食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－（中河原俊治ほか共著、三共出版）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	各授業の中で講義資料を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学各論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	山 岸 和 敏
科目コード　SgAAA10302							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品にかかわる応用知識として、食品毎の特性や成分について修得する。 授業概要 食品を生物起源によって分類し、種類、特性並びに栄養・機能性成分について教授する。 食品の調理・加工・貯蔵適性及び成分変化について教授する。
到達目標	食品を扱う専門職に求められる応用知識の修得を目標とする。 ① 食品の起源や特性について理解する。 ② 個々の食品が持つ栄養成分や機能性成分について学修する。 ③ 食品の調理・加工・貯蔵の方法と化学的・物理的変化について学修する。
授業の進め方	教科書と講義資料に基づき授業を進めるので、授業終了後に復習し、理解できない点がある場合は、次の授業時間後等に質問すること。

第 1 回	オリエンテーション 植物性食品の特性と加工 Ⅰ
【学修内容】	シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。 穀類について学ぶ。
【事前学修】	食品学各論のシラバスを読んでおく。 教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.16～23を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。 講義資料「穀類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 2 回	植物性食品の特性と加工 Ⅱ
【学修内容】	いも類、豆類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.24～34を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「いも類」「豆類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 3 回	植物性食品の特性と加工 Ⅲ
【学修内容】	種実類、野菜類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.34～46を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「種実類」「野菜類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 4 回	植物性食品の特性と加工 Ⅳ
【学修内容】	果実類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.46～55を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「果実類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 5 回	植物性食品の特性と加工 Ⅴ
【学修内容】	きのこ類、藻類について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.56～65を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「きのこ類」「藻類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
第 6 回	動物性食品の特性と加工 Ⅰ
【学修内容】	肉類①：筋肉の構造、成分と機能性について学ぶ。
【事前学修】	教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.71～76を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	講義資料「肉類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　動物性食品の特性と加工　Ⅱ 【学修内容】　肉類②：死後変化、主な食肉類、食肉製品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.77～86を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「肉類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 8 回　動物性食品の特性と加工　Ⅲ 【学修内容】　魚介類①：種類、特徴、成分と機能性、鮮度判定について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.86～96を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「魚介類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 9 回　動物性食品の特性と加工　Ⅳ 【学修内容】　魚介類②：自然毒による食中毒、主な魚介類、水産加工品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.96～104を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「魚介類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 10 回　動物性食品の特性と加工　Ⅴ 【学修内容】　乳類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.104～112を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「乳類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 11 回　動物性食品の特性と加工　Ⅵ 【学修内容】　卵類について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.112～117を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「卵類」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 12 回　その他の食品の特性と加工　Ⅰ 【学修内容】　食用油脂、甘味料について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.123～133を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「食用油脂」「甘味料」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 13 回　その他の食品の特性と加工　Ⅱ 【学修内容】　調味料、香辛料、嗜好飲料について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.133～142を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「調味料」「香辛料」「嗜好飲料」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 14 回　その他の食品の特性と加工　Ⅲ 【学修内容】　微生物利用食品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－）p.147～160を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「微生物利用食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間） 第 15 回　機能性食品 【学修内容】　機能性食品について学ぶ。 【事前学修】　教科書（食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－）p.132～157を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　講義資料「機能性食品」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、平常点（10%）平素の受講態度等。
教　　科　　書	食べ物と健康Ⅰ－食品の分類と成分－（荒川義人ほか共著、三共出版） 食べ物と健康Ⅱ－食品の機能－（中河原俊治ほか共著、三共出版）
参　考　書 参 考 資 料 等	各授業の中で講義資料を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品衛生学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	中村 佳苗
科目コード　SgAAA10303							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食中毒等食品による健康被害や食品の変質・保存等に関する化学、物理学、微生物学等についての知識を修得するとともに、表示に関する規則等食品衛生に関する法規、行政の仕組みを理解することにより、将来、給食施設等食に関する業務に就くための基本的考え方を身に付ける。
到達目標	① 食品衛生の基本である衛生管理、食中毒等健康被害、食品の表示等に関する知識を修得する。 ② 国の内外又は身近において発生する、食の安全に関するできごとの本質を捉え、対処できる能力を養う。
授業の進め方	教科書を中心に、実際の事例を含め、体系的に講義を進める。また、食中毒等食の安全性にかかわる重要な問題や栄養士として食品衛生上求められる衛生管理及び表示等については、より詳細に講義を進める。

第 1 回	食品衛生の定義、食品衛生行政（食品衛生行政の沿革、範囲、食品衛生を担う者）
【学修内容】	食品衛生学の定義と食品衛生行政について理解する。
【事前学修】	教科書第1章と第２章について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第 2 回	食品衛生法と関連法規（法の仕組み、表示、食品の規格基準等）
【学修内容】	食品衛生関係法規と食品の規格基準について理解する。
【事前学修】	教科書第３章について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第 3 回	食品と微生物（微生物の性状、発育条件）
【学修内容】	食品に関連する微生物について理解する。
【事前学修】	教科書第4章について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第 4 回	食品の変質（変質、腐敗、防止等）
【学修内容】	食品の変質とその防止について理解する。
【事前学修】	教科書第５章について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第 5 回	食中毒1（食中毒の分類、発生状況、感染型食中毒）
【学修内容】	食中毒の分類と発生状況、感染型食中毒を理解する。
【事前学修】	教科書第６章の発生状況と感染型食中毒をについて目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第 6 回	食中毒2（感染型食中毒、毒素型食中毒、ウイルス性食中毒）
【学修内容】	感染型食中毒、毒素型食中毒とウイルス性食中毒について理解する。
【事前学修】	教科書第６章の（感染型、毒素型）食中毒とウイルス性食中毒について目を通しておく。（２時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）

授　業　計　画	第　７　回　　食中毒3（自然毒食中毒） 【学修内容】　自然毒食中毒を理解する。 【事前学修】　教科書第６章の自然毒食中毒について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　８　回　　食中毒４（化学性食中毒と経口感染症） 【学修内容】　化学性食中毒と経口感染症について理解する。 【事前学修】　教科書第６章の化学性食中毒と経口感染症について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　９　回　　食中毒５（経口寄生虫症） 【学修内容】　経口寄生虫症について理解する。 【事前学修】　教科書第６章の経口寄生虫症について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第10　回　　有害物質における食品汚染（カビ毒、農薬、重金属等） 【学修内容】　有害物質における食品汚染を理解する。 【事前学修】　教科書第７章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第11　回　　食品添加物１（概念、規格基準、表示） 【学修内容】　食品添加物の規格基準や表示について理解する。 【事前学修】　教科書第８章の規格基準や表示について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第12　回　　食品添加物２（安全性評価、種類、用途） 【学修内容】　食品添加物の安全性評価、種類と用途について理解する。 【事前学修】　教科書第８章の安全性評価や種類、用途について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第13　回　　食品用器具、台所用洗浄剤、HACCP 【学修内容】　食品用器具、台所用洗剤やHACCPについて理解する。 【事前学修】　教科書第９章と第１０章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第14　回　　食品衛生対策（施設の衛生）と食品の安全性（遺伝子組み換え食品など） 【学修内容】　施設の衛生対策と遺伝子組み換え食品などについて理解する。 【事前学修】　教科書第１０章と第１１章について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　食品衛生学全般について理解する。 【事前学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか小テストや平素の受講態度を加味する（10%）。
教　　科　　書	新食品衛生学要説（廣末トシ子・安達修一編、医歯薬出版）
参　考　書 参考資料等	各法規の抜粋、統計等は必要に応じ配付する。
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の保健所における食品衛生に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品衛生学実験	実験	1	選択	必修	必修	2年・後期	山岸　和敏 木野村　美花
科目コード　ＳｇＡＡＣ20304							担当形態：クラス分け・オムニバス

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	目的 食品の衛生検査と品質検査について、理論と技術を身に付ける。 授業概要 食品の安全性と健全性の確保に必要とされる、衛生検査と品質検査の理論と手法について教授する。
到達目標	食品の各種検査を通して安全性と健全性の観念を体得し、食品の加工、調理に活かすことを目標とする。 ① 食品を扱う専門職を目指す者として、食品の衛生と品質についての倫理観を養う。 ② 食品の衛生検査と品質検査に用いられる、各種手法の有用性と実験操作について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法及び注意点を教授した上で、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。

第 1 回	オリエンテーション	（担当：山岸）
【学修内容】	シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。 食中毒予防について学ぶ。	
【事前学修】	食品衛生学実験のシラバスを読んでおく。（0.5時間）	
【事後学修】	シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。 配付資料「食中毒予防」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	
第 2 回	手指検査	（担当：木野村）
【学修内容】	手指検査について理解する。	
【事前学修】	手指検査について調べる。（0.5時間）	
【事後学修】	今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	
第 3 回	細菌検査の基本操作、環境中の細菌検査	（担当：山岸）
【学修内容】	細菌検査の基本操作、空中落下菌の検査について学ぶ。	
【事前学修】	細菌検査の基本操作、環境中の細菌検査について調べておく。（0.5時間）	
【事後学修】	配付資料「細菌検査の基本」「空中落下菌の検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	
第 4 回	調理器具の細菌検査	（担当：山岸）
【学修内容】	包丁、手指の細菌検査について学ぶ。	
【事前学修】	調理器具の細菌検査について調べておく。（0.5時間）	
【事後学修】	配付資料「調理器具の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	
第 5 回	野菜の細菌検査	（担当：山岸）
【学修内容】	キャベツの細菌検査について学ぶ。	
【事前学修】	野菜の細菌検査について調べておく。（0.5時間）	
【事後学修】	配付資料「野菜の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	
第 6 回	乳製品の細菌検査	（担当：山岸）
【学修内容】	発酵乳などの細菌検査について学ぶ。	
【事前学修】	乳製品の細菌検査について調べておく。（0.5時間）	
【事後学修】	配付資料「乳製品の細菌検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）	

授　業　計　画	第　7　回　　食品の品質判定　（担当：山岸） 【学修内容】　米、魚肉練り製品などの品質判定について学ぶ。 【事前学修】　食品の品質判定について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「食品の品質判定」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第　8　回　　鶏卵の鮮度測定　（担当：山岸） 【学修内容】　鶏卵の比重などによる鮮度測定について学ぶ。 【事前学修】　鶏卵の鮮度測定について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「鶏卵の鮮度測定」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第　9　回　　水質検査　（担当：山岸） 【学修内容】　ミネラルウォーターの水質検査について学ぶ。 【事前学修】　水質検査について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「水質検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 10 回　　合成着色料の検査　（担当：山岸） 【学修内容】　菓子、飲料に含まれる合成着色料の検査について学ぶ。 【事前学修】　合成着色料の検査について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「合成着色料の検査」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　　小麦加工品の製造：膨張剤の働きについて　（担当：木野村） 【学修内容】　膨張剤の働きについて理解する。 【事前学修】　膨張剤について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 12 回　　大豆加工品の製造：凝固剤の働きについて　（担当：山岸） 【学修内容】　木綿豆腐の製造を通して凝固剤の働きについて学ぶ。 【事前学修】　凝固剤について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「木綿豆腐」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 13 回　　果物加工品の製造：糖蔵と脱気殺菌法について　（担当：木野村） 【学修内容】　糖蔵と脱気殺菌法について理解する。 【事前学修】　糖蔵と脱気殺菌法について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 14 回　　缶詰の製造：高圧蒸気滅菌法について　（担当：山岸） 【学修内容】　ゆで小豆の缶詰の製造を通して高圧蒸気滅菌法について学ぶ。 【事前学修】　高圧蒸気滅菌法について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「ゆで小豆の缶詰」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 15 回　　肉加工品の製造：発色剤の働きについて　（担当：外部講師） 【学修内容】　ソーセージの製造を通して発色剤の働きについて学ぶ。 【事前学修】　発色剤について調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「食肉加工」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
評　価　方　法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。
教　　科　　書	プリントを毎回配付する。
参　考　書 参 考 資 料 等	授業の中で適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学実験Ⅰ	実験	1	選択	必修	必修	1年・前期	山　岸　和　敏
科目コード　SgAAC10305							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。 本科目を履修し単位を修得しなければ、食品学実験Ⅱは履修することができない。
授業の目的・概要	目的 食品の成分に関する知識並びに基礎的な分析手法を修得する。 授業概要 実験の基本的な心得と知識、操作法について教授する。 身近な食品を実験材料とし、成分に関する知識並びに基礎的な分析手法について教授する。
到達目標	基礎的な実験を通して、食品の成分に関する知識と分析技術の修得を目標とする。 ①　実験の心得、実験器具と装置の使用方法について理解する。 ②　食品成分が有する化学的性質について学修する。 ③　食品成分の定量分析について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法及び注意点を教授した上で、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。

第 1 回	オリエンテーション
【学修内容】	シラバスに沿って、授業概要、主旨、評価方法を説明する。 実験の基本的な心得について学ぶ。
【事前学修】	食品学実験Ⅰのシラバスを読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。 テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 2 回	基本操作 Ⅰ
【学修内容】	器具と装置の原理、使用目的、使用方法、試薬について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.6～10を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 3 回	基本操作 Ⅱ
【学修内容】	実験器具と装置の使用法（精秤、磨砕、抽出、希釈、顕微鏡）について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.18～19「顕微鏡の操作法」を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 4 回	基本操作 Ⅲ
【学修内容】	実験器具と装置の使用法（ろ過、測容、滴定）について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（化学実験の基礎）p.12～18を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（化学実験の基礎）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 5 回	植物性食品からの核酸抽出
【学修内容】	ブロッコリーからのDNA抽出について学ぶ。
【事前学修】	核酸について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】	配付資料「DNAの抽出実験」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
第 6 回	定性分析 Ⅰ
【学修内容】	脂質の定性分析について学ぶ。
【事前学修】	テキスト（定性分析）p.1～3を読んでおく。（0.5時間）
【事後学修】	テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

授　業　計　画	第 7 回　定性分析 Ⅱ 【学修内容】　糖質の定性分析について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定性分析）p.4～6を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 8 回　定性分析 Ⅲ：タンパク質、アミノ酸 【学修内容】　タンパク質、アミノ酸の定性分析について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定性分析）p.7～10を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定性分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 9 回　定量分析 Ⅰ 【学修内容】　酸、塩基、pH、分子量、モル、グラム当量、規定度について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.1～4を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 1C 回　定量分析 Ⅱ 【学修内容】　試薬の調製と標定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.5～7上部を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　定量分析 Ⅲ 【学修内容】　調味料の酸度の測定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.7下部～8を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 12 回　定量分析 Ⅳ 【学修内容】　果実の酸度の測定について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.9～10を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 13 回　定量分析 Ⅴ 【学修内容】　還元糖の定量 ①：検量線の作成について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.11～13（1）を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 14 回　定量分析 Ⅵ 【学修内容】　還元糖の定量 ②：清涼飲料水の還元糖の定量について学ぶ。 【事前学修】　テキスト（定量分析）p.13（2）を読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　テキスト（定量分析）を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 15 回　デンプン粒の観察と消化実験 【学修内容】　デンプンの抽出と顕微鏡観察　唾液アミラーゼによるデンプンの消化について学ぶ。 【事前学修】　デンプン、アミラーゼについて調べておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料「デンプンに関する諸実験」を用いて、授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
評　価　方　法	平常点、実験報告書、提出課題、平素の受講態度等（100%）。
教　　科　　書	オリジナルテキストを使用する。
参　考　書 参 考 資 料 等	授業の中で適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
食品学実験Ⅱ	実験	1	選択	必修	必修	1年・後期	木野村　美　花
科目コード　SgAAC10306							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	食品学実験Ⅰを履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	目的 食品の成分分析について、理論と技術を修得する。 授業概要 ① 食品の一般成分、ビタミン、塩分の分析における理論と手法について教授する。 ② 遺伝子組み換え食品に関する知識並びに分析手法について教授する。
到達目標	食品の成分分析の理論、専門的技術の修得を目標とする。 ① 成分分析について、食品を扱う専門職に求められる幅広い知識や技術を修得する。 ② 一般成分、ビタミン、塩分の分析を通し、食品成分表に記載されている数値の成り立ちについて学修する。 ③ 食品の栄養成分や核酸（DNA、RNA）が有する化学的性質について学修する。
授業の進め方	実験の目的、科学的背景、実験方法や注意点を教授したうえで、実験の作業を実施する。実験操作の観察、実験報告書の内容等から知識と技術の到達度を把握し、未到達の部分は適宜指導する。
	第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　シラバスに沿って授業概要、主旨、評価方法の説明をする。 【事前学修】　授業前にシラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　シラバスを参照して本授業の概要と目標について理解を深める。（0.5時間） 第 2 回　食品の一般成分分析Ⅰ　分析方法の種類、原理 【学修内容】　分析方法の種類、原理について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 3 回　食品の一般成分分析Ⅱ　実験器具の説明、使用法 【学修内容】　実験器具、使用法について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 4 回　食品の一般成分分析Ⅲ　水分の測定：常圧加熱乾燥法 【学修内容】　水分の測定について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 5 回　食品の一般成分分析Ⅳ　灰分の測定：直接灰化法 【学修内容】　灰分の測定について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 6 回　食品の一般成分分析Ⅴ　粗脂肪の測定：ソックスレー抽出法 【学修内容】　粗脂肪の測定について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）

授　業　計　画	第 7 回　食品の一般成分分析Ⅵ　粗たんぱくの測定：ケルダール法 【学修内容】　粗たんぱくの測定について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 8 回　食品の一般成分分析Ⅶ　炭水化物の算出 【学修内容】　炭水化物の算出について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 9 回　食品の一般成分分析Ⅷ　エネルギーの算出 【学修内容】　エネルギーの算出について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第10 回　食品の一般成分分析Ⅸ　一般成分分析のまとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したオリジナルテキストに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第 11 回　ビタミンCの定量Ⅰ　分光光度計の原理、検量線作成 【学修内容】　分光光度計の原理、検量線について理解する。 【事前学修】　分光光度計の原理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第12 回　ビタミンCの定量Ⅱ　食品中のビタミンCの測定 【学修内容】　ビタミンCの測定について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第13 回　塩分の測定 【学修内容】　塩分の測定について理解する。 【事前学修】　塩分について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第14 回　動物性食品からの核酸抽出と定量 【学修内容】　核酸抽出と定量について理解する。 【事前学修】　核酸について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　今回の授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間） 第15 回　まとめ 【学修内容】　今までの授業で学んだ内容について理解する。 【事前学修】　配付したプリント資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容を復習しておく。（1時間）
評　価　方　法	筆記試験（50%）、平常点（50%）実験報告書、提出課題、平素の受講態度等。
教　科　書	オリジナルテキスト 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部）
参　考　書 参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
備　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学総論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10401							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士として基本になることはもちろん自分自身や家族、多くの方々を健康に導かせることができる専門知識となる。このことを念頭において受講する。
授業の目的・概要	栄養・栄養素の基礎を学び、健康の維持・増進、疾病予防・治療における栄養的役割を理解する。食事を摂る意義、消化・吸収の仕組み、各栄養素の特徴、水やエネルギー代謝の生理的意義を学修することによって、多くの方々の健康を担う栄養士に必要な専門知識を身に付けることを目的とする。
到達目標	①　栄養と栄養素の違いを知ることができる。 ②　食物摂取の意義、消化・吸収について理解できる。 ③　各栄養素の特徴、体への作用を理解できる。 ④　体内における水分の役割、エネルギー代謝について理解できる。 ＊栄養学の基礎を学ぶことで栄養素の働きを知る楽しさ、食べることの意義について理解できる。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第　1　回	オリエンテーション、栄養の概念①
【学修内容】	栄養と栄養素の基本、代謝とは何かを理解する。
【事前学修】	教科書第1章 「1.栄養の定義」「2.栄養と健康・疾患」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　2　回	栄養の概念②（遺伝子形質と栄養）、食物の摂取
【学修内容】	遺伝子と健康、なぜ食物を摂取するのか、時間と食物摂取の関係（時間栄養学）について学ぶ。
【事前学修】	教科書第1章「3.遺伝形質と栄養の相互作用」、第2章「食物の摂取」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　3　回	消化・吸収と栄養素の体内動態①
【学修内容】	消化器系とその働き、口から摂取した食物の消化の流れを学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「1. 消化器の構造と機能」～「4.管腔内消化の調節」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　4　回	消化・吸収と栄養素の体内動態②
【学修内容】	消化された栄養素が吸収される仕組み、栄養素別の消化・吸収、消化吸収率について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「5. 膜消化・吸収」～「8.生物学的利用度」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　5　回	炭水化物の栄養①
【学修内容】	生命活動に必要不可欠なエネルギーとエネルギー産生、炭水化物の種類について学ぶ。
【事前学修】	教科書第4章「1. 炭水化物の概要」～「3.エネルギー源としての作用」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　6　回	炭水化物の栄養②
【学修内容】	炭水化物の働き、血糖とホルモン、糖質の代謝、食物繊維について学ぶ。
【事前学修】	教科書第4章「4.血糖とその調節」～「7.食物繊維」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　脂質の栄養① 【学修内容】　脂質の種類と働き、コレステロールの作用について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「1. 脂質の種類と働き」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 8 回　脂質の栄養② 【学修内容】　脂質が全身に運搬されていく仕組み、脂質の代謝について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「2.脂質の臓器間輸送」～「7.他の栄養素との相互作用」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 9 回　たんぱく質の栄養① 【学修内容】　たんぱく質とアミノ酸の概要、各アミノ酸の働き、たんぱく質・アミノ酸の代謝について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「1.アミノ酸・たんぱく質の構造・機能」～「3.体内代謝（A）」を読んで予習する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 10 回　たんぱく質の栄養② 【学修内容】　アミノ酸の代謝（利用と排泄）、たんぱく質の質の評価、たんぱく質の摂取方法について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「3.体内代謝（B）」～「6.他の栄養素との関係」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 11 回　ビタミンの栄養① 【学修内容】　ビタミンの概要、ビタミンの種類、脂溶性ビタミンの働きについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「1.ビタミンの構造と機能（A）」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 12 回　ビタミンの栄養② 【学修内容】　水溶性ビタミンの働き、ビタミンと他の栄養素の関係を学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「1.ビタミンの構造と機能（B）」～「4.他の栄養との関係」を読んで予習する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 13 回　ミネラル（無機質）の栄養 【学修内容】　多量ミネラルと微量ミネラルの種類と働きについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「ミネラルの栄養」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 14 回　水・電解質の栄養的意義 【学修内容】　生命活動に必要な水の働き、体内水分の構成、脱水と浮腫（むくみ）ついて学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「水・電解質の栄養的意義」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 15 回　エネルギー代謝 【学修内容】　基礎代謝や身体活動によるエネルギー消費、臓器別のエネルギー代謝を学ぶ。 【事前学修】　教科書第10章「エネルギー代謝」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、平常点（20%）　平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	栄養科学イラストレイテッド「基礎栄養学 第４版」（田地陽一編、羊土社）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜資料を配付する。
備　　考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学各論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10402							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	さまざまな世代に関わる栄養士。各世代による心身の状態や変化を理解した上で食事（栄養素）の提供および食事指導が必要となる。そのための栄養学的知識の修得を念頭におきながら積極的に受講する。
授業の目的・概要	栄養士の業務は、世代による体と心の状態・変化を把握し、多くの方々の健康維持・増進、疾病予防のための食生活に関わっていかなければならない。人間が誕生し発育～成熟～加齢して行く過程、すなわち「妊娠期、新生児・乳児期、成長期、成人期、高齢期」それぞれのライフステージにおける心身の状況や栄養管理の特性を理解することが大事となる。生涯を通して適切な食生活を実践するための専門知識を学修することが目的となる。少子高齢化が加速する中、より一層ニーズが高まる栄養士。各世代の健康に関する栄養学を学ぶことで、社会に貢献できる栄養士となることを目標とする。
到達目標	①　ライフステージ毎の心身の特徴と栄養管理の特性が理解できる。 ②　ライフステージに適した栄養や食事の重要性を認識し、好ましい食生活について考察することができる。 ③　スポーツやストレス時の栄養について理解ができる。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第　1　回	栄養学各論と栄養士の仕事
【学修内容】	栄養士の仕事を動画などで学ぶ。
【事前学修】	栄養士の仕事、考え方などについて本やサイトで調べておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだこと、感じたことをまとめる。（2時間）
第　2　回	栄養ケア・マネジメント
【学修内容】	個々人に適切な栄養管理を行うための栄養状態の判定、アセスメント、栄養ケア計画について学ぶ。
【事前学修】	教科書第1章「栄養ケア・マネジメント」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　3　回	食事摂取基準
【学修内容】	健康の維持・増進、生活習慣病を予防するための栄養素の基準値を示した「日本人の食事摂取基準」を学ぶ。
【事前学修】	教科書第2章「食事摂取基準」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　4　回	成長・発達・加齢
【学修内容】	成長・発達・発育の概念と栄養、加齢に伴う心身の変化と栄養について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「成長、発達、加齢」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　5　回	妊娠期
【学修内容】	妊娠期の母体と胎児の生理的変化、妊娠期に必要な栄養素について学ぶ。
【事前学修】	教科書第4章「1.妊娠期の生理的特徴A～D」「2.妊娠期の栄養ケアA、B」を読んで予習する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第　6　回	妊娠期の疾病、授乳期
【学修内容】	妊娠期に起こりやすい疾病、授乳期について学ぶ。
【事前学修】	教科書第4章「2.妊娠期の栄養ケアC～J」「1.授乳期の生理的特徴E～G」を読んで予習する。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　新生児期、乳児期 【学修内容】　新生児期、乳児期の生理的特徴と栄養ケア、離乳期について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「新生児期、乳児期」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第　8　回　　幼児期 【学修内容】　幼児期の生理的特徴と栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「1. 幼児期の生理的特徴」「2.幼児期の栄養ケア」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第　9　回　　学童期、思春期 【学修内容】　学童期、思春期の生理的特徴と栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「3. 学童期・思春期の生理的特徴」「4. 栄養ケア」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 10 回　　成人期 【学修内容】　成人期、更年期の生理的特徴と栄養、メタボリックシンドローム、生活習慣病について学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「成人期」を読んでを予習しておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 11 回　　高齢期① 【学修内容】　高齢期の身体的変化、フレイルやサルコペニアについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「1. 高齢期の生理的特徴」「2.高齢期の栄養ケアA～C」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 12 回　　高齢期② 【学修内容】　高齢期の骨粗鬆症、認知症、嚥下障害、低栄養について学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「2.高齢期の栄養アセスメントと栄養ケアD～I」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 13 回　　栄養ケアとコミュニケーションの必要性 【学修内容】　患者や利用者などの喫食者、ご家族、多職種スタッフと関わるためのコミュニケーションスキルを学ぶ。 【事前学修】　コミュニケーション、カウンセリング、コーチング、ナッジについて調べておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだこと、感じたことをまとめる。（2時間） 第 14 回　　運動・スポーツと栄養 【学修内容】　運動時のエネルギー代謝、運動時の栄養ケアを学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「運動・スポーツと栄養」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第 15 回　　環境と栄養 【学修内容】　ストレスの概要、ストレスと栄養ケアについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第10章「環境と栄養」を読んでを予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、平常点（20%）　平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	栄養科学イラストレイテッド　応用栄養学　改訂第2版（栢下 淳、上西 一弘編、羊土社）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜資料を配付する。
備　　考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養学実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・後期	嶋　田　祐　子
科目コード　ＳｇＡＡＣ20403							担当形態：クラス分け・単独

科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	私たちが毎日の生活を健康に営む上で栄養素の摂取は不可欠である。ヒトの一生にかかわる栄養素の過不足やアンバランスが、いろいろな疾病を引き起こす誘因ともなっている。本科目では、それぞれのライフステージに適した栄養素摂取と望ましい食習慣を総合的にとらえ、対象者の健康の維持増進及び疾病予防を目指すための基本的な知識と実践力を養う。
到達目標	① 各ライフステージの身体状況の特性を把握し健康維持・増進のための栄養摂取方法等を学び、それぞれに適した食事、調理法を会得する。 ② 様々な食材の特徴、栄養素、調理特性を理解し、献立作成に反映させる。 ③ 栄養学の知識を生かし、献立作成、調理実習を行い実践力を養う。
授業の進め方	教科書を用い、各ライフステージの特徴、食事摂取基準、調理法を学び、その内容に応じた献立作成を行う。各ライフステージにおいて学生が作成した献立から実習を行う。 学生献立実習は、献立作成学生主導の下、実習が行われる。

第 1 回	オリエンテーション、栄養マネジメント（講義）
【学修内容】	授業概要とガイダンス及び調理の基礎と栄養マネジメントについて理解する。
【事前学修】	教科書（応用栄養学実習）のP2～18を読み、予習をしておく。（0.5時間）
【事後学修】	配付資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（0.5時間）
第 2 回	母性栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞
【学修内容】	母性栄養の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。
【事前学修】	教科書のP24～46を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間）
【事後学修】	母性栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間）
第 3 回	幼児期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞
【学修内容】	幼児期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。
【事前学修】	教科書のP75～96を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間）
【事後学修】	幼児期栄養の献立作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間）
第 4 回	学童期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞
【学修内容】	学童期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。
【事前学修】	教科書のP98～120を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間）
【事後学修】	学童期栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間）
第 5 回	高齢期栄養Ⅰ＜講義と献立作成＞
【学修内容】	高齢期の特徴と必要な食事基準を学び、献立（1食）を作成する。
【事前学修】	教科書のP169～190を読み、予習をしておく。 献立を作成のために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間）
【事後学修】	高齢期栄養の献立を作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間）
第 6 回	母性栄養Ⅱ（学生献立実習）
【学修内容】	選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で妊娠期食の献立について理解を深める。
【事前学修】	各自で作成した妊娠期の献立内容を振り返る。（0.5時間）
【事後学修】	実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。 提出期限までに提出する。（１時間）

授　業　計　画	第 7 回　幼児栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で幼児期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した幼児期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 8 回　学童栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で学童期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した学童期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 9 回　高齢期栄養Ⅱ（学生献立実習） 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、また他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で高齢期食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自で作成した高齢期の献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生実施献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 10 回　高齢期栄養Ⅲ（調理実習） 【学修内容】　咀嚼機能低下、嚥下機能低下をしている高齢者の食事内容を学ぶ。 【事前学修】　教科書のP179～191を読み予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　咀嚼能力または嚥下機能低下のレベルに合わせた食事内容について飲み込みやすさなどを比較した調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（0.5時間） 第 11 回　展開食（調理実習） 【学修内容】　常食を介護食（咀嚼力にあわせた）に展開した食事を調理し、展開内容を理解する。 【事前学修】　教科書のP179～191を読み、予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　介護食を実習し、分量や柔らかさ、調理の工夫について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 12 回　乳児期栄養Ⅰ＜講義・DVD＞ 【学修内容】　乳児期栄養の特徴と必要な食事基準を学び、さらに乳児期栄養のDVDで確認する。 【事前学修】　教科書のP50～60を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　講義やDVDについて感想レポートの作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 13 回　乳児期・離乳期栄養Ⅱ（実習） 【学修内容】　調乳と授乳方法の体験および離乳期栄養を調理し、離乳期の進め方を学ぶ。市販食品も検食する。 【事前学修】　教科書のP50～70を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　調乳と授乳体験の感想及び離乳期の進め方について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 14 回　離乳期栄養Ⅰ＜講義・DVD＞ 【学修内容】　離乳期栄養の特徴と必要な食事基準を学び、さらに離乳期栄養のDVDで確認する。 【事前学修】　教科書のP61～70を読み、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　講義やDVDについて感想レポートの作成し完成させる。提出期限までに提出する。（１時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　ライフステージに合わせた栄養についてまとめた内容を理解する。 【事前学修】　事前に配布している資料を予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　配付資料を熟読し、筆記試験に備える。（1.5時間）
評　価　方　法	提出物（60%）、筆記試験（40%）その他、受講態度等を加味し、総合評価とする。
教　科　書	新編　応用栄養学実習（宮澤節子、長浜幸子編集、学建書院） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
参　考　書 参考資料等	適宜紹介する。
備　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
小児・福祉調理実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	佐藤　恵
科目コード　SgAAC20404							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食欲は人間の本能的な欲求行為であり、人間が生きて行くために必要なものである。小児期は形態的な発育とともに、機能的な発達が見られ、人間形成の基礎確立の時期である。また、基本的生活習慣の自立を目指す時でもあり、この時期における栄養の適否、更に、その成長を支援する知識や技術も重要となる。また、高齢者やハンディキャップを持つ方にとっても、食生活はその生命や快適な生活を維持する上で、最も基本的なものである。 人にとって食は、単に空腹を満たし生命を維持するためだけのものではなく、人間としての基本的食習慣形成の場であると同時に、楽しみや満足感を与えるものであり、介護を必要とする高齢者にとっても同様である。授業では、それぞれの特徴に応じた食についての知識、技術を実習を通して学ぶ。
到達目標	①　小児の各発達期に応じた食生活と食事摂取のあり方を理解する。 ②　食物アレルギーについて学び、実際に工夫して調理できる。 ③　高齢者やハンディキャップを持つ方に対する食事のあり方や食事介助を理解する。 ④　嚥下・咀嚼障がいのある方に対する食事のあり方を理解し、食材の選択、調理方法の工夫ができる。
授業の進め方	授業毎にテーマに沿った実習内容のデモンストレーション、実習を行い評価・考察する。
	第　1　回　　オリエンテーション 【学修内容】　授業の目的・概要、到達目標、学修内容について理解する。食育について学ぶ。 【事前学修】　授業前にシラバスを読んでおく。（0.5時間） 【事後学修】　食育の実践例を調べる。（0.5時間） 第　2　回　　小児期の栄養について 【学修内容】　小児の発達に応じた食生活と食事摂取のあり方について学ぶ。 【事前学修】　小児期の特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　給食だよりを作成する。（1時間） 第　3　回　　小児調理実習Ⅰ 【学修内容】　幼児食（おやつ） 【事前学修】　子どもが喜ぶおやつについて調べる。（0.5時間） 【事後学修】　おやつのレシピノートを作成する。（1時間） 第　4　回　　小児調理実習Ⅱ 【学修内容】　幼児食（お弁当） 【事前学修】　お弁当調理の留意点について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お弁当のレシピノートを作成する。（1時間） 第　5　回　　小児調理実習Ⅲ 【学修内容】　幼児食（お子様ランチ） 【事前学修】　子どもが喜ぶ食事の工夫について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お子様ランチのレシピノートを作成する。（1時間） 第　6　回　　小児調理実習Ⅳ 【学修内容】　アレルギー対応食 【事前学修】　食物アレルギーについて調べる。（0.5時間） 【事後学修】　アレルギー対応食のレシピノートを作成する。（1時間）

授　業　計　画	第　7　回　　高齢期の栄養について 【学修内容】　高齢者に対する食事のあり方や食事介助について学ぶ。 【事前学修】　高齢期の特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期の栄養についてまとめる。（0.5時間） 第　8　回　　福祉調理実習Ⅰ 【学修内容】　高齢期食Ⅰ 【事前学修】　高齢者に喜ばれる食事について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期食Ⅰのレシピノートを作成する。（1時間） 第　9　回　　福祉調理実習Ⅱ 【学修内容】　高齢期食Ⅱ 【事前学修】　高齢者にとって食べやすい食事について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　高齢期食Ⅱのレシピノートを作成する。（1時間） 第10　回　　福祉調理実習Ⅲ 【学修内容】　介護食への展開（和風） 【事前学修】　嚥下機能について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　和風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第 11 回　　福祉調理実習Ⅳ 【学修内容】　介護食への展開（洋風） 【事前学修】　介護食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　洋風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第12　回　　福祉調理実習Ⅴ 【学修内容】　介護食への展開（中華風） 【事前学修】　とろみ調整剤について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　中華風介護食のレシピノートを作成する。（1時間） 第13　回　　行事食実習Ⅰ 【学修内容】　お祝い料理Ⅰ 【事前学修】　お祝い料理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お祝い料理Ⅰのレシピノートを作成する。（1時間） 第14　回　　行事食実習Ⅱ 【学修内容】　お祝い料理Ⅱ 【事前学修】　行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　お祝い料理Ⅱのレシピノートを作成する。（1時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　小児期・高齢期の「食」のあり方について。 【事前学修】　今までの授業資料に目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　今までの授業で学んだ内容についてまとめる。（1時間）
評　価　方　法	筆記試験（50%）、提出物（30%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。 ＊配付資料を用いる。
参　考　書 参 考 資 料 等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） ＊授業中に適宜資料を配付する
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
臨床栄養学	講義	2	選択	必修	必修	2年・前期	川　村　智香子
科目コード　SgAAA20405							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養食事療法は全ての治療の基盤となり、その効果に影響を与える。栄養食事療法を担う栄養士として的確に対応できる力を身につけるため、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。
授業の目的・概要	・日常の栄養摂取（過剰、偏食、欠乏、代謝異常）や生活状況によって、疾病を呼び起こしたり改善することを理解すること。健康な状態と比較しながら、分析ができること。 ・疾病別知識をしっかり学ぶことにより、食事療法の意識や方法・効果について修得し、栄養士として治療の一環の担い手になること。 ・栄養士としての指導、栄養士としての治療食の基本方針を組み立て、摂取、構成、食生活改善、成果効果評価等の分析ができるように学修すること。 面接指導における心理的要因等も理解すること。 ・常に栄養学の最新成果を取り入れ、積極的な学修をすること。
到達目標	①　病態における摂取した栄養素の働き、身体でどのような変化がみられるか、アセスメントすることができる。 ②　臨床的症例を通して、栄養面において分析・説明ができる。 ③　主な疾病の食事療法について臨床的に症例を通して改善する方法を理解できる。
授業の進め方	テキストを基本とし、パワーポイントによる補足、症例提示・検討を行う。また、補足資料を配付し授業を進めていく。
	第　1　回　臨床栄養学の意義と目的 【学修内容】　医療と臨床栄養について理解する。 【事前学修】　教科書（総論）１章栄養ケアの基礎について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　2　回　栄養ケアプロセス（スクリーニング、アセスメント） 【学修内容】　栄養アセスメントの内容について理解する。 【事前学修】　教科書（総論）２章栄養アセスメントの方法を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　3　回　栄養療法（経口栄養、経腸栄養、静脈栄養）について 【学修内容】　栄養ケアプランの実施について理解する。 【事前学修】　教科書（総論）３章栄養ケアプランの作成を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　4　回　肥満・るい痩、高尿酸血症の栄養管理 【学修内容】　代謝・内分泌疾患について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）１章肥満症の頁を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　5　回　脂質異常症、動脈硬化症の栄養管理 【学修内容】　代謝・内分泌疾患について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）脂質異常症の頁を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第　6　回　糖尿病の栄養管理 【学修内容】　代謝・内分泌疾患について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）糖尿病の頁を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　症例を中心に復習。（２時間）

授　業　計　画	第 7 回　胃・腸疾患の栄養管理 【学修内容】　消化器疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）２章潰瘍性大腸炎の頁を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第 8 回　肝疾患、膵疾患の栄養管理 【学修内容】　消化器疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）２章肝硬変を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第 9 回　高血圧・循環器疾患の栄養管理 【学修内容】　循環器疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）高血圧を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　症例を含め授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第10 回　腎疾患の栄養管理 【学修内容】　腎疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）４章慢性腎臓病を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第 11 回　血液疾患の栄養管理 【学修内容】　血液疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）６章鉄欠乏性貧血を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第12 回　免疫疾患・アレルギーの栄養管理 【学修内容】　免疫疾患の栄養管理について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）８章食物アレルギーを中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第13 回　摂食障害関連疾患の栄養管理 【学修内容】　心因性や認知症などによる摂食障害について理解する。 【事前学修】　教科書（各論）９章心因性の摂食障害を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第14 回　傷病者への栄養教育 【学修内容】　症候への栄養ケアについて理解する。 【事前学修】　教科書（総論）４章褥瘡を中心に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を復習。（２時間） 第15 回　終末期の栄養ケア 【学修内容】　終末期の栄養ケアについて理解する。 【事前学修】　教科書（総論）終末期の栄養ケアについて目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　症例を中心に授業で学んだ内容を復習。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、課題（10%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教　科　書	臨床栄養学Ⅰ総論（中山書店） 臨床栄養学Ⅱ各論（中山書店）
参　考　書 参考資料等	2020年度版日本人の食事摂取基準 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編、文光堂） 糖尿病性腎症の食品交換表（日本糖尿病学会編、文光堂） 腎臓病食品交換表（医歯薬出版）
備　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
臨床栄養学実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	嶋　田　祐　子
科目コード　SgAAC20406							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	臨床栄養学の知識を基に、疾病の予防や治療の一環である食事療法について、目的や適応症、食事療法の考え方を理解し、病態及び身体状況に合わせた献立作成と調理実習を行う。 学生献立実習では、栄養士役となる学生が、自身の作成した献立について調理指導を行い、調理実習、献立の評価・検討、検食を行うことで、栄養士として必要な臨床調理の基礎を学ぶ。
到達目標	①　食事療法の基本が理解できる。 ②　病態及び身体状況に合わせた献立を作成することができる。 ③　効率よく衛生的に調理ができる。
授業の進め方	講義：教科書及び配付プリントを基にした講義の後、献立作成等を行う。 実習：教員によるデモンストレーションの後、班に分かれて実習を行う。 実習後教員より評価、検食、後片付け、掃除、点検がある。 また、学生献立実習では、献立作成学生主導の下、実習が行われる。

第　1　回　オリエンテーション、病院食（講義）
【学修内容】　授業概要とガイダンス、献立作成方法や臨床栄養管理、病院給食の特徴、一般食について理解する。
【事前学修】　教科書（実践臨床栄養学実習）P1～25を読み、予習をしておく。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（１時間）

第　2　回　病院食、特別食（講義）
【学修内容】　特別食の栄養成分管理、EC食、PC食、FC食の疾患の特徴及び栄養基準、食事療法について理解する。
【事前学修】　教科書P26～85を読み、予習をしておく。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、理解できなかった内容は次回質問する。（１時間）

第　3　回　一般食（実習）
【学修内容】　常食・軟菜食の調理実習を行い、柔らかさ・分量の違いを理解する。
【事前学修】　教科書P20～25を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間）

第　4　回　塩分・エネルギーコントロール食（実習）
【学修内容】　減塩食品、エネルギー調整食品を使用した調理実習を行い、塩分・エネルギーコントロール食の食事療法を理解する。
【事前学修】　教科書P49～54を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間）

第　5　回　脂質コントロール食（実習）
【学修内容】　低脂質食品を使用した調理実習を行い、脂質コントロール食の食事療法を理解する。
【事前学修】　教科書P73～85を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間）

第　6　回　たんぱく質コントロール食（実習）
【学修内容】　たんぱく質調整食品・減塩食品を使用した調理実習を行い、たんぱく質コントロール食の食事療法を理解する。
【事前学修】　教科書P56～67を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（１時間）

授　業　計　画	第 7 回　エネルギーコントロール食（実習） 【学修内容】　エネルギー調整食品を使用した調理実習を行い、エネルギーコントロール食の食事療法を理解する。 【事前学修】　教科書P30～48を読み、予習をしておく。調理実習に必要な持ち物を確認する。（0.5時間） 【事後学修】　配布資料と教科書内容を復習し、調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限内に提出する。（1時間） 第 8 回　エネルギーコントロール食、糖尿病食品交換表を使用しての糖尿病食（講義） 【学修内容】　エネルギーコントロール食の献立作成に必要な食事基準などや糖尿病食品交換表の使い方を学ぶ。 【事前学修】　糖尿病食品交換表に目を通し、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　糖尿病食品交換表の内容を復習し、糖尿病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（1時間） 第 9 回　展開（常食からエネルギーコントロール食に）、糖尿病食品交換表を使用しての糖尿病食献立作成（講義） 【学修内容】　常食から糖尿病食への展開方法を学び、糖尿病食品交換表を使用した糖尿病食献立を実際に作成する。 【事前学修】　糖尿病食品交換表の内容を復習し、糖尿病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　糖尿病食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 10 回　たんぱく質コントロール食、腎臓病食食品交換表を使用しての腎臓病食（講義） 【学修内容】　たんぱく質コントロール食の献立作成に必要な食事基準などや腎臓病食品交換表の使い方を学ぶ。 【事前学修】　腎臓病食品交換表に目を通し、予習をしておく。（0.5時間） 【事後学修】　腎臓病食品交換表の内容を復習し、腎臓病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（1時間） 第 11 回　展開（常食からたんぱく質コントロール食に）、腎臓病食品交換表を使用しての腎臓病食の献立作成（講義） 【学修内容】　常食から腎臓病食への展開方法を学ぶ。また腎臓病食品交換表の使用した腎臓病食献立を実際に作成する。 【事前学修】　腎臓病食品交換表の内容を復習し、腎臓病食献立を作成するため必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　腎臓病食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 12 回　脂質コントロール食の献立作成（講義） 【学修内容】　脂質コントロール食の食事基準に沿って、実際に献立を作成する。 【事前学修】　教科書P73～85を読み、予習をしておく。献立を作成するために必要な料理本などの参考資料の準備を行う。（0.5時間） 【事後学修】　脂質コントロール食の献立を作成し完成させる。提出期日までに提出する。（1時間） 第 13 回　学生が作成した糖尿病食（1日）の実習 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で糖尿病食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自の作成した糖尿病食献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 14 回　学生が作成した腎臓病食（1日）の実習 【学修内容】　選出された学生は献立を説明するなどの栄養士の役割を学び、他の学生は指導の下、実際に調理・検食する事で腎臓病食の献立について理解を深める。 【事前学修】　各自の作成した腎臓病食献立内容を振り返る。（0.5時間） 【事後学修】　実施した学生献立の検食内容について調理実習レポートを作成し完成させる。提出期限までに提出する。（1時間） 第 15 回　展開（粥食から脂質コントロール食に）、臨床栄養学のまとめ 【学修内容】　粥食から脂質コントロール食への展開方法を学ぶ。病態に合わせた栄養についてまとめた内容を理解する。 【事前学修】　事前に配布している資料（臨床栄養学のまとめ）を予習しておく。（0.5時間） 【事後学修】　配布資料（臨床栄養学のまとめ）を熟読し、筆記試験に備える。（1時間）
評　価　方　法	提出物（50%）、筆記試験（50%）　その他、受講態度等を加味し、総合評価とする。
教　科　書	実践臨床栄養学実習- 栄養食事療法と献立の展開（長浜幸子ほか、第一出版） 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会、文光堂） 腎臓病食品交換表（黒川清監修、医歯薬出版）
参　考　書 参 考 資 料 等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
備　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
健康管理概論	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	髙塚珠美
科目コード　ＳｇＡＡＡ20407							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	近年の急速な少子高齢化に伴い、国民の健康問題は複雑かつ多様化している。それにより保健・栄養系分野の専門家への社会的ニーズは当然高まっている。この講義では健康管理の基本的な理論や考え方を学び、科学的な根拠に基づく実践及び評価ができる専門職となれるよう体系的に学ぶ。
到達目標	①　健康の概念、健康増進や疾病予防の考え方やその取り組みについて理解する。 ②　社会や環境と健康との関係を理解するとともに、社会や環境の変化が健康に与える影響を理解する。 ③　保健・医療・福祉・介護システムの概要について理解する。
授業の進め方	PowerPointによる資料を使用して講義を進める。必要時レポートの提出やミニテストなどを実施する。

第　1　回　　オリエンテーション、健康の概念
【学修内容】　オリエンテーション、健康の定義・考え方、健康の成立条件
【事前学修】　教科書第1章「1．健康とは」「2．健康の成立条件」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）
第　2　回　　保健統計　Ⅰ
【学修内容】　健康指標、平均寿命・平均余命
【事前学修】　教科書第1章「3.健康の判定」第2章「1.人口の高齢化」「2.平均寿命・平均余命」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）
第　3　回　　保健統計　Ⅱ
【学修内容】　出生・婚姻・離婚の状況、死亡率の動向
【事前学修】　教科書第2章「3.出生・婚姻・離婚の状況」「4.死亡の状況」「5.健康状態と受療状況」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）
第　4　回　　保健統計　Ⅲ
【学修内容】　外因死、妊産婦・乳児死亡率
【事前学修】　教科書第2章「4.死亡の状況」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）
第　5　回　　生活習慣と健康　Ⅰ
【学修内容】　喫煙、アルコール、食事の健康への影響
【事前学修】　教科書第4章「1.健康阻害要因としての生活習慣」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）
第　6　回　　生活習慣と健康　Ⅱ
【学修内容】　睡眠、ストレス等の健康への影響
【事前学修】　教科書第4章「1.健康阻害要因としての生活習慣」に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　主要疾患の疫学と対策 Ⅰ 【学修内容】　悪性新生物 【事前学修】　教科書第4章「3.生活習慣病の予防：がんの予防」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 8 回　主要疾患の疫学と対策 Ⅱ 【学修内容】　循環器疾患 【事前学修】　教科書第4章「3.生活習慣病の予防：循環器疾患の予防」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 9 回　主要疾患の疫学と対策 Ⅲ 【学修内容】　脳血管疾患、糖尿病、骨粗鬆症、歯科疾患 【事前学修】　教科書第4章「3.生活習慣病の予防：糖尿病の予防、メタボ」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 10 回　健康状態と受療状況 【学修内容】　国民健康状態、健康意識と健康不安、受療率の動向 【事前学修】　教科書第2章「5.健康状態と受療状況」「6.国民栄養の現状」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 11 回　健康増進対策　Ⅰ 【学修内容】　健康増進の三原則（食事摂取基準、運動、栄養） 【事前学修】　教科書第3章「1.健康増進とは」「2.健康増進の三原則」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 12 回　健康増進対策　Ⅱ 【学修内容】　国民健康づくり対策（食育基本法、健康づくり行政、課題）健康づくり対策の法的対応 【事前学修】　教科書第3章「3.国民健康づくり対策」「健康づくり対策の法的対応」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 13 回　健康管理の進め方　Ⅰ 【学修内容】　健康管理の方法と健康教育 【事前学修】　教科書第5章「1.健康管理の考え方」「2.健康管理の方法」「3.健康教育」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 14 回　健康管理の進め方　Ⅱ 【学修内容】　ライフステージからみた健康管理 【事前学修】　教科書第5章「4.健康相談」「5.健康診査・スクリーニング」「6.健康管理の実際」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　復習ノートプリントを見直す。講義のノートを整理しておく。（2時間） 第 15 回　研究法　これまでのまとめ 【学修内容】　栄養士が得た情報をどのように活かすか　これまでのまとめ 【事前学修】　教科書第6章「5.健康情報・情報収集の方法」「6.情報管理」に目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　これまでの復習ノートプリントを見直す。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（70%）提出課題等、平常点（30%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	保健・栄養系学生のための健康管理概論（宮城重二著、光生館）
参　考　書 参考資料等	国民衛生の動向　公衆衛生学　厚生労働省HP資料など最新の統計資料を参考に学習する。
備　　考	教科書持参のこと。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導論Ⅰ	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	井　塚　ふみ子
科目コード　SgAAA10501							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し単位を修得しなければ、栄養指導論Ⅱは受講できない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	食の専門家としての正しい知識を修得し、それを指導に用いる手段を学ぶ。 対象となる個人及び集団の問題点を発見し、改善に向けて指導し得る基礎知識を学ぶ。 まずは自身の生活習慣・食習慣を振り返り、日頃の健康管理を行えるようになることから、食に対する意識の向上・総合的な学修意欲の向上を促す。
到達目標	①　栄養指導に必要な基礎知識を理解し、日常生活で実践できる。 ②　食事の重要性を知り、運動・睡眠等の関わりを理解するとともに、自己の食生活の在り方が観察できる。 ③　栄養士活動の現状を把握できる。
授業の進め方	教科書及び配付するプリントを基本とした講義により授業を進める。 演習や小テストを実施し、授業の振り返りを行う。

第　1　回　オリエンテーション
【学修内容】　栄養指導論Ⅰについての解説をする。　（レポート提出）
【事前学修】　シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（2時間）
【事後学修】　栄養指導論を学ぶ意義を理解する。（2時間）

第　2　回　栄養指導の概念と歴史
【学修内容】　栄養指導の意義と目的および目標を理解する。　栄養指導における栄養士・管理栄養士の役割を理解する。
【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　栄養指導の概念、歴史について再確認する。　身体計測から栄養状態を把握する方法を再確認する。（2時間）

第　3　回　栄養指導と関係法規
【学修内容】　栄養士法と栄養士制度を理解する。　栄養指導に関係する法律を理解する。
【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　栄養指導と関係法規を再確認する。　推定エネルギー必要量の算定を再確認する。（2時間）

第　4　回　食生活・栄養に関する諸調査
【学修内容】　食事調査方法と種類、活用場面に応じた適切な方法の選択、国民健康・栄養調査についてを理解する。
【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　食生活・栄養に関する諸調査を再確認する。　3日分の食事記録を完成させる。（2時間）

第　5　回　栄養指導・教育(相談)の方法と技術
【学修内容】　栄養教育プログラムの流れを確実に理解する。　情報伝達の演習で技術を身につける。
【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　栄養指導・教育（相談）の方法と技術を再確認する。2時間）

第　6　回　栄養指導の実際
【学修内容】　目的や対象者にあわせて指導方法を選択する。コミュニケーションの理論と技術、カウンセリングを理解する。
【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　栄養指導の実際について再確認する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　食生活と栄養指導① 【学修内容】　第2回～6回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間） 第 8 回　栄養指導に必要な基礎知識 【学修内容】　日本人の食事摂取基準の概念と活用を理解する。　指針、食育推進や健康増進の取り組みを理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　栄養指導に必要な基礎知識を再確認する。(2時間) 第 9 回　栄養指導と情報の収集・処理 【学修内容】　情報を評価・識別する能力を養うことの必要性を理解する。　SOAPを用いて栄養ケアプロセスを記録する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　栄養指導と情報の収集・処理を再理解する。（2時間） 第 10 回　給食における栄養指導（病院給食） 【学修内容】　病院給食施設における栄養管理をされた給食を活用した、栄養指導の内容と方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　病院給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 11 回　給食における栄養指導（学校給食） 【学修内容】　学校給食施設における給食目的に対応した栄養指導の特性を探る。　ジュニアアスリートへの教育を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　学校給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 12 回　給食における栄養指導（事業所給食） 【学修内容】　事業所給食における、喫食者のさまざまな特性に応じた栄養指導の内容や方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　事業所給食における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 13 回　給食における栄養指導（児童・社会福祉施設） 【学修内容】　児童・社会福祉施設における給食目的に対応した栄養指導の特性を探り、内容や方法を理解する。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　児童・社会福祉施設における栄養指導を再確認する。（2時間） 第 14 回　食事記録から実践アドバイス演習 【学修内容】　食事記録を評価し、アドバイスをするまでの流れを理解する。　小テスト・定期テストの試験対策をする。 【事前学修】　今までの授業内容を振り返る。（2時間） 【事後学修】　実践アドバイスの流れを再確認する。　目安量記録法を用いた、食事記録票を完成させる。（2時間） 第 15 回　食生活と栄養指導② 【学修内容】　第8回～14回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。　定期試験に向けて復習する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、小テスト・提出物・平素の受講態度（10%）等を加味する。
教　　科　　書	エスカベーシック栄養指導論　第二版（古畑　公・田中弘之編著、同文書院）
参　考　書 参 考 資 料 等	日本人の食事摂取基準（2020年版） 管理栄養士栄養士必携（第一出版） 必要な時は適宜資料を配付する。
備　　考	提出物の期限厳守。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導論Ⅱ	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	井　塚　ふみ子
科目コード　SgAAA10502							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養指導Ⅰを履修し、単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	栄養士の業務内容は、栄養士の名称を用いて「栄養の指導を業とする者」となっており、栄養指導は最も基礎となるものである。 ① 栄養教育の理論と技術を学び、科学的根拠を持って食生活をマネジメントする手段を知る。 ② ライフステージに合わせた栄養を学び、ライフステージ別の栄養指導に求められる基礎知識の構築・実践につなげる要点を学ぶ。 ③ 病態別の栄養を学び、食事療法の正しい知識を身に付ける。
到達目標	① 地域社会の健康目標に役立つ栄養士となるよう、能力の向上に努める。 ② 人に優しく、健全な食生活を導くための広い視野と多くの知識を養う。
授業の進め方	① 教科書及び配付するプリントから栄養指導のアセスメント、マネジメント等を学ぶ。 ② パワーポイント、食品カード等の媒体を使用した栄養指導の実際を知る。 ③ ライフステージ別・病態別の栄養指導のポイントを学ぶ。 ④ 確認テストや小テストを実施し、授業の振り返りを行う。

第 1 回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養指導Ⅱを解説をする。　健康食品について、コミュニケーションの取り方について学ぶ。
【事前学修】	シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（2時間）
【事後学修】	健康食品、栄養指導時の留意点など再確認する。（2時間）
第 2 回	ライフステージ別栄養指導：妊娠期・授乳期
【学修内容】	妊娠期・授乳期の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	妊娠期・授乳期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 3 回	ライフステージ別栄養指導：乳幼児期・学童期・思春期
【学修内容】	各々の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。（確認テスト）
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	乳幼児期・学童期・思春期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 4 回	ライフステージ別栄養指導：成人期・高齢期
【学修内容】	成人期・高齢期の特徴を理解し、問題点を提起して、栄養マネジメントができるように努める。(確認テスト)
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	成人期・高齢期の栄養指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 5 回	特定健診・特定保健指導
【学修内容】	標準的な特定健診・特定保健指導プログラムを理解する。減量のプランニングシートを作成する。(確認テスト)
【事前学修】	教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間）
【事後学修】	特定健診・特定保健指導について再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間）
第 6 回	食生活と栄養指導③
【学修内容】	第1回～5回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。
【事前学修】	出題範囲を復習する。（2時間）
【事後学修】	模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　臨床栄養指導：糖尿病 【学修内容】　糖尿病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。　糖尿病食事療法のための食品交換表を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　糖尿病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 8 回　臨床栄養指導：高血圧 【学修内容】　高血圧の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。（2時間） 【事後学修】　高血圧の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 9 回　臨床栄養指導：慢性腎臓病（CKD） 【学修内容】　慢性腎臓病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。(2時間） 【事後学修】　慢性腎臓病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 10 回　食生活と栄養指導④ 【学修内容】　第7回～9回の授業範囲で小テストをする。　試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。（2時間） 第 11 回　臨床栄養指導：肝臓病 【学修内容】　肝臓病の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。(2時間） 【事後学修】　肝臓病の栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 12 回　臨床栄養指導：脂質異常症・肥満症 【学修内容】　各々の治療や合併症を予防するためなど、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。(2時間） 【事後学修】　脂質異常症・肥満症の栄養指導を再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。（2時間） 第 13 回　臨床栄養指導：ガン 【学修内容】　ガンの治療や合併症など、食事療法が必要な患者の栄養指導を理解する。　（確認テスト） 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。(2時間） 【事後学修】　ガンの栄養指導について、再確認する。　確認テストの模範解答を理解する。(2時間） 第 14 回　臨床栄養指導：食物アレルギー 【学修内容】　食物アレルギーの食事療法と栄養指導を理解する。（確認テスト）小テスト・定期テストの試験対策をする。 【事前学修】　教科書の該当箇所を読んでおく。(2時間） 【事後学修】　食物アレルギーの食事療法と栄養指導方法について、再確認する。確認テストの模範解答を理解する。(2時間） 第 15 回　食生活と栄養指導⑤ 【学修内容】　第11回～14回の授業範囲で小テストをする。試験後、模範解答を示し、授業時間内にフィードバックをする。 【事前学修】　出題範囲を復習する。（2時間） 【事後学修】　模範解答を再確認し、理解を深める。定期試験に向けて復習する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、小テスト・提出物・平素の受講態度（10%）等を加味する。
教　　科　　書	エスカベーシック栄養指導論　第二版（古畑　公・田中弘之編著、同文書院）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編・著、文光堂） 日本人の食事摂取基準(2020年版） 管理栄養士栄養士必携（第一出版） 必要な時は適宜資料を配付する。
備　　考	提出物の期限厳守。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養指導実習	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	井　塚　ふみ子
科目コード　ＳｇＡＡＣ20503							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士の業務内容は、栄養士の名称を用いて「栄養の指導を業とする者」となっている。一年次の栄養指導論で学んだ知識について実習を行う。栄養計算ソフト演習等や選択したテーマに沿って実践的に栄養指導技術を修得することを目的とする。実際の栄養指導場面で活用できるような指導とするため、各自が作成した栄養指導案に沿い15分間の指導を効率よく体験してもらう。また、各自が指導を行う上で使用する媒体の作成も重要な意味合いを持つ。
到達目標	①　栄養指導を行うための基礎的技術を修得できる。 ②　栄養指導媒体の作成方法がわかる。
授業の進め方	講義及び演習により授業を進める。

第　1　回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養指導実習の解説をする。1分間スピーチの組み立てと話し方などを理解し、発表する。
【事前学修】	シラバスを読み、授業内容を把握しておく。（0.5時間）
【事後学修】	本日の授業内容の再確認をする。　（1時間）
第　2　回	パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅰ：基本操作①
【学修内容】	パソコンソフトの基本的な操作を理解する。【食品入力の演習、献立入力の演習ほか】
【事前学修】	情報処理の授業内容を復習する。（0.5時間）
【事後学修】	パソコンソフトの基本的な操作を再確認する。(1時間)
第　3　回	パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅱ：基本操作②
【学修内容】	パソコンソフトの基本的な操作を理解する。【材料、分量の変更方法、栄養価計算の演習　食事調査ほか】
【事前学修】	パソコンソフトの基本的な操作①を再確認する。(0.5時間)
【事後学修】	パソコンソフトの基本的な操作②を再確認する。　食事調査表を完成させる。(1時間)
第　4　回	パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅲ：食事調査の栄養計算
【学修内容】	食事調査の栄養計算と栄養評価の出し方を理解する。(食事摂取基準、栄養素比率、食事バランスガイドなど)
【事前学修】	栄養評価について、再確認する。（0.5時間）
【事後学修】	改善献立内容について調べてくる。(1時間)
第　5　回	パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅳ：栄養指導のための献立作成①
【学修内容】	改善献立と栄養評価結果票の作成をする。　自己評価と今後の目標を立てる。
【事前学修】	栄養評価について、再確認する。（0.5時間）
【事後学修】	改善献立の作成と評価を再確認する。（1時間）
第　6　回	パソコンソフトを使用した栄養計算Ⅴ：栄養指導のための献立作成②
【学修内容】	改善献立と栄養評価結果票の作成をする。　自己評価と今後の目標を立てる。　課題を提出する。
【事前学修】	献立表、評価票を作成する（0.5時間）
【事後学修】	前半の授業で理解した内容を復習しておく。（1時間）

授　業　計　画	第　7　回　　栄養指導の指導計画案作成・媒体準備 【学修内容】　発表する栄養指導実習の解説をする。【指導計画案の作り方　効果的なプレゼンテーションほか】 【事前学修】　栄養指導テーマと媒体の種類を決めておく。（0.5時間） 【事後学修】　指導計画案の作成をする。　媒体の教材集めと構成を決める。（1時間） 第　8　回　　栄養指導の指導計画案作成・媒体準備 【学修内容】　指導計画案の作成と提出をする。　媒体作成をする。 【事前学修】　指導計画案の提出準備をする。媒体作成をする。（0.5時間） 【事後学修】　媒体作成をする。（1時間） 第　9　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅰ＜個人別＞ 【学修内容】　媒体の作成をする。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。(0.5時間） 【事後学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。(1時間） 第10　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅱ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【 10分以上15分以内】質疑応答　他の生徒は評価票を提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第11　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅲ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【 10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票を提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第 12 回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅳ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【 10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第13　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅴ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【 10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表準備をする。発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第14　回　　指導媒体を使用して栄養指導実施Ⅵ＜個人別＞ 【学修内容】　指導計画案の説明と発表をする。【 10分以上15分以内】　質疑応答　他の生徒は評価票の提出する。 【事前学修】　指導媒体の作成と発表の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　発表後の自己評価をまとめる。（1時間） 第15　回　　病院の栄養指導の実際について（心得など） 【学修内容】　病院栄養指導の心得や指導の流れを理解する。　糖尿病患者の食事記録からの栄養指導演習をする。 【事前学修】　糖尿病の栄養指導について復習してくる。（0.5時間） 【事後学修】　指導ポイントの課題作成をする。今日の授業の復習をする。（1時間）
評　価　方　法	栄養指導内容（30%）、指導媒体（30%）、提出物（30%）、平常点（10%）平素の授業態度等を加味する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	Excelアドイン「栄養プラス」(建帛社） 糖尿病食事療法のための食品交換表（日本糖尿病学会編・著　文光堂） 必要な時は適宜資料を配付する。
備　　考	提出物の期限厳守。クラスメートの発表を真剣に聞くこと。やむを得ない事情が無い限り、欠席しないこと。 実務経験のある教員：北海道内の病院における栄養指導に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
公衆栄養学	講義	2	選択	必修	必修	2年・後期	中　村　佳　苗
科目コード　SgAAA20504							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	将来、栄養士として給食施設等における栄養に関する業務はもとより、公衆衛生全般に活かすことを念頭に置いて積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	公衆栄養学は、地域住民の健康の保持・増進やQOLの向上を目的としている。そのために、集団の健康・栄養に関する問題を把握し、集団及び個人ごとの適切な公衆栄養プログラムをマネジメントする概念と理論を理解し、あわせて日本及び諸外国の健康・栄養・食料問題の現状と課題を学び、公衆栄養活動を展開、実践するための知識と能力を持つことを目標とする。
到達目標	①　公衆栄養活動の実際を全般的に展開・実践できる知識と能力を修得する。 ②　日本及び世界の健康・食料・栄養問題の現状と課題を学ぶ。
授業の進め方	教科書に基づく講義を中心に、必要に応じ、参考資料等を配付する。

第　1　回　　公衆栄養の概念１（公衆栄養の概念、公衆栄養活動の歴史 ）
【学修内容】 公衆栄養の概念と歴史について理解する。
【事前学修】 教科書第１章に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　2　回　　健康・栄養問題の現状と課題１
【学修内容】 現状の健康問題と栄養問題を理解する。
【事前学修】 教科書第２章の健康問題と栄養問題に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　3　回　　健康・栄養問題の現状と課題２（食事の変化、食生活の変化）
【学修内容】 食生活の変化や食料需給表について理解する。
【事前学修】 教科書第２章の食生活の変化や食料需給表に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　4　回　　栄養政策１（公衆栄養関連法規）
【学修内容】 公衆栄養関連法規を理解する。
【事前学修】 教科書第３章の関連法規に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　5　回　　栄養政策２（栄養士制度と国の健康栄養政策）
【学修内容】 栄養士制度と国の健康栄養政策を理解する。
【事前学修】 教科書第３章の栄養士制度、健康日本２１と食育基本法に目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
第　6　回　　栄養政策３（国民健康・栄養調査）
【学修内容】 国民健康・栄養調査や食事バランスガイドについて理解する。
【事前学修】 教科書第３章の国民健康・栄養調査や食事バランスガイドに目を通しておく。（２時間）
【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）

授　業　計　画	第　７　回　　栄養疫学１（疫学の種類） 【学修内容】 疫学の種類と食事摂取量について理解する。 【事前学修】 教科書第４章の栄養疫学と食事摂取量に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　８　回　　栄養疫学２（食事摂取量の測定方法） 【学修内容】 食事摂取量の測定方法について理解しておく。 【事前学修】 教科書第４章の食事摂取量の測定方法について目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第　９　回　　地域診断と公衆栄養マネジメント１ 【学修内容】 公衆栄養マネジメントと公衆栄養アセスメントについて理解する。 【事前学修】 教科書第５章の公衆栄養マネジメントと公衆栄養アセスメントに目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第10　回　　地域診断と公衆栄養マネジメント２ 【学修内容】 公衆栄養プログラムの目標設定について理解する。 【事前学修】 教科書第５章の公衆栄養プログラムの目標設定に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第11　回　　地域診断と公衆栄養マネジメント３ 【学修内容】 公衆栄養プログラムの評価について理解する。 【事前学修】 教科書第５章公衆栄養プログラムの評価に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第12　回　　公衆栄養プログラムの展開１ 【学修内容】 公衆栄養プログラムの展開について理解する。 【事前学修】 教科書第６章の地域特性に対応した公衆栄養プログラム展開に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第13　回　　公衆栄養プログラムの展開２ 【学修内容】 特別用途表示食品と機能性表示食品について理解する。 【事前学修】 教科書第６章の特別用途表示と機能性表示に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第14　回　　諸外国の健康・栄養状況 【学修内容】 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題について理解する。 【事前学修】 教科書第７章に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】 公衆栄養学全般について復習を行う。 【事前学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間） 【事後学修】 授業で学んだ内容の資料と小テストを復習する。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）、そのほか小テストや平素の授業態度等を加味する（10%）。
教　　科　　書	公衆栄養学（古畑公・松村康弘・鈴木三枝編者、光生館）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	必要に応じ、資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	上　坂　真智子
科目コード　SgAAA10601							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	栄養士の基本となる献立作成などの業務を行う上で必要となる調理学の知識。このことを念頭に積極的に受講する。
授業の目的・概要	食品の特徴や調理に関する知識があることで献立作成がしやすくなり、喫食者が喜ぶおいしい給食につながる。また調理学の知識は栄養指導の時などに簡単な調理法などを伝えることができ、患者や利用者、対象者などが健康を保つ食事や治療食が作りやすくなる。調理学を学ぶことで栄養士として大きな力になることを目的とする。
到達目標	心身が健やかになるおいしい給食を提供できる栄養士を目指す。 ①　調理の意義、目的を理解する。 ②　食品の味、おいしさについて理解する。 ③　食品の特徴、調理器具、食べる環境について理解する。 ④　食材の特徴を生かした調理法について理解する。
授業の進め方	教科書と配付資料により授業を進める。

第1回	オリエンテーション、調理の概要
【学修内容】	調理とは何か、調理と歴史、食生活の変化と調理について学ぶ。
【事前学修】	調理の歴史などを調べておく。（2時間）▪
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第2回	調理と嗜好性
【学修内容】	おししさとは何か、五感による嗜好性について学ぶ。
【事前学修】	教科書第1章「調理と嗜好性」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第3回	調理操作
【学修内容】	調味操作、非加熱調理操作、加熱調理操作について学ぶ。
【事前学修】	教科書第2章「調理操作」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第4回	植物性食品の調理性（米、小麦の調理）
【学修内容】	米の種類と調理、小麦の種類と調理について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「米の調理」「小麦の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第5回	植物性食品の調理性（いも類、豆類の調理）
【学修内容】	いもの種類と調理、豆の種類と調理について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「いも類の調理」「豆類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
第6回	植物性食品の調理性（野菜類、果実類の調理）
【学修内容】	野菜の種類と調理・褐変・栄養素と調理、果実の種類と調理・嗜好特性について学ぶ。
【事前学修】	教科書第3章「野菜類の調理」「果実類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）

授　業　計　画	第7回　植物性食品の調理性（種実類、きのこ類、海藻類、山菜類の調理） 【学修内容】　種実類の種類と調理、きのこ類と海藻類の種類と調理、山菜類について学ぶ。 【事前学修】　教科書第3章「種実類の調理」「きのこ類の調理」「海藻類の調理」「山菜類」を読んで予習する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第８回　動物性食品の調理性（食肉の調理） 【学修内容】　たんぱく質の調理上の性質、食肉の調理性、種類別の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「たんぱく質の調理上の性質」「食肉類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第９回　動物性食品の調理性（魚介類の調理） 【学修内容】　魚介類の種類と特徴、魚肉の特性、魚の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「魚介類の調理」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第10回　動物性食品の調理性（鶏卵、牛乳・乳製品の調理、その他） 【学修内容】　卵の構造・鮮度・調理性、牛乳と乳製品の調理、食物アレルゲンについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章「鶏卵の調理」「牛乳・乳製品の調理」「その他」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第11回　成分抽出素材の調理性 【学修内容】　でんぷんの特性と調理、ゲル化剤（ゼラチン、寒天など）、油脂類、新食材の調理について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章「成分抽出素材の調理性」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第12回　嗜好飲料 【学修内容】　茶やコーヒーなどの非アルコール飲料、アルコール飲料について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章「嗜好飲料」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第13回　エネルギー源および調理器具 【学修内容】　調理に関わる調理機器、調理器具、食器類について学ぶ。 【事前学修】　教科書第7章「エネルギー源および調理器具」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第14回　食事設計と食事様式 【学修内容】　食事設計の内容、献立作成のポイント、食事様式、食事環境について学ぶ。 【事前学修】　教科書第8章「食事設計と食事様式」を読んで予習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間） 第15回　大量調理 【学修内容】　大量調理の特性、衛生管理、クックチルなど集団給食の調理方式について学ぶ。 【事前学修】　教科書第9章「大量調理」を読んで予習をしておく。（2時間）▪ 【事後学修】　授業で学んだことを配付資料などで復習し、まとめる。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（90%）平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参　考　書 参 考 資 料 等	調理のためのベーシックデータ第6版（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部）
備　　考	

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学実習Ⅰ	実習	1	選択	必修	必修	1年・前期	田中 ゆかり 遠田 悦子
科目コード　SgAAC10602							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し、単位を修得しなければ、調理学実習Ⅱは受講できない。
授業の目的・概要	調理学で学んだ知識を活かし調理を科学的な視点から捉え、その実態を理解するとともに、食材の選択、扱い方、調味、盛付けについて総合して学修する。 調理操作の基本的技術と基礎知識を実習を通して修得させることを目的とする。
到達目標	①　健康の維持・増進を目的とした栄養、調理の基礎を学び知識・技術を身に付ける。 ②　食の安心・安全を前提とした衛生的な調理ができる。 ③　食品の重量、特徴及び調理における変化を実践を通して理解する。
授業の進め方	はじめに教員より、実習内容のデモンストレーションがあり、その後、各自班に分かれて実習を行う。実習後に教員より評価を行い、検食、後片付け、掃除、点検がある。
	第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　調理学実習の目的と意義、調理学実習の心得 【事前学修】　食材や調理に関する情報を考察する。(0.5時間) 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（0.5時間） 第 2 回　調理の基本操作Ⅰ 【学修内容】　計量・計測、基本切りⅠ 【事前学修】　計量・計測の目的を調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 3 回　調理の基本操作Ⅱ 【学修内容】　基本切りⅡ 【事前学修】　野菜の基本的な切り方を調べそれぞれの名称や操作方法を調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 4 回　調理の基本操作Ⅲ 【学修内容】　炊飯の原理と調理、だしのとり方 【事前学修】　炊飯の理論とだしの種類を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 5 回　日本料理の基礎Ⅰ 【学修内容】　塩味飯、吸い物、肉料理、和え物 【事前学修】　汁物の調味パーセントについて計算方法・計測方法を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 6 回　日本料理の基礎Ⅱ 【学修内容】　炊きおこわ、吸い物、魚料理Ⅰ（選び方、扱い方） 【事前学修】　魚の選び方・扱い方・調理方法について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

授　業　計　画	第　7　回　　日本料理の基礎Ⅲ 【学修内容】　醤油味飯、吸い物、和え物 【事前学修】　炊き込みご飯の方法・加える材料について調べてまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第　8　回　　日本料理の基礎Ⅳ 【学修内容】　白飯、魚料理Ⅱ（おろし方）、揚げ物、和菓子Ⅰ 【事前学修】　揚げ物の方法と吸油率について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第　9　回　　日本料理の基礎Ⅴ 【学修内容】　丼物、汁物、和菓子Ⅱ 【事前学修】　和菓子の種類や日本茶の種類について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第10　回　　西洋料理の基礎Ⅰ 【学修内容】　パン料理、サラダ、デザート 【事前学修】　西洋料理の献立や特徴について調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 11 回　　西洋料理の基礎Ⅱ 【学修内容】　肉料理、スープ、冷生菓子 【事前学修】　ひき肉の調理・副材料の役割について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第12　回　　中国料理の基礎Ⅰ 【学修内容】　麺料理、揚げ物、菓子 【事前学修】　中国料理の献立や特徴について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第13　回　　中国料理の基礎Ⅱ 【学修内容】　妙菜、蒸菜、点心 【事前学修】　中国料理の点心や飲茶について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第14　回　　まとめⅠ 【学修内容】　食材の扱い・調理実習のまとめ 【事前学修】　旬の食材や行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第15　回　　まとめⅡ 【学修内容】　諸外国の料理について 【事前学修】　諸外国の食文化・食材などについて調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
評　価　方　法	実技（45%）、提出物・クッキングノート等（45%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理学実習Ⅱ	実習	1	選択	必修	必修	1年・後期	田中 ゆかり 遠田 悦子
科目コード　SgAAC10603							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	調理学実習Ⅰを履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	調理学実習Ⅰで修得した調理操作の基本技術の応用と、日本料理、西洋料理、中国料理、季節の行事食の知識と技術を修得する。 食材の特性や栄養を生かした調理法を学び、効率よく調理するための手順を考え、調理器具の正しい使用法等基本的な調理操作の習熟を図り、給食実習、栄養学実習や臨床栄養学実習等の実習に応用できる調理技術と実践力を身に付ける。
到達目標	①　基本的な調理技術を基に、それぞれの調理、行事食について理解する。 ②　調理学の理論の知識を活かし、実際の調理による変化、現象を理解する。 ③　基本的な献立を効率よく、それぞれの料理が適温で盛り付けも美しく仕上げることができる。
授業の進め方	はじめに教員より実習内容のデモンストレーションがあり、その後、各自班に分かれて実習を行う。 実習後に教員より評価を行い、検食、後片付け、掃除、点検がある。

第 1 回	調理学実習Ⅰの復習
【学修内容】	食材の扱い・基本切り・加熱機器の使い方
【事前学修】	調理学実習Ⅰで学んだ実習についてクッキングノートを見ながら復習する。(0.5時間)
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（0.5時間）
第 2 回	日本料理の基礎Ⅵ
【学修内容】	飯、汁物、和え物
【事前学修】	日本料理の旬の食材の扱いや調理方法について調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。1時間）
第 3 回	西洋料理の基礎Ⅲ
【学修内容】	飯料理、スープ、デザート
【事前学修】	西洋料理献立や調理の特徴などについて調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 4 回	西洋料理の基礎Ⅳ
【学修内容】	麺料理、サラダ、デザート
【事前学修】	小麦粉の調理特性について調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 5 回	西洋料理の基礎Ⅴ
【学修内容】	魚料理、サラダ、デザート
【事前学修】	西洋料理のカトラリーについてまとめる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）
第 6 回	中国料理の基礎Ⅲ
【学修内容】	中国料理の特徴、献立形式
【事前学修】	中国料理の特徴、献立形式について調べる。（0.5時間）
【事後学修】	実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間）

授　業　計　画	第　7　回　　中国料理の基礎Ⅳ 【学修内容】　湯菜、炸菜、冷菜 【事前学修】　中国料理の調味料・香辛料についてどのような料理に使用されているか調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第　8　回　　中国料理の基礎Ⅴ 【学修内容】　湯菜、妙菜、冷菜 【事前学修】　中国料理の調理器具について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第　9　回　　中国料理の基礎Ⅵ 【学修内容】　溜菜、拌菜、点心 【事前学修】　溜菜の特徴と調理の留意点についてまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第10　回　　行事食Ⅰ 【学修内容】　クリスマス料理Ⅰ 【事前学修】　世界のクリスマス料理について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第 11 回　　行事食Ⅰ 【学修内容】　クリスマス料理Ⅱ 【事前学修】　クリスマスのメニューを考え考察する。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第12　回　　行事食Ⅱ 【学修内容】　お正月料理 【事前学修】　お正月料理の地域性や食材の違いなど調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第13　回　　行事食Ⅲ 【学修内容】　お祝い料理 【事前学修】　季節の行事食について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第14　回　　まとめⅠ 【学修内容】　調理技術のまとめ 【事前学修】　授業で学んだ食材や調味料について調べまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容をクッキングノートにまとめる。（1時間） 第15　回　　まとめⅡ 【学修内容】　調理技術のまとめ 【事前学修】　授業で習った食材や料理法を基に旬の食材を使った料理を考える。（0.5時間） 【事後学修】　実習内容を復習しまとめておく。（1時間）
評　価　方　法	実技（45%）、提出物・クッキングノート等（45%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室監修、女子栄養大学出版部） 新食品・栄養科学シリーズ「調理学 第3版」（木戸詔子、池田ひろ編、化学同人）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食経営論	講義	2	選択	必修	必修	1年・前期	布　川　育　子
科目コード　SgAAA10604							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し単位を修得しなければ、給食実習Ⅱを受講できない。 将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭に置きながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養士の専門業務である特定給食施設における給食業務について、計画に必要な基礎知識及び給食運営に必要な基礎知識及び調理現場での管理の実際を学び、望ましい給食やサービスのあり方を修得することを目的とする。 集団給食の概要を理解し、栄養管理、食品管理、衛生管理及び調理管理等の目的と方法を理解し、給食現場における望ましい給食管理のあり方を修得する。また、給食運営の中心的役割を果たす献立作成の方法も学ぶ。
到達目標	特定給食施設における給食管理の基本的知識を理解する。具体的には、 ① 特定給食施設の概要や特徴を理解し、望ましい給食のあり方を理解する。 ② 給食運営上中心的な役割を果たす献立作成に必要な知識を身に付ける。 ③ 大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の内容を理解する。 ④ 給食現場での食品管理、調理管理及び事務管理等について理解する。
授業の進め方	教科書を中心に、授業時に配付する資料等を併用し、授業を進める。

第 1 回	オリエンテーション、給食の概念
【学修内容】	授業概要についての説明、給食の定義と目的、関係法規
【事前学修】	シラバスおよび教科書「給食の運営」第1章を一読する。不明な点、用語について調べる。（1時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（1時間）
第 2 回	栄養管理
【学修内容】	栄養・食事管理の目的と実際
【事前学修】	教科書第２章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 3 回	安全・衛生管理
【学修内容】	安全・衛生管理の目的と実際
【事前学修】	教科書第3章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 4 回	調理管理Ⅰ
【学修内容】	食材管理
【事前学修】	教科書第5章１を一読する。不明な点、用語について調べる。（1時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 5 回	調理管理Ⅱ
【学修内容】	調理作業管理
【事前学修】	教科書第5章２を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
第 6 回	献立作成Ⅰ
【学修内容】	献立作成の基礎
【事前学修】	図書館等で献立作成のための資料を集める。（2時間）
【事後学修】	授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間）

授　業　計　画	第　7　回　　献立作成Ⅱ 【学修内容】　献立作成の実際 【事前学修】　献立課題に取り組む。（3時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間） 第　8　回　　施設・設備管理 【学修内容】　施設・設備管理の目的と実際 【事前学修】　教科書第6章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第　9　回　　事務管理・経営管理 【学修内容】　給食の組織、会計・原価管理、事務管理 【事前学修】　教科書第8章、第9章を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第10　回　　献立作成Ⅲ 【学修内容】　献立の見直し、改善 【事前学修】　図書館等で献立作成のための資料を集める。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（3時間） 第 11 回　　各種の給食管理Ⅰ 【学修内容】　学校給食・自衛隊給食 【事前学修】　教科書第7章１および６を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第12　回　　各種の給食管理Ⅱ 【学修内容】　病院給食 【事前学修】　教科書第7章２を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第13　回　　各種の給食管理Ⅲ 【学修内容】　福祉施設給食 【事前学修】　教科書第7章3および４を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第14　回　　給食の業務委託と配食サービス 【学修内容】　業務委託の種類と栄養士の業務、配食サービスの意義 【事前学修】　教科書第7章５・７および８を一読する。不明な点、用語について調べる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　これまで学んだ内容についてまとめを行う。 【事前学修】　これまでの授業のふりかえりを行う。（1時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

評　価　方　法	筆記試験（60%）、提出物等（30%）、平常点（10%）、平素の受講態度等を加味する。

教　　科　　書	Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか編著、建帛社） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大出版部） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室 監修、女子栄養大出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版）

参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。

備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実務論	講義	2	選択	必修	必修	1年・後期	布　川　育　子
科目コード　SgAAA10605							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	１年生で開講されている給食経営論、給食実習Ⅰ、本科目、及び２年生で開講される給食実習Ⅱを履修し単位を修得しなければ、給食実習Ⅲを受講できない。
授業の目的・概要	集団給食の運営にかかわる、栄養管理、衛生管理、作業管理等について、基本的知識を学び、給食業務に必要な実務を理解する。 また、そのことにより、給食現場における実務を修得し、今後の学内及び学外実習、さらには栄養士業務に活かすことを目的とする。
到達目標	特定給食施設における給食管理の実務について理解する。具体的には、 ① 大量調理の技法・特徴を理解すること。 ② 大量調理施設衛生管理マニュアルに沿った衛生管理を十分理解すること。 ③ 食事摂取基準と食品構成の内容を理解し、給与栄養目標量に基づいた献立作成ができること。
授業の進め方	教科書、実習ノート、配付資料を中心に進める。

第 1 回　オリエンテーション、大量調理の技法と特徴
【学修内容】　授業概要についての説明、大量調理の技法と特徴について
【事前学修】　シラバスおよび教科書「給食運営・経営管理実習のてびき」Ⅱ〈2〉4～10を一読し、不明な点、用語について調べる。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

第 2 回　衛生管理Ⅰ：給食実習での衛生管理
【学修内容】　大量調理における手洗いの重要性、給食実習室での衛生管理の実際について
【事前学修】　手洗いの重要性について調べる。給食実習ノートの該当箇所を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

第 3 回　作業管理：作業工程表・作業動線図について
【学修内容】　作業工程表・作業動線図について、その作成目的と方法、留意点
【事前学修】　作業工程表・作業動線図について調べる。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

第 4 回　衛生管理Ⅱ：大量調理施設衛生管理マニュアル
【学修内容】　大量調理施設衛生管理マニュアルについて
【事前学修】　教科書「給食の運営」巻末の大量調理施設衛生管理マニュアルを一読する。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

第 5 回　栄養教育・調査・食環境：栄養教育媒体、調査、食環境の整備について
【学修内容】　栄養教育媒体の役割、種類、注意点、嗜好調査・残菜調査の方法とまとめ方、食環境の整備について
【事前学修】　栄養教育媒体、アンケート調査、食環境整備について調べる。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

第 6 回　栄養管理Ⅰ：日本人の食事摂取基準について
【学修内容】　日本人の食事摂取基準の概要、活用について
【事前学修】　日本人の食事摂取基準について教科書「献立作成マニュアル」第2章２を一読する。（2時間）
【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　栄養管理Ⅱ：献立作成までの手順、給与栄養目標量の計算 【学修内容】　献立計画の流れ、給与栄養目標量について、給与栄養目標量の求め方 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第2章３を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 8 回　栄養管理Ⅲ：食品群別荷重平均栄養成分について、食品構成について 【学修内容】　食品群別荷重平均栄養成分・食品構成の作成方法について 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第2章4・5を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 9 回　栄養管理Ⅳ：献立作成① 【学修内容】　献立の立案と献立計画について、連続献立の作成について 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第3章１を一読する。献立課題に必要な資料を集める。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 10 回　栄養管理Ⅴ：献立作成② 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 11 回　栄養管理Ⅵ：献立作成③ 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 12 回　栄養管理Ⅶ：献立作成④ 【学修内容】　連続献立の立案 【事前学修】　献立課題に取り組む。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえる。献立課題に取り組む。（2時間） 第 13 回　給食評価　：PDCAサイクルの活用、評価の留意点 【学修内容】　評価の仕方、重要性、留意点について、価格計算 【事前学修】　教科書「献立作成マニュアル」第3章３，第4章を一読する。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 14 回　講義のまとめⅠ 【学修内容】　献立作成が上手になるために、給食実務論のまとめ 【事前学修】　これまでの学修をふりかえる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間） 第 15 回　講義のまとめⅡ 【学修内容】　給食実務論のまとめ 【事前学修】　これまでの学修をふりかえる。（2時間） 【事後学修】　授業で学んだことをふりかえり、理解できなかったことは教科書、参考書等で調べる。自己学修で不明な点は質問し、解決する。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（60%）、提出物等（35%）献立課題等、平常点（5%）平常の受講態度。
教　　科　　書	給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室 監修、女子栄養大学出版部） Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか編著、建帛社）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅰ	実習	1	選択	必修	必修	1年・後期	布川　育子・佐藤　恵 村山はるか・萩原はるか
科目コード　SgAAC10606							担当形態：クラス分け・複数

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目を履修し、単位を修得し、更に実習内規細則に定められた要件を満たさなければ、給食実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳを受講できない。 グループワークのため、協力と助け合いが重要である。また、将来、栄養士等の業務に活かせることを念頭におきながら積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	集団給食はそれぞれの給食施設において、その設置目的と対象者の実情に沿って計画的、継続的に提供する食事である。給食実習Ⅰでは、給食実習室を使用して、給食の手順、方法等給食管理の全般にわたり、学生自らが自主的に計画を立て、分担の作業を果たしながら協力と責任の重要性を体験しつつ、大量調理に必要な知識、技術を体系的に学修する。
到達目標	大量調理施設における給食業務全般にわたる栄養管理、作業管理、衛生管理等給食運営の基礎を、実習を通して修得することを目標とする。
授業の進め方	給食を運営する上での計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Act）のサイクルを、作業を分担し、協力しながらグループで実習を進める。

第 1 回	オリエンテーション、実習の意義と目的、実習の進め方
【学修内容】	授業概要、実習の心構え、グループ活動計画、試作準備について
【事前学修】	シラバスおよび給食実習ノートを一読する。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 2 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	発注に必要な書類、発注方法の説明、グループ別活動
【事前学修】	実習献立について前期の調理学実習Ⅰをふりかえり、作り方、注意点を確認する。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 3 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	作業工程表、検収記録簿の作成について、グループ活動（試作グループは試作および試作検討会）
【事前学修】	作業工程表、検収について調べておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 4 回	実習ノート及び作成書類の説明、グループ別活動
【学修内容】	日程表により、グループ別活動（試作準備、試作・試作検討会、発注など）
【事前学修】	グループで作成する給食献立について、作業の手順など確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 5 回	グループ別活動
【学修内容】	日程表により、グループ別活動（試作・試作検討会、発注、実習など）
【事前学修】	実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）
第 6 回	グループ別活動
【学修内容】	日程表により、グループ別活動（発注、実習、実習のふりかえりなど）
【事前学修】	実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間）
【事後学修】	授業内容をふりかえる。（0.5時間）

授　業　計　画	第 7 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（実習、実習のふりかえり、献立検討など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第 8 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（実習のふりかえり、献立検討、試作準備など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第 9 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（献立検討、試作準備、試作・試作検討会など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第10 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（試作準備、試作・試作検討会、発注準備など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第 11 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（試作・試作検討会、発注準備、発注など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第12 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注準備、発注、実習など） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第13 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（発注、実習、実習のふりかえりなど） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第14 回　グループ別活動 【学修内容】　日程表により、グループ別活動（実習、実習のふりかえりなど） 【事前学修】　実習ノートの該当箇所をよく確認しておく。（0.5時間） 【事後学修】　授業内容をふりかえる。（0.5時間） 第15 回　給食実習Ⅰのまとめ 【学修内容】　給食実習Ⅰのふりかえりとまとめ 【事前学修】　これまでの実習について、実習ノートなどに目を通し、ふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　給食実習Ⅰで学んだことをふりかえりシートにまとめる。（0.5時間）
評　価　方　法	筆記試験（40%）、実習（40%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　科　書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか編著、建帛社） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室 監修、女子栄養大学出版部） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版）
参　考　書 参考資料等	教材：学内実習ノート 大量調理施設衛生管理マニュアル
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅱ	実習	1	選択	必修	必修	2年・前期	佐藤　恵 村山　はるか
科目コード　SgAAC20607							担当形態：複数

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目は、学外実習に進むための基礎実習として大変重要であり、給食実習Ⅰ及び実習内規細則に定める科目を履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。
授業の目的・概要	学内の集団給食施設の現場において、今まで学んできた知識を活かし、給食業務に必要な食事計画・調理を含めた給食サービスに関する技術を修得することで、実践力を培い、栄養士としての主体的な自覚を持つ。
到達目標	学内の集団給食施設での実習を通して、栄養士として必要な給食管理業務の実践力を養い、学外実習へ繋げることを目標とする。
授業の進め方	学内の集団給食施設において給食管理実習を行う。
授業計画	日程表により、グループ別に、短大給食施設での実習を行う。 第　1　～3回　学内実習（1日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（栄養士の業務内容等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第　4　～6回　学内実習（2日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（栄養管理、給食管理等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第　7　～9回　学内実習（3日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（衛生管理、作業管理等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第 10 ～12回　学内実習（4日目） 【学修内容】　短大給食施設での実習を行う（他部署との連携等） 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） 第 13 ～15回　学内実習（5日目） 【学修内容】　各班で作成した献立表・作業工程表に基づき給食調理を行う。 【事前学修】　実習ノートを確認し、作業手順等を確認する。（1時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習のまとめをする。（1時間）
評価方法	実習（100%）実習態度、そのほかの提出物等を加味する。

教　科　書	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） 給食運営・経営管理実習のてびき（西川貴子ほか共著、医歯薬出版） 給食施設のための献立作成マニュアル（冨田教代ほか共著、医歯薬出版） Nブックス改訂給食の運営ー栄養管理・経営管理ー（逸見幾代ほか著、建帛社） 調理のためのベーシックデータ（女子栄養大学調理学研究室/女子栄養大学短期大学部調理学研究室 監修、女子栄養大学出版部）

参　考　書 参考資料等	教材：学内実習ノート

備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅲ	実習	2	選択	必修	必修	2年・通年	田中ゆかり・布川　育子 佐藤　　恵
科目コード　ＳｇＡＡＣ30608							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	１年次開講される給食経営論、給食実務論、給食実習Ⅰ及び実習内規細則に定める科目を履修し単位を修得しなければ、本科目を受講できない。また、事前及び事後指導については、やむを得ない事由を除き全て受講すること。
授業の目的・概要	本科目は事前指導・学外実習・事後指導で構成される。特定給食施設の意義とその設置目的、内容、運営形態について理解し、給食業務を行うために各給食施設の食事形態や対象者の身体的特徴、食生活について理解を深め、必要な食事計画や調理を含めた給食提供等について、学外実習という実践の場を通して、栄養士として必要な知識と技術を修得する。
到達目標	小学校実習では、学校給食の目標や意義を理解し、年齢に応じた食事摂取基準、献立作成、調理、盛付け等給食業務全体を実体験する。また、教職員や児童との交流を通して学校教育における食教育のあり方を学修する。 福祉施設実習では、施設の種類と特性を理解した上で、利用者の心身の状況や栄養状態、病状等を考慮した栄養管理方法・実習・評価等を実体験する。また、他の職種との連携の取り方等を学修する。 自衛隊実習では、自衛隊給食の意義を踏まえ青年期栄養の特性、身体活動レベル、職種（業務の体力消耗の軽重）に対応した栄養管理、緊急災害時における給食等自衛隊給食の特色について学修する。
授業の進め方	本科目は、事前・事後指導と学外実習を合わせて実施する。学外実習で予定されている施設は、小学校及び福祉施設、自衛隊であり、各施設の「給食の運営」について学ぶ。

〈事前指導〉

第　１　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業概要の説明、実習に向けての心構え、実習先との連絡の取り方、挨拶日、マナーについて
【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.2時間）
【事後学修】　実習先の概要について調べる。（0.5時間）

第　２　回　　実習ノートの記入について、グループ活動
【学修内容】　実習先別の実習ノートについて説明、グループ活動
【事前学修】　実習施設の特徴に合わせた研究テーマを考える。（0.5時間）
【事後学修】　各自で設定した研究テーマについて資料を集める。（0.5時間）

第　３　回　　グループで実習準備をする
【学修内容】　実習施設への挨拶、研究テーマ、課題についてグループで確認する。
【事前学修】　実習施設への交通手段を調べ、挨拶日の準備をする。（0.5時間）
【事後学修】　実習施設の給食の特性について調べる。（0.5時間）

第　４　回　　グループで実習準備をする
【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など）
【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間）
【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

第　５　回　　グループで実習準備をする
【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など）
【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間）
【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

第　６　回　　グループで実習準備をする
【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など）
【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間）
【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

授　業　計　画	第　7　回　　外部講師による講演① 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第　8　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第　9　回　　外部講師による講演② 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第10　回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第 11 回　　グループで実習準備をする 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第12　回　　外部講師による講演③ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、学外実習への心構えについて 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第13　回　　実習の心得、グループで実習準備をする 【学修内容】　実習の心得、実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第14　回　　グループで実習準備をする、実習前の最終確認 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成、栄養指導、媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。実習前に再度実習ノート、課題など入念にチェックする。（0.5時間） ＜学外実習＞ 小学校、福祉施設、自衛隊のいずれかの給食施設での実習を行う。 ・小学校、福祉施設、自衛隊の組織、機構 ・小学校、福祉施設、自衛隊の給食部門の概要 ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養士の業務内容 ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養管理（食事療法と調理の実際） ・小学校、福祉施設、自衛隊の栄養、食事指導の実際と評価 ・小学校、福祉施設、自衛隊の食事環境と喫食率 ・小学校、福祉施設、自衛隊の衛生管理、作業管理 ・小学校、福祉施設、自衛隊における他部門との連携 ＊実習1日につき 【事前学修】　実習施設の概要および実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（0.5時間） 〈事後指導〉 第15　回　　学外実習を終えて 【学修内容】　学外実習のふりかえり、実習報告について 【事前学修】　学外実習で学んだことをふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　実習をふりかえり、反省や課題を明確にする。（0.5時間） 第 16 回　　実習報告の作成 【学修内容】　実習報告を作成する 【事前学修】　実習報告に必要な資料を準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業中に作成した実習報告を点検する。（0.5時間） 第 17 回　　外部講師による講演④ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、実習内容について講演 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第 18 回　　実習報告の作成 【学修内容】　実習報告を作成し、発表練習を各グループで行う。 【事前学修】　作成した実習報告を再度点検する。（0.5時間） 【事後学修】　実習報告会での発表練習を行う。（0.5時間）

	第 19 回　実習報告会① 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 20 回　実習報告会② 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 21 回　実習報告会③ 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間） 第 22 回　外部講師による講演⑤ 【学修内容】　栄養士の職務の実際、食事療法について講演 【事前学修】　実習施設の栄養士の職務内容について調べる。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことをレポートにまとめる。（0.5時間） 第 23 回　実習報告会④、まとめ 【学修内容】　実習施設別に実習報告の発表、質疑応答、講評 【事前学修】　発表練習を行う。（0.5時間） 【事後学修】　学んだことを記録し、不明な点、興味を持ったことについて調べる。（0.5時間）
評価方法	提出物等（50%）、実習先からの評価（50%）に平常点を加味する。
教科書	使用しない。 教材：実習ノート
参考書 参考資料等	適宜紹介する。
備考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
給食実習Ⅳ	実習	2	選択	選択	選択	2年・前期	布川育子 佐藤恵
科目コード　SgaaC30609							担当形態：クラス分け・単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	本科目は、給食実習Ⅰ、給食実習Ⅱ、給食実習Ⅲ及び実習内規細則に定める科目を履修していなければ受講できない。また、事前及び事後指導もすべて受講すること。
授業の目的・概要	本科目は事前指導、学外実習、事後指導で構成される。 事前指導においては、各実習先の概要について理解し、施設利用者に適応した食事計画・給食サービス等の事前研究を行う。 学外実習では、それぞれの施設における給食実務の概要、理論、実態を実践活動の場における体験を通して把握する。課題発見、問題解決への取組み等から、専門的知識及び技術の統合を図り、栄養士の専門領域で活躍できる幅広い応用力、実践力を身に付けることを目的とする。 事後指導では、各実習先の実習概要についてまとめ報告する。
到達目標	病院実習では、医療スタッフの一員として患者への対応を体験し、傷病者を対象とした栄養指導の必要性、医療現場の実際を把握するとともに、栄養部門の業務全般について献立立案から配膳に至る一連の作業、外来・入院患者を対象とした栄養食事指導等を体験を通して学ぶ。 福祉施設実習では、施設の種類と特性を理解した上で、利用者の栄養管理、心身の状況、病状等を考慮した栄養ケアプランの作成方法・実施・評価等の対応方法を実体験する。また、施設給食の特質を把握し、食事サービスのマネジメント、他の職種との連携の重要性等を学修する。
授業の進め方	本科目は、事前・事後指導と学外実習を合わせて実施する。学外実習で予定されている施設は、病院及び福祉施設であり、各施設の「給食の運営」について学ぶ。
	＜事前指導＞ 第 1 回　オリエンテーション 【学修内容】　授業概要の説明、実習に向けての心構え、実習先との連絡の取り方、挨拶日、マナーについて 【事前学修】　シラバスに目を通しておく。（0.5時間） 【事後学修】　実習先の概要について調べる。（0.5時間） 第 2 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設への挨拶、研究テーマ、課題についてグループで確認する。 【事前学修】　実習施設について調べ、挨拶日の準備、課題の準備をする。（0.5時間） 【事後学修】　実習施設の給食の特性について調べる。（0.5時間） 第 3 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成・栄養指導・媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間） 第 4 回　グループで実習準備をする。 【学修内容】　実習施設ごとに事前課題や準備に取り組む（献立作成・栄養指導・媒体作成など） 【事前学修】　実習ノートを確認し、事前課題や実習に必要なことを準備する。（0.5時間） 【事後学修】　授業のふりかえりをする。（0.5時間）

授　業　計　画	＜学外実習＞ 病院、福祉施設のいずれかの給食施設での実習を行う。 ・病院・福祉施設の組織、機構 ・病院・福祉施設の給食部門の概要 ・病院・福祉施設の栄養士の業務内容 ・病院・福祉施設の栄養管理（食事療法と調理の実際） ・病院・福祉施設の栄養・食事指導の実際と評価 ・病院・福祉施設の食事環境と喫食率 ・病院・福祉施設の衛生管理・作業管理 ・病院・福祉施設における他部門との連携 ＊実習１日につき 【事前学修】　実習施設の概要および実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートを整理し、実習で学んだ知識・技術等を復習しておく。（1時間） ＜事後指導＞ 第 5 回　学外実習を終えて 【学修内容】　学外実習のふりかえり、実習報告について 【事前学修】　学外実習で学んだことをふりかえる。（0.5時間） 【事後学修】　実習をふりかえり、反省や課題を明確にする。（0.5時間）
評　価　方　法	提出物等（20%）、実習先からの評価（80%）に平常点を加味する。
教　　科　　書	使用しない。 教材：実習ノート
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
学校栄養指導	講義	2	選択		必修	1年・後期	田　中　ゆかり
科目コード　SgZAA10701							担当形態：単独

栄養に係る教育に関する科目	科目に含める必要事項
	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項並びに食に関する指導の方法に関する事項

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。将来栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	栄養教諭は、学校において給食管理と食に関する指導を行う教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持つ教員である。 本講は、学校給食の教育的意義と役割、学校組織と栄養教諭の位置付け等を理解した上で学校給食を活用した食に関する指導・他の教員との連携協力による食に関する領域や内容に関する指導等を行うために食育に関する様々な知識・技能を修得する。
到達目標	①　学校組織の中での栄養教諭の位置付け、役割を理解する。 ②　食に関する指導の必要性、児童・生徒への教科・特別活動等における教育指導を理解した上で食に関する指導の授業指導案の作成ができる。 ③　児童・生徒への個別相談指導の意義の理解をする。
授業の進め方	教科書・配付プリント・資料等を併用し、授業を進める。

第　1　回	オリエンテーション
【学修内容】	食に関する指導の意義
【事前学修】	栄養教諭制度創設の背景を考える。　（2時間）
【事後学修】	自分の目指す栄養教諭像についてまとめる。　（2時間）
第　2　回	食に関する指導に係る法令
【学修内容】	諸制度・栄養教諭の職務内容、使命、役割
【事前学修】	栄養教諭の職務について調べる。　（2時間）
【事後学修】	栄養教諭の諸制度についてまとめる。　（2時間）
第　3　回	学校給食の歴史・学校における食育推進の必要性
【学修内容】	学校組織と栄養教諭の位置付け、児童の食生活の実態把握
【事前学修】	学校組織における栄養教諭の位置づけについて調べる。　（2時間）
【事後学修】	学校組織の中で栄養教諭が具体的にどのような働きをするかまとめる。　（2時間）
第　4　回	食に関する指導に係る全体計画の作成
【学修内容】	全体計画の必要性、栄養教諭に期待される役割
【事前学修】	全体計画の必要性について法的根拠について調べる。　（2時間）
【事後学修】	食に関する指導の目標、食育の視点についてまとめる。　（2時間）
第　5　回	給食時間における食に関する指導
【学修内容】	指導の特徴、生きた教材としての学校給食の活用、給食時間における指導案の作成
【事前学修】	給食を生きた教材として活用するための資料を集める。　（2時間）
【事後学修】	指導案の見直しと媒体の作成　（2時間）
第　6　回	実践演習Ⅰ
【学修内容】	給食時間における食に関する指導
【事前学修】	給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間）
【事後学修】	授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　実践演習Ⅱ 【学修内容】　給食時間における食に関する指導 【事前学修】　給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間） 【事後学修】　授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間） 第　8　回　　実践演習Ⅲ 【学修内容】　給食時間における食に関する指導 【事前学修】　給食時間における食に関する指導案や媒体を用い、模擬授業の練習をする。　（2時間） 【事後学修】　授業の中で他の受講生からの意見や注意点をまとめ、指導案の修正を行う。　（2時間） 第　9　回　　教科における食に関する指導 【学修内容】　家庭科（教科担任との連携）、特別活動 【事前学修】　食に関する指導に関連付けられる教科等について調べる。　（2時間） 【事後学修】　食に関する指導に関連付けられる教科について学習内容や指導方法についてまとめる。　（2時間） 第10　回　　個別栄養相談・家庭、地域と連携した食に関する指導 【学修内容】　個別相談指導の指導の特徴と指導方法・連携の手順・留意点 【事前学修】　個別栄養相談の意義についてまとめる。　（2時間） 【事後学修】　個別栄養相談指導の特徴と指導方法・連携・留意点についてまとめる。　（2時間） 第 11 回　　食に関する指導案の作成 【学修内容】　学級活動における食に関する指導案の作成方法 【事前学修】　食に関する指導のテーマを決め指導案作成のための情報を集める。　（2時間） 【事後学修】　食に関する指導の指導案検討　（2時間） 第12　回　　実践演習 【学修内容】　指導案・教材・板書計画 【事前学修】　指導案の検討と模擬授業に必要な教材の準備　（2時間） 【事後学修】　指導案の検討・板書計画の作成　（2時間） 第13　回　　学校給食管理Ⅰ 【学修内容】　学校給食実施基準 【事前学修】　学校給食実施基準について目を通しておく。　（2時間） 【事後学修】　学校給食実施基準に関する振り返り課題　（2時間） 第14　回　　学校給食管理Ⅱ 【学修内容】　学校給食における衛生管理 【事前学修】　学校給食衛生管理マニュアルについて目を通しておく。　（2時間） 【事後学修】　学校給食衛生管理マニュアルに関する振り返り課題　（2時間） 第15　回　　まとめ 【学修内容】　学校栄養指導講義の統括 【事前学修】　講義を振り返り、栄養教諭の役割についてまとめる。　（2時間） 【事後学修】　栄養教諭の資質について理解しこれからの自分の課題について整理する。　（2時間）
評　価　方　法	筆記試験・小テスト（50%）、指導案・模擬授業（30%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	栄養教諭論　理論と実際（金田雅代編著、建帛社） 小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
参　考　書 参 考 資 料 等	栄養教諭論Ⅱ・実践研究（金田雅代編著、建帛社）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教職概論	講義	2	選択		必修	2年・前期	鴫原正世 田中ゆかり
科目コード　ＳｇＺＡＡ１０８０１							担当形態：オムニバス

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	現代社会における教職の重要性の高まりを背景に教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し進路選択に資する教職のあり方を理解する。 ① 学校教育において、教員の果たすべき役割について学ぶ。 ② 教職の意義、職務内容について学ぶ。 ③ 教員に求められる資質・能力について学ぶ。 ④ 教育に関する法律や規則について学ぶ。 ⑤ 実際の学校現場を想定し、教職の魅力を理解する。
到達目標	① 教育の目的とその担い手である教員の意義、教職の職業的特徴を理解し教職への意欲を高める。 ② 教職観の変遷を踏まえ今日の教員に求められる役割を理解し基礎的な資質能力を身に付ける。 ③ 児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解する。 ④ 教員研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行する為に生涯にわたって学び続けることの必要性を理解する。 ⑤ 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。 ⑥ 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解する。
授業の進め方	教員を目指す上での必要な事項、知識の整理を試みる。更に教育論や制度的枠組みにも触れながら、教育現場の問題や課題を検討する。社会的・文化的・思想的な意味での「教育」、その中における制度としての「学校」、そしてその間における「教師の役割」という点で運営を行っていき、望まれる教師像を探り、想像力を高め自他ともに成長・育成していく。

第 1 回	オリエンテーション	（担当：田中）
【学修内容】	講義計画の概要と学習方法、評価等	
【事前学修】	授業の目的・概要を読み教職への意識を高める。教育に関する話題に関心をもち情報を収集する。（2時間）	
【事後学修】	講義内容のまとめ。事前学習で収集した話題についての探求。（2時間）	
第 2 回	教育の意義・目的	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育と教育の意義・目的、教育観の展開	
【事前学修】	教科書より教育の意義・目的について読み、「教育とは」について考えをまとめる。（2時間）	
【事後学修】	講義を基に「教育とは」についてまとめる。（2時間）	
第 3 回	教育の内容	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育課程の意義と類型	
【事前学修】	教科書より「教育課程の意義」について考えをまとめる。（2時間）	
【事後学修】	講義内容をまとめ「教育課程の意義」について考察する。（2時間）	
第 4 回	我が国の教育制度と学校教育	（担当：鴫原）
【学修内容】	教育基本法、学習指導要領	
【事前学修】	教育基本法・学習指導要領についての課題。（2時間）	
【事後学修】	学習指導要領の果たす役割についてまとめる。（2時間）	
第 5 回	教育法規と教育行政	（担当：鴫原）
【学修内容】	学校教育法、教員の任用と服務	
【事前学修】	学校教育法についての課題に取り組む。（2時間）	
【事後学修】	教員の服務についてまとめる。（2時間）	
第 6 回	教育の方法	（担当：鴫原）
【学修内容】	学習指導、児童・生徒理解	
【事前学修】	現在の教育や子どもに関する問題について情報を収集し意見をまとめる。（2時間）	
【事後学修】	児童・生徒理解について方法を考えまとめる。（2時間）	

授　業　計　画	第　7　回　　教師Ⅰ　（担当：田中） 【学修内容】　教師とは、教師の人格・資質 【事前学修】　教師の資質とはなにか考えをまとめる。（2時間） 【事後学修】　教師に求められる資質・能力を整理し自己の適性を考える。（2時間） 第　8　回　　教師Ⅱ　（担当：田中） 【学修内容】　教師の研修、教師の養成、職務内容 【事前学修】　教科書より「教員研修の意義」についてまとめる。（2時間） 【事後学修】　教員研修の法や制度について考えをまとめる。（2時間） 第　9　回　　学校運営Ⅰ　（担当：田中） 【学修内容】　学校組織、担任、校務分掌、チーム学校運営 【事前学修】　教科書を参考に「チーム学校とは」なにか考える。（2時間） 【事後学修】　栄養教諭は校務分掌の中でどのようなことができるか考える。（2時間） 第10　回　　学校運営Ⅱ　（担当：田中） 【学修内容】　学校と家庭の連携 【事前学修】　学校と家庭の連携についての課題を考える。（2時間） 【事後学修】　事前学修で考えた課題についてまとめる。（2時間） 第 11 回　　学校運営Ⅲ　（担当：田中） 【学修内容】　地域の教育力、異校種間の連携 【事前学修】　教科書「開かれた学校と教師」を読み教師の協働について考える。（2時間） 【事後学修】　地域との連携による教育活動の意義をまとめる。（2時間） 第12　回　　教育改革Ⅰ　（担当：田中） 【学修内容】　学力、教育内容、評価 【事前学修】　教科書「学校評価・教育評価」について目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　学習指導におけるＰDCAサイクルの在り方についてまとめる。（2時間） 第13　回　　教育改革Ⅱ　（担当：田中） 【学修内容】　教育制度、教育行政 【事前学修】　教科書「現場から見た教師像」について目を通しておく。（2時間） 【事後学修】　教育制度、教育行政についての課題。（2時間） 第14　回　　生涯教育　（担当：鴫原） 【学修内容】　人間の発達と生涯教育、学習方法の開発 【事前学修】　生涯学習について調べておく。（2時間） 【事後学修】　生涯学習の今後の在り方についてまとめる。（2時間） 第15　回　　これからの学校教育　（担当：鴫原） 【学修内容】　教育の多様性 【事前学修】　これからの学校教育について考える。（2時間） 【事後学修】　これからの教育についてまとめる。（2時間）
評　価　方　法	筆記試験（60%）平常点（40%）受講態度、提出物等を加味する。
教　　科　　書	これからの教師（高倉翔編、建帛社） 小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育原理	講義	2	選択		必修	1年・後期	布見道子
科目コード　SgZAA10802							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。
授業の目的・概要	① 教育の基本的概念は何か、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想がどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。 ② 現代の学校教育に関する社会的、制度的又は経営的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関する課題を理解する。なお、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識を身に付ける。
到達目標	① 教育の理念とその目的及び意義を理解する。 ② 教育の社会的意義とその必要性を理解する。 ③ 教育が人間の成長と発達に果たす役割を理解する。 ④ 教育は目的や場面に応じ多様な教育活動が必要であることを理解する。 ⑤ 歴史や社会の変化の中で教育が果たす役割を理解する。
授業の進め方	各回でテーマを設定しそれに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をする等意欲的な取組みの姿勢が求められる。

第　1　回　　オリエンテーション /教育とはなにか
【学修内容】　教育の基本原理及び目的と意義について学ぶ
【事前学修】　人間と他の動物の違いについて調べ 、なぜ人間には教育が必要なのか考える。　（2時間）
【事後学修】　教育の基本原理および 目的と意義について 復習する。（2時間）

第　2　回　　学校の始まり
【学修内容】　古代の社会における教育や学校の役割及び思想について学ぶ
【事前学修】　なぜ学校が必要 なのか考える。（2時間）
【事後学修】　古代の 社会における教育や学校の役割 及び思想について復習する。　（2時間）

第　3　回　　学校と教育思想
【学修内容】　教育の思想や学校の変遷について学ぶ
【事前学修】　著名な教育の思想家について調べる。（2時間）
【事後学修】　教育の思想家と時代背景についてまとめる。（2時間）

第　4　回　　公教育の歴史
【学修内容】　公教育の必要性が生じた時代から現代の教育制度に至る歴史について学ぶ
【事前学修】　フレーベルについて 調べる。（2時間）
【事後学修】　公教育の必要性が生じた時代から現代の教育制度に至る歴史について復習する。（2時間）

第　5　回　　日本の教育の始まり
【学修内容】　日本における教育や学校の始まりと歴史について学ぶ
【事前学修】　寺子屋について調べる 。（2時間）
【事後学修】　日本における教育や学校の始まりと歴史について、復習する。（2時間）

第　6　回　　日本の学校制度
【学修内容】　日本の学校制度の変遷と現在の学校制度について理解する
【事前学修】　近世の教育機関について調べる 。（2時間）
【事後学修】　日本の学校制度の変遷と現在の学校制度について復習する。（2時間）

授　業　計　画	第　7　回　　教育課程の編成 【学修内容】　教育課程編成の目的とその方法を学ぶ 【事前学修】　理想的な学校とは、自分の考えをまとめる。（2時間） 【事後学修】　教育課程編成の目的とその方法について復習する。（2時間） 第　8　回　　学力を考える 【学修内容】　急激に変化する現代を生きるための確かな学力の必要性について学ぶ 【事前学修】　急激な社会変化に関わることを調べる。（2時間） 【事後学修】　「確かな学力」とは何か 、自分の考えをまとめる。（2時間） 第　9　回　　教師の役割 【学修内容】　子どもの成長と発達に果たす教師の役割について学ぶ 【事前学修】　教師の役割について、自分の考えをまとめる 。（2時間） 【事後学修】　子どもの成長に果たす教師の役割と資質の向上について復習する 。（2時間） 第　10　回　　家庭と地域の役割 【学修内容】　子どもの成長と発達に果たす家庭・地域の役割について学ぶ 【事前学修】　自分が経験してきた地域・家庭との連携活動について調べる。（2時間） 【事後学修】　子どもの成長と発達に果たす家庭・地域の役割について復習する 。（2時間） 第　11　回　　教師の資質能力 【学修内容】　求められる教師像と資質能力の向上について学ぶ 【事前学修】　理想の教師についてまとめる 。（2時間） 【事後学修】　教師の専門性を高めるためには、どのようなことが必要か考える。（2時間） 第　12　回　　特別支援教育 【学修内容】　特別支援教育と障がいについて学ぶ 【事前学修】　さまざまな人間の障がいについて調べる。（2時間） 【事後学修】　特別支援教育と障がいについて復習をする 。（2時間） 第　13　回　　子どもの権利 【学修内容】　子どもの人権を守る世界的な思想を理解するとともに教師の役割について学ぶ 【事前学修】　子どもの権利条約について調べる 。（2時間） 【事後学修】　子どもの人権を守る思想を理解し、教師の役割について復習する。（2時間） 第　14　回　　健康安全教育 【学修内容】　健康安全教育及び健康で安全な学習環境の整備について学ぶ 【事前学修】　学校における健康 安全のための教育にはどのようなことがあるか調べる 。（2時間） 【事後学修】　健康安全教育及び健康で安全な学習環境の整備について復習する。（2時間） 第　15　回　　教育課題 【学修内容】　時代や社会の変化に対応する教育活動について学ぶ 【事前学修】　最近の教育活動にはどのようなものがあるか調べる。（2時間） 【事後学修】　これからの国際化・情報化に対応する 教育活動について復習する。（2時間）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組（意欲・知識・向上心）（５０％）、小テスト（知識・向上心）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領解説総則編（文部科学省　東洋館）
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育心理学	講義	2	選択		必修	2年・後期	田鍋 佳子
科目コード　SgZAA20803							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	教育に携わる者は、人間の発達や学習過程についての心理学的知識を持つことが求められる。これらの知識は、目の前にいる子どもたちを適切に理解するためのツールとなり、日々の教育の実践に広がりをもたらす。 本科目では、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身に付け、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解することを目的とする。
到達目標	① 幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解する。 ② 乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解する。 ③ 様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解する。 ④ 主体的学習を支える動機付け・集団づくり・学習評価のあり方について、発達の特徴と関連付けて理解する。 ⑤ 幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。
授業の進め方	授業は、配付資料に基づき行う。 毎時間、講義内容に関連した課題を課す。

第　1　回	オリエンテーション／子どもの発達を理解することの意義
【学修内容】	「発達」とは何か、どうやって発達過程を研究するのか、その方法論について理解する。
【事前学修】	自分の体験を振り返りつつ「発達」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　2　回	子どもの発達理解（1）身体と運動能力の発達
【学修内容】	生まれる前から出生、そして新生児、乳児、児童の身体機能の発達について理解する。
【事前学修】	可能であれば、自分自身の母子手帳を見直して自身の身体発達について確認しておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　3　回	子どもの発達理解（2）言語とコミュニケーション能力の発達
【学修内容】	言語習得の過程とコミュニケーションに必要な認知機能の発達について理解する。
【事前学修】	自分の子どもの頃の周囲の大人との会話について、家族に聞き取りをしてまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　4　回	子どもの発達理解（3）パーソナリティの発達
【学修内容】	人の性格はどのようにして決まるのか、遺伝的要因と環境的要因について理解する。
【事前学修】	自分の性格を今一度見つめ直し、なぜそうなったのかを自分なりに考えてみる。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　5　回	子どもの発達理解（4）認知能力の発達
【学修内容】	認知機能の発達と他者との関わりとの関係について理解する。
【事前学修】	子どもの頃を振り返り、他者との関わり方の変化について自分の意見をまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
第　6　回	子どもの発達理解（5）記憶のメカニズム
【学修内容】	記憶の分類や記憶のメカニズムについて理解する。
【事前学修】	自分なりの「記憶する」時の特徴や習慣について、考えてまとめておく。（1.5時間）
【事後学修】	授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）

授　業　計　画	第　7　回　　子どもの発達理解（6）虐待対応と司法面接 【学修内容】　児童虐待の定義とその背景について理解する。 【事前学修】　新聞やニュースを元に児童虐待の具体的な事例を調べ、自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　8　回　　子どもの発達理解（7）学習 【学修内容】　「学習」とは何か、そして「学習」のメカニズムについて理解する。 【事前学修】　自分の体験を振り返りつつ「学習」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　9　回　　子どもの発達理解（8）動機付け 【学修内容】　「動機づけ」が高まるメカニズムについて理解する。 【事前学修】　普段の生活の中で自分の「やる気」を高める方法について考えてまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　10　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（1）アタッチメント 【学修内容】　乳幼児期における養育者との愛着形成がその後の成長に与える影響を理解する。 【事前学修】　自分自身の乳幼児期における身近な大人との関わりについて聞き取りをしておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　11　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（2）仲間関係の理解と支援 【学修内容】　幼少期からの友人関係の変化が自分自身の発達に与える影響について理解する。 【事前学修】　幼児期から現在に至るまで、どのように友人との関わりが変化していたかを見つめ直す。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　12　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（3）学級における教師の役割 【学修内容】　学校生活において教師が子どもの発達に与える影響過程について理解する。 【事前学修】　小中高とこれまでの学校生活を振り返り、直面した様々な問題をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　13　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（4）社会性の発達 【学修内容】　社会性を発達させる諸要因について理解する。 【事前学修】　自分の体験を振り返りつつ「社会性」とは何か、考えて自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　14　回　　他者とのかかわりと子どもの発達（5）子どもの不適応とその支援 【学修内容】　学校生活における不適応状態に関わる諸問題と対応について理解する。 【事前学修】　具体的な不適応状態の事例を挙げ、原因と対応について自分の意見をまとめておく。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間） 第　15　回　　まとめ 【学修内容】　半期間の講義内容を総括し、今後の生活にどのように活かすか議論する。 【事前学修】　半期間の講義を振り返り、自分自身の生活との関わりについて考える。（1.5時間） 【事後学修】　授業で学んだ内容を要約し、自分の体験を照らし合わせながら感想をレポートにする。（2.5時間）
評　価　方　法	課題（提出状況・内容充実度）（100%）
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	やさしい発達と学習（外山紀子・外山美樹、有斐閣） やさしい教育心理学（鎌原昌彦、竹綱誠一郎 編、有斐閣） 教育心理学エッセンシャルズ（西村純一・井森澄江 編、ナカニシヤ出版）
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
特別支援教育概論	講義	1	選択		必修	2年・前期	安　藤　理恵子
科目コード　SgZAA10804							担当形態：単独

教育の基礎的理解に関する科目	科目に含める必要事項
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 特別支援教育の理念や意義、制度（システム）等の基本的事項を理解するとともに、障がいのあるなしにかかわらず幼児、児童生徒一人一人の特別な教育的ニーズに応じた指導及び適切な支援のあり方について理解するよう、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	平成19年度に特殊教育から特別支援教育へ転換したことを踏まえて、特別支援教育の現状を知るとともに、共生社会の実現に向けた保育所・幼稚園・学校の役割やインクルーシブ教育・保育システムについて理解をする。 本講では、国際的な障がい観の変遷や我が国の障がい児教育の歴史を通じて特別支援教育の理念や意義、制度等について理解し、障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの指導及び適切な支援の基本に関することについて説明・解説する。
到達目標	①　障がい観の変遷及び特別支援教育の理念や意義、計画的・組織的対応等基本的事項を理解する。 ②　特別支援教育の対象となる子どもの理解と適切な教育的対応について理解する。 ③　障がいはないが気になる子どもの特別な教育的ニーズの把握や適切な対応等について理解する。 ④　専門・関係機関等との連携や保護者支援及び連携のあり方について理解する。
授業の進め方	プレゼンテーションや視覚資料を活用した講義（座学）を中心とするが、授業内容によりグループワーク（協議や作業）及びロールプレイ等を取り入れる。
授業計画	第　1　回　オリエンテーション　障がい観の変遷及び、障がいの有無にかかわらずすべての子どもがともに学び・育ち合う教育を 【学修内容】　障がいの概念の歴史的変化とインクルーシブ教育について学ぶ。 【事前学修】　教科書第1章特別教育の理念と制度を読み、インクルーシブ教育について予習する。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　2　回　障がい児教育の歴史と制度～特殊教育から特別支援教育への転換～ 【学修内容】　障がい児教育制度や考え方の歴史的変遷を学び、特殊教育から特別支援教育へ転換した背景を理解する。 【事前学修】　教科書第1章特別教育の理念と制度を読み、特殊教育と特別支援教育の違いについてつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　3　回　特別支援教育の理念、具体的なシステム等について 【学修内容】　特別支援教育の理念と多様な学びの場があることについて学ぶ。 【事前学修】　教科書第2章を読み、特別支援教育の学びの場について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　4　回　障がいに関する基礎知識①（視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害） 【学修内容】　視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、言語障害、情緒障害の基礎知識を学ぶ。 【事前学修】　教科書第3章を読み、それぞれの障がい特性について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　5　回　障がいに関する基礎知識②（発達障害～自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害～） 【学修内容】　発達障害（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害、学習障害）についての基礎知識を学ぶ。 【事前学修】　教科書第4章を読み、それぞれの障がい特性について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第　6　回　障がい等のある子どもの対応・支援～合理的配慮、個別の教育支援計画・指導計画の作成～ 【学修内容】　障がい等のある子どもの対応・支援について具体的な支援、指導計画等について学ぶ。 【事前学修】　教科書第5章第7章を読んで、合理的な配慮、支援計画・指導計画について大まかにつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間）

	第 7 回　障がいのない子を含む特別な教育的ニーズを中心とした教育相談や保護者・家族への支援 【学修内容】　特別な教育的ニーズに応えるための支援体制について知る。 【事前学修】　教科書第6章を読んで、支援体制にはどのようなものがあるかつかんでおく。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間） 第 8 回　障がいのない子を含む特別な教育的ニーズを共有する専門・関係機関（医療・福祉・労働等）との連携　まとめ 【学修内容】　関係機関との連携や、障がいはないが特別な教育的ニーズのある子どもたちの支援について学ぶ。 【事前学修】　教科書第6章第8章を読んで、支援の多様性について知る。（2時間） 【事後学修】　講義内容を復習し、要点となるところや課題等をまとめる。（2時間）
評　価　方　法	定期試験60%、平素の受講態度及び提出物（課題や小レポート等）40%
教　　科　　書	通常学級で活かす特別支援教育概論（柏崎秀子 編、ナカニシヤ出版　2021年）
参　　考　　書 参 考 資 料 等	ゼロから学べる特別支援教育～若い教師のための気になる子への支援入門～（青山新吾・長瀬拓哉編著、明治図書出版　2016年） 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援（阿部利彦・岩澤一美著、金子書房　2019年 ）
備　　考	毎時間資料を配付する。授業後は内容の整理を行い理解に勧めること。資料からの試験出題がある。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育課程論・道徳教育	講義	2	選択		必修	2年・前期	布見 道子
科目コード　SgZAA20805							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） ・道徳に関する内容

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。
授業の目的・概要	①　学習指導要領の趣旨について理解し、教育課程編成の意義やその方法を学ぶ。 ②　各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。 ③　道徳教育は、教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断と行動、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動であることを理解する。 ④　道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画等を理解する。
到達目標	①　学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 ②　教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 ③　教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントする意義を理解する。 ④　道徳の意義や原理等を踏まえ、学校における道徳教育の目標や内容を理解する。
授業の進め方	各回でテーマを設定し、それに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をする等意欲的な取り組みの姿勢が求められる。

第　1　回	教育課程とは
【学修内容】	教育課程の意義と編成について学ぶ
【事前学修】	小学校学習指導要領総則第１章を読んでおく。（2時間 ）
【事後学修】	改定の経緯および 基本方針について　復習する。　（2時間 ）
第　2　回	学習指導要領Ⅰ
【学修内容】	学習指導要領の目的・ねらいについて学ぶ
【事前学修】	小学校学習指導要領総則　第２章を読む。　（2時間 ）
【事後学修】	教育課程に関する法制 について 復習する 。（2時間 ）
第　3　回	学習指導要領Ⅱ
【学修内容】	教育内容の具体的な目標・重点について学ぶ
【事前学修】	小学校学習指導要領総則 第３章を読む。（2時間 ）
【事後学修】	小学校教育の基本と教育課程の役割について復習する 。（2時間 ）
第　4　回	カリキュラム・マネジメント
【学修内容】	カリキュラム・マネジメントの意義・必要性について学ぶ
【事前学修】	小学校学習指導要領総則 カリキュラム・マネジメントの充実（第一章第1の4 ）を読む。（2時間 ）
【事後学修】	カリキュラム ・マネジメントの意義と必要性について 復習する 。（2時間 ）
第　5　回	学習指導計画
【学修内容】	学習指導計画及び作成について学ぶ
【事前学修】	小学校学習指導要領 教育課程の編成について　４６頁～ 67頁 を読む 。（2時間 ）
【事後学修】	特色ある教育活動の 編成、展開について復習する。（2時間 ）
第　6　回	学習指導計画の実際
【学修内容】	具体的な指導計画を参考にねらいや内容について学ぶ
【事前学修】	配付資料 （参考事例）を読む。（2時間 ）
【事後学修】	参考事例をもとに小学校 学習指導計画作成の目的や内容について復習する。　（2時間 ）

授　業　計　画	第 7 回　学習指導の工夫 【学修内容】　授業の目的や児童生徒の実態を踏まえた学習指導の工夫について学ぶ 【事前学修】　小学校学習指導要領第３節 教育課程の実施と学習評価 76頁 ～92頁を読む 。　（2時間 ） 【事後学修】　学習した内容を踏まえ 、学習指導の工夫について考える。　（2時間 ） 第 8 回　教育課題Ⅰ 【学修内容】　学校教育の目的や目標を踏まえ、学校が取り組むべき教育課題について学ぶ 【事前学修】　今日の学校を取り巻く 課題について考える 。（2時間 ） 【事後学修】　取り組むべき今日の学校課題 について、優先順位と解決策について考える。　（2時間 ） 第 9 回　教育課題Ⅱ 【学修内容】　学校教育の目的や目標を踏まえ学校が取り組むべき教育課題について学ぶ 【事前学修】　前時の学習の続きについて学修する。（2時間 ） 【事後学修】　他者との意見交換から自分の考えをまとめる。　（2時間 ） 第 10 回　道徳教育の変遷 【学修内容】　道徳教育の歴史を踏まえ、今日の道徳教育のあり方について考える 【事前学修】　小・中学校で取り組んだ内容を記録する。（2時間 ） 【事後学修】　道徳教育の歴史と今日の道徳教育のあり方について復習する。　（2時間 ） 第 11 回　道徳教育の目標 【学修内容】　学習指導要領に基づき、その目標と内容を理解する 【事前学修】　配付資料（ 小学校学習指導要領特別の教科道徳編）の目標と内容について読む。　（2時間 ） 【事後学修】　学習指導要領 道徳の道徳教育の目標と内容について復習する。　（2時間 ） 第 12 回　道徳教育の指導計画 【学修内容】　道徳教育の授業の視点及び年間計画作成について学ぶ 【事前学修】　配付資料（年間 計画参考事例 ）を読む 。（2時間 ） 【事後学修】　年間指導計画作成上の創意工夫について復習する。（2時間 ） 第 13 回　学習指導案 【学修内容】　授業指導案作成の留意事項や教材の活用等について学ぶ 【事前学修】　道徳学習指導案作成の題材について検討する。　（2時間 ） 【事後学修】　授業指導案作成を見直し、留意事項や教材などの補足や手直しをする。　（2時間 ） 第 14 回　学習指導案作成 【学修内容】　実際に授業をすることを想定して学習指導案を作成する 【事前学修】　前時の手直しをする。（2時間 ） 【事後学修】　他者との意見交換をもとに 自分の考えをまとめる。　（2時間 ） 第 15 回　道徳性の発達 【学修内容】　子どもの心の成長と道徳性の発達について学ぶ 【事前学修】　子どもの心の成長と道徳教育の必要性 について自分の考えをまとめる。　（2時間 ） 【事後学修】　道徳科指導の配慮事項についてまとめる。　（2時間 ）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組み（意欲・知識・向上心）（５０％）、小テスト（知識・理解）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	小学校学習指導要領（東洋館）
参　考　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領解説　道徳編（文部科学省　東洋館）
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
特別活動・総合的な学習	講義	1	選択		必修	2年・前期	布見道子
科目コード　SgZAA20901							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
・教育の基礎的理解に関する科目 ・道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。
授業の目的・概要	①　特別活動は、学校における様々な構成の集団を通じて、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して様々に行われることを理解する。 ②　学校教育全体における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」・「社会参画」・「自己実現」の３つの視点や「チームとしての学校」の視点を持つことを学ぶ。 ③　学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付ける。 ④　総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を目指すことを理解する。 ⑤　各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。
到達目標	①　特別活動の意義、目標及び内容を理解する。 ②　特別活動の指導の内容について特質やねらいを理解する。 ③　総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解する。 ④　総合的な学習の時間の指導計画作成の考え方を理解し、その実現に必要な基礎的な能力を身に付ける。
授業の進め方	各回でテーマを設定しそれに沿って授業を行う。 授業において、積極的に発言や質問をするなど意欲的な取り組みの姿勢が求められる。
授業計画	第 1 回　特別活動とは 【学修内容】　学習指導要領における特別活動の目標及び内容について学ぶ 【事前学修】　小・中学校で実践してきた内容を思い出し、 記録する。（2時間） 【事後学修】　学習指導要領における特別活動の 目標と内容について復習する。（2時間） 第 2 回　特別活動の位置づけ 【学修内容】　教育課程における特別活動の位置づけと各教科との関連について学ぶ 【事前学修】　配付された資料を基に教育課程における特別活動について調べる。（2時間） 【事後学修】　教育課程における特別活動の位置づけと各教科との関連について復習する。（2時間） 第 3 回　特別活動の内容１ 【学修内容】　学級活動・ホームルーム活動の特質とねらいを理解する 【事前学修】　小・中学校で実践してきた学級活動やホームルーム活動について記録する 。（2時間） 【事後学修】　学級活動やホームルームのねらいや特質についてについて振り返る 。（2時間） 第 4 回　特別活動の内容２ 【学修内容】　児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質とねらいを理解する 【事前学修】　児童会活動、生徒会活動、クラブ活動 、学校行事について振り返り、内容を記録する。（2時間） 【事後学修】　児童会活動、生徒会活動 、学校行事の特質とねらいについて復習する。（2時間） 第 5 回　総合的な学習の時間とは 【学修内容】　学習指導要領における総合的な学習の時間の意義及び原理について学ぶ 【事前学修】　小・中学校で実践してきた内容を思い出し、記録してくる。（2時間） 【事後学修】　学習指導要領における総合的な学習の時間の意義及び目標について復習する。（2時間） 第 6 回　総合的な学習の時間の役割 【学修内容】　教科を越えて必要な資質・能力の育成の視点について理解する 【事前学修】　提示された課題をもとに総合的な学習の実践例について調べる 。（2時間） 【事後学修】　総合的な学習の目的について復習する。（2時間）

	第 7 回　総合的な学習の時間の年間指導計画作成の視点 【学修内容】　各教科等との関連性を図りながら年間指導計画を作成することの重要性と具体的な年間指導計画の事例について学ぶ 【事前学修】　小中学校の年間指導計画を見て感じた事、気づいた事を整理し、まとめる。（2時間） 【事後学修】　年間指導計画の重要性と事例について、復習する 。（2時間） 第 8 回　総合的な学習の時間の単元計画作成について 【学修内容】　主体的・対話的で深い学びを実現する単元計画を作成することの重要性について具体的な事例等を使い理解する 【事前学修】　提示された総合的な学習の事例から 、主体的・対話的で深い学びについて考える。 （1時間） 【事後学修】　今まで学んだ総合的な学習のねらいを踏まえ、今後の指導計画について考える。 （1時間）

評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（３０％）、課題取組（意欲・知識・向上心）（50％）、小テスト（知識・向上心）（２０％）の事項を総合して評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	小学校学習指導要領（総合的な学習の時間編 、特別活動編 ） その他授業時に適宜紹介する。
備　　考	実務経験のある教員：札幌市内等の公立学校等における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教育の方法と技術	演習	2	選択		必修	2年・前期	布川　育子
科目コード　SgZAB20902							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 将来、栄養教諭に就くことを念頭におきながら、積極的かつ主体的に受講すること。
授業の目的・概要	授業をする上で、わかりやすく伝えるにはどうしたらいいかを考え、学校や子どもの実態に応じて工夫・改善を図ることが大切である。子どもたちの育成に必要な教育の方法を理解し、情報機器を活用した効果的な授業や指導技術を身に付けることを目的とする。
到達目標	①　教育方法の基礎的理論と実践、学習評価の考え方を理解している。 ②　授業づくりの技術を高めるために学習指導理論を踏まえ、教材、学習形態等を工夫した学習指導案を作成できる。 ③　子どもたちの興味・関心を高める指導法を理解し、情報機器を活用して効果的に教材等を作成・提示することができる。
授業の進め方	授業毎にテーマに沿った講義、演習をし必要に応じてプリント配付を行う。その後、教材を活用した発表を行い、発表後はお互いの相互評価をし改善点を助言する。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業の概要、目標および授業の進め方について説明する。また、日本の学校教育における今日的な課題について考える。
【事前学修】　シラバスに目を通しておく。日本の学校教育における課題を調べる。（１時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）

第　2　回　　教育方法の意義と要素
【学修内容】　授業づくりで必要な要素について
【事前学修】　小・中・高校で心に残る授業について、どんな授業だったのか思い出し、レポートにまとめる。（2時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）

第　3　回　　授業づくりの方法と技術①
【学修内容】　発問の仕方と工夫について
【事前学修】　指示の出し方、発問・説明の工夫について、参考書等で調べる。（2時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）

第　4　回　　授業づくりの方法と技術②
【学修内容】　個への指導の仕方、机間指導について
【事前学修】　個への指導の仕方、机間指導について、参考書等で調べる。（2時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（２時間）

第　5　回　　授業づくりの方法と技術③
【学修内容】　グループ学習、話し合い学習の進め方、アクティブ・ラーニングについて
【事前学修】　グループ学習、話し合い学習、アクティブ・ラーニングについて、参考書等で調べる。（2時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）

第　6　回　　授業づくりの方法と技術④
【学修内容】　話し合い学習の実践、グループ討論について
【事前学修】　話し合い学習、グループ討論について復習しておく。（2時間）
【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　教材の活用 【学修内容】　コンピューターの活用、教材、板書の工夫について 【事前学修】　コンピューターの活用、教材、板書の工夫について、参考書等で調べる。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第 8 回　実践演習① 【学修内容】　情報機器・教材を活用した指導案の作成 【事前学修】　指導案の作成方法を調べ、指導内容に関する資料を集める。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第 9 回　実践演習② 【学修内容】　情報機器・教材を活用した指導案の作成 【事前学修】　指導内容に関する資料を集め、ICTを活用した教材研究をする。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第10 回　実践演習③ 【学修内容】　情報機器・教材を活用した指導案の作成 【事前学修】　指導内容に関する資料を集め、ICTを活用した教材研究をする。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（3時間） 第 11 回　実践演習④ 【学修内容】　作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評 【事前学修】　作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第12 回　実践演習⑤ 【学修内容】　作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評 【事前学修】　作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第13 回　実践演習⑥ 【学修内容】　作成した指導案に基づく模擬授業の実践、相互評価と講評 【事前学修】　作成した指導案に基づき、模擬授業の練習をしておく。（2時間） 【事後学修】　授業のふりかえりを行う。わからないことや興味を持ったことについては参考書等で調べる。自己学修により不明な点は質問する。（2時間） 第14 回　作成した指導案の反省、まとめ（子どもたちの情報活用能力を育成するための指導法を理解できたか） 【学修内容】　ICTを活用した授業改善、情報活用能力の育成について 【事前学修】　模擬授業についてふりかえり、反省点や課題、改善方法を考える。（2時間） 【事後学修】　子どもたちの情報活用能力を育成するための指導法について、参考書等で調べる。（2時間） 第15 回　まとめ 【学修内容】　授業のふりかえり 【事前学修】　これまでの授業について、配付資料や参考書等をもとにふりかえる。（2時間） 【事後学修】　子どもたちの興味・関心を高める指導法、ICTを授業に生かす方法についてまとめる。（2時間）
評　価　方　法	指導案（簡易）及びレポート提出（40%）、発表の内容（40%）、平常点（20%）平素の受講態度等を加味する。
教　科　書	使用しない。
参　考　書 参 考 資 料 等	食育の授業づくり（北俊夫、建学社） ICT活用指導力アップ！教育の情報化（梅田恭子他　実教出版株式会社） 小学校学習指導要領 教育の方法と技術（平沢茂編著、図書文化）
備　考	提出物の期限厳守。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
生徒指導論・教育相談	講義	2	選択		必修	2年・後期	盛　合　直　人
科目コード　SgZAA20903							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 教師としての意識で児童生徒とどのように接したらよいかを自問しながら積極的な姿勢で受講すること。
授業の目的・概要	①　生徒指導と教育相談についてよく理解し、児童生徒の人格形成について学ぶ。 ②　児童生徒の変化を感知し、児童生徒が抱える課題の発見と解決について学ぶ。 ③　児童生徒との共感的人間関係の構築、児童生徒の自己受容を促す方法を学ぶ。 ④　児童生徒が抱える課題を解決に導くために関係機関と連携する方策を学ぶ。 ⑤　課題や問題の発生を事前に察知し、未然に防ぐ方策を学ぶ。
到達目標	①　生徒指導及び教育相談を理解し、その違いが分かる。 ②　児童生徒が抱える課題の要因を探る方法と解決策について理解する。 ③　児童生徒との共感的人間関係の構築、児童生徒の自己受容について理解する。 ④　課題を的確に察知し、問題行動等の防止や早期解決の方策を学ぶ。
授業の進め方	各回、テーマを設定し授業を行う。 授業中は様々な発問をするので、進んで発言をする等意欲的な取り組みの姿勢が求められる。

第　1　回	生徒指導とは
【学修内容】	生徒指導と教育相談の違い及び授業の方針を理解する
【事前学修】	事前に生徒指導と教育相談について調べておく。（2時間）
【事後学修】	生徒指導と教育相談の実態や有効性について復習する。（2時間）
第　2　回	教育相談とは
【学修内容】	教育相談の定義及び児童・生徒理解について学ぶ
【事前学修】	教育相談の意義や定義について調べておく。（2時間）
【事後学修】	教育相談が生徒理解にどのように繋がるのか考察する。（2時間）
第　3　回	問題行動を理解
【学修内容】	問題となる行動の定義及び分類を理解する
【事前学修】	児童生徒の問題行動について事前に調べておく。（2時間）
【事後学修】	問題行動の実態の分類を整理する。（2時間）
第　4　回	問題行動の対策
【学修内容】	問題行動の防止と対策について学ぶ
【事前学修】	問題行動に対する防止策や対策を考えておく。（2時間）
【事後学修】	学習を通して自分の考えをまとめ、理解を深める。（2時間）
第　5　回	問題行動の対応
【学修内容】	問題行動に対する指導体制と対応について学ぶ
【事前学修】	問題行動に対する指導体制について事前に調べておく。（2時間）
【事後学修】	指導体制と適切な対応の在り方について理解を深める。（2時間）
第　6　回	いじめ問題を理解
【学修内容】	いじめの定義及びいじめの構造等を理解する
【事前学修】	いじめとは何か、また発生する構造を事前に考えておく。（2時間）
【事後学修】	いじめの定義とその構造について理解を深める。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　いじめ問題の対応 【学修内容】　いじめ問題の対応の要点及び児童生徒のケアについて学ぶ 【事前学修】　いじめに対する対応と児童生徒のケアはどうあるべきか事前に考えておく。（2時間） 【事後学修】　いじめの対応策や児童生徒のケアの在り方について理解を深める。（2時間） 第 8 回　幼少年期の課題 【学修内容】　幼少年期の子どもの発達段階の特徴を理解し、対応について学ぶ 【事前学修】　子どもの発達段階とはどのような特徴があるのか事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　子どもの発達段階の違いや特徴を知り、対応の違いを理解する。（2時間） 第 9 回　青年期の課題 【学修内容】　青年期の子どもの理解と対応について学ぶ 【事前学修】　青年期の子どもの特徴について事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　青年期の子どもの特徴を理解し、対応について理解を深める。（２時間） 第10 回　教育相談の理論 【学修内容】　教育相談の意義と方法について学ぶ 【事前学修】　教育相談とはどんなものか事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育相談の意義と重要性について理解する。（2時間） 第 11 回　教育相談の基礎 【学修内容】　教育相談の方法と取り組み方について学ぶ 【事前学修】　教育相談がどのように行われているか調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育現場での実際の取り組みを通し理解を深める。（2時間） 第12 回　教育相談の姿勢 【学修内容】　課題を抱える子どもたちに向かう支援者の姿を考える 【事前学修】　子どもたちがどのような悩みを抱えているか調べておく。（2時間） 【事後学修】　子どもたちに対する支援者のあるべき姿勢の理解を深める。（2時間） 第13 回　教育相談の体制 【学修内容】　教育相談の体制と業務について学ぶ 【事前学修】　教育現場における教育相談の様子を調べておく。（2時間） 【事後学修】　教育相談の体制と業務の理解を深める。（2時間） 第14 回　スクールカウンセラーの仕事 【学修内容】　スクールカウンセラー及びコーディネーターの役割を理解する 【事前学修】　スクールカウンセラーとコーディネーターについて事前に調べておく。（2時間） 【事後学修】　それぞれの仕事の違いを理解し、役割の重要性を理解する。（2時間） 第15 回　カウンセラーの姿勢 【学修内容】　あるがままの自分を愛するということを理解する 【事前学修】　自己理解とは何か事前に考えておく。（2時間） 【事後学修】　自己肯定する考え方について理解を深める。（2時間）
評　価　方　法	受講姿勢（関心・意欲・態度）（20%）、課題取組（意欲・知識・向上心）（40%）、ポートフォリオ（知識・向上心）（40%）を総合的に評価する。
教　　科　　書	使用しない。
参　　考　　書 参 考 資 料 等	生徒指導提要（文部科学省編、教育図書）
備　　考	実務経験のある教員：北海道内の公立学校における教育に関する実務経験を活かした授業を行う。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
教職実践演習	演習	2	選択		必修	2年・後期	鴫原 正世 田中 ゆかり
科目コード　SgZAB31001							担当形態：複数

教育実践に関する科目	科目に含める必要事項
	教育実践演習

受講する上での注意事項	栄養教諭免許取得には、本科目を履修することが必要である。 栄養教育実習を履修し、単位を修得した者に限る。
授業の目的・概要	教職の意義や栄養教諭の役割を理解し、「食に関する研究授業」の反省等実習を通して学んだ「教育に関する資質」と「栄養に関する専門性」を備えた栄養教諭として食教育をしていくためには、児童・生徒との関わり、地域との連携は、どうあるべきかを修得する。
到達目標	① 食に関する指導の意義や目標を理解し、子どもの特性や状況に応じた栄養教諭の専門性を活かした授業ができる。 ② 教職の意義や栄養教諭の役割を理解し、子どもの成長や健康・安全を考え行動することができる。 ③ 子どもの発達段階や心身の状況に応じて適切な指導を行うことができる。 ④ 他の教職員と協力して職務を遂行することができる。また、保護者や地域の関係者とも連携を図ることができる。
授業の進め方	講義、フィールドワーク等を行い、個別研究・研究発表・グループ討議を行う。 教師としての今後の目標や課題について、まとめる力を養う。

第 1 回　オリエンテーション
【学修内容】　教職実践演習の意義・目的・内容
【事前学修】　栄養教育実習の振り返りから各自の課題を確認する。（0.5時間）
【事後学修】　講義のまとめ・各自課題への取り組みの計画を考える。（0.5時間）
第 2 回　個別研究①
【学修内容】　学習指導案作成　目的
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 3 回　個別研究②
【学修内容】　学習指導案作成　本時の流れ
【事前学修】　研究授業の指導案修正。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 4 回　個別研究③
【学修内容】　学習指導案作成　細案・板書計画
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 5 回　個別研究④
【学修内容】　学習指導案作成　評価
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）
第 6 回　発表①
【学修内容】　発表・グループ討議　発表方法
【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間）
【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）

授　業　計　画	第　7　回　　発表② 【学修内容】　発表・グループ討議　媒体活用法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第　8　回　　発表③ 【学修内容】　発表・グループ討議　課題の解決法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第　9　回　　発表④ 【学修内容】　発表・グループ討議　全体のまとめ 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第10　回　　フィールドワーク① 【学修内容】　学校給食の現状調査・食指導の実際 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第 11 回　　グループ研究① 【学修内容】　学校給食についてグループディスカッション 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第12　回　　フィールドワーク② 【学修内容】　食材料の流通調査 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第13　回　　グループ研究② 【学修内容】　地場産物の知識 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第14　回　　グループ研究③ 【学修内容】　地場産物の活用法 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第15　回　　グループ研究④ 【学修内容】　食育活動　指導案作成 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第16　回　　グループ研究⑤ 【学修内容】　食育活動　媒体等指導方法の研究 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第17　回　　グループ研究⑥ 【学修内容】　食育活動　模擬授業 【事前学修】　食と教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第18　回　　グループ研究⑦ 【学修内容】　食育活動の実際（地域との連携） 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第19　回　　グループ研究⑧ 【学修内容】　食育活動の実際（対象者を考慮した指導） 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第20　回　　グループ研究⑨ 【学修内容】　食育活動の反省・今後の課題 【事前学修】　地域の食文化・教育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第21　回　　個別研究⑤ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　指導案作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第22　回　　個別研究⑥ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　献立作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間）

	第23 回　個別研究⑦ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導　指導媒体作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第24 回　個別研究⑧ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導案　細案作成 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第25 回　発表⑤ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　内容検討 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第26 回　発表⑥ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　発表方法 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第27 回　発表⑦ 【学修内容】　給食時間の個別研究発表　評価 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第28 回　発表⑧ 【学修内容】　給食を教材とした食に関する指導案グループディスカッション 【事前学修】　学校給食に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第29 回　まとめ① 【学修内容】　授業の振り返り 【事前学修】　栄養教育・食育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　講義の振り返り・各自の課題への取り組み。（0.5時間） 第30 回　まとめ② 【学修内容】　今後の課題・研究に向けて 【事前学修】　栄養教育・食育に関する情報に注目しまとめる。（0.5時間） 【事後学修】　全講義の振り返り・これからの取り組みに向けて。（0.5時間）

評価方法	レポート、個別研究、発表等を総合的に評価する（90%）、平常点（10%）
教科書	使用しない。
参考書 参考資料等	栄養教諭論　理論と実際（金田雅代編著、建帛社）、小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社）
備考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
栄養教育実習	実習	2	選択		必修	2年・前期	田　中　ゆかり
科目コード　SgZAC31002							担当形態：単独

	科目に含める必要事項
教育実践に関する科目	栄養教育実習（学校体験活動）

受講する上での注意事項	１年生で開講されている栄養教諭要件単位の全てを修得し、さらに実習内規細則に定める給食実習Ⅲの履修要件を満たさなければ、本科目を受講できない。積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	栄養教諭は、教育に関する資質と栄養に関する専門性を併せ持ち、次代の担い手である児童生徒に対し、望ましい食習慣を身に付けるために必要とされる専門領域の指導を行う教員である。 本講は、栄養教育の基礎的な知識と応用力を身に付けた上で、学外実習（小学校での実習）１単位と事前・事後指導１単位で構成される。 事前指導として、栄養教諭としての使命、職務内容を把握させた上で、「栄養教育実習」の意義、目的、心構えを自覚させ、指導案の作成方法、研究授業の進め方、評価の方法、実習ノートや報告書の作成方法等について演習形式で総合的に修得させる。事後指導として、実習反省会を通し問題点を整理・今後の課題を明確化させる。
到達目標	①　学習指導要領及び児童の実態を踏まえた適切な学習指導案の作成方法が分かり、具体的に内容を設定して指導案を作成することができる。 ②　学習指導に必要な基本的技術を身につけ、適切な場面で情報機器や媒体を活用できる。 ③　学校組織の中で栄養教諭の位置づけ、役割を学び職務内容を理解する。 ④　教科指導以外の様々な活動場面においても適切に児童と関わることができる。 ⑤　教科、学級活動、給食時間における食に関する指導案の立案・作成・指導ができる。
授業の進め方	小学校の実態を踏まえ、食指導にかかわるテーマに沿って指導案を作成する。 作成した指導案を基に、模擬授業を行い、検討し、より良い授業の構成を図る。 事前指導を学んだ後、小学校で実習を行う。

第　１　回	オリエンテーション
【学修内容】	栄養教育実習の意義と目的、栄養教育実習の心得
【事前学修】	栄養教育実習意義や目的について考えまとめる。（0.5時間）
【事後学修】	栄養教育実習に向けての心構えをまとめる。（0.5時間）
第　２　回	実習内容指導①
【学修内容】	学校校務分掌における栄養教諭の役割と職務内容
【事前学修】	栄養教育実習で学ぶ内容をまとめておく。（0.5時間）
【事後学修】	栄養教育実習に向けて課題をまとめる。（0.5時間）
第　３　回	実習内容指導②
【学修内容】	研究テーマ・実習校との打ち合わせについて
【事前学修】	研究テーマを考察し、実習校との打ち合わせの内容をまとめておく。（0.5時間）
【事後学修】	実習校との打ち合わせを基に栄養教育実習に向けての準備（0.5時間）
第　４　回	給食時間の指導案作成①
【学修内容】	給食時間の指導案作成
【事前学修】	給食時間の指導案に関する資料を集める。（0.5時間）
【事後学修】	指導案の見直しを行う。（0.5時間）
第　５　回	給食時間の指導案作成②
【学修内容】	給食時間の指導案（媒体・板書計画）
【事前学修】	給食時間の指導案に使用する媒体など準備する。（0.5時間）
【事後学修】	給食時間における食指導の特徴や指導の進め方についてまとめる。（0.5時間）
第　６　回	模擬授業①
【学修内容】	給食時間の授業の進め方・指導効果の評価
【事前学修】	給食時間における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間）
【事後学修】	模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間）

授　業　計　画	第 7 回　　模擬授業② 【学修内容】　授業検討会 【事前学修】　給食時間における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第 8 回　　食に関する指導案の作成① 【学修内容】　特別活動における指導案の作成 【事前学修】　特別活動の指導案に関する資料を準備する。（0.5時間） 【事後学修】　指導案の作成ポイントを振り返る。（0.5時間） 第 9 回　　食に関する指導案の作成② 【学修内容】　特別活動における指導案（媒体・板書計画） 【事前学修】　特別活動の指導案に使用する媒体など準備する。（0.5時間） 【事後学修】　特別活動における指導の特徴や進め方についてまとめる。（0.5時間） 第10 回　　模擬授業① 【学修内容】　特別授業の授業の進め方・指導効果の評価 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第 11 回　　模擬授業② 【学修内容】　特別活動における情報機器の活用法 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第12 回　　模擬授業③ 【学修内容】　授業検討会 【事前学修】　特別活動における食に関する指導内容について模擬授業の練習をする。（0.5時間） 【事後学修】　模擬授業の評価をまとめ指導案を考察する。（0.5時間） 第13 回　　教育実習の実際 【学修内容】　実習日誌ついて 【事前学修】　実習ノートを熟読し記載内容の確認を行う。（0.5時間） 【事後学修】　栄養教育実習に向けて取り組むことを整理する。（0.5時間） 第14 回　　直前指導　教育実習 【学修内容】　教育実習に向けての確認事項 【事前学修】　実習ノートを熟読し記載内容の確認を行う。（0.5時間） 【事後学修】　栄養教育実習に向けて取り組むことを整理する。（0.5時間） 教育実習 ＜学外実習＞ ・学校経営・校務分掌の理解、服務 ・児童への個別的な相談指導について ・学級活動及び給食時間における指導・参観 ・教科等における担任等と連携した指導の参観 ・指導計画・指導案の立案作成、教材研究 ・食に関する指導の連携調整の実習 ＊実習１日につき 【事前学修】　実習内容等の基礎的知識を予習する。（0.5時間） 【事後学修】　実習ノートの整理と実習で学んだ知識技術等を復習する。（0.5時間） 第15 回　　教育実習反省報告会 【学修内容】　教育実習の振り返り・反省・今後の課題、実習報告書作成 【事前学修】　報告書を作成する。（0.5時間） 【事後学修】　報告会を通してこれからの自分の課題について整理する。（0.5時間）
評　価　方　法	実習校評価（30%）　実習日誌（30%）事前授業課題（提出物・事前授業等）（30%）実習報告書（10%）
教　　科　　書	小学校学習指導要領（文部科学省編、東洋館出版社） 栄養教諭論理論と実際（金田雅代編著　建帛社）
参　考　書 参考資料等	必要に応じ資料等を配付する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
調理科学演習	演習	2	選択			2年・後期	村　山　はるか
科目コード　SgZZB21101							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	元来調理技術は、コツや勘、感覚等先人が長年に渡り培ってきた経験を伝承し、受け継がれてきたものである。また食材に適した調理は、その特性を最大限に引き出し、嗜好を満足させ、健康の維持・増進にもつながる。 本科目では、科学的な裏付けによる食品の調理特性について、講義・実習を通して体系的に学修する。
到達目標	科学的な裏付けによる食品の調理特性について理解し、実際の調理につなげることができる。
授業の進め方	講義：配付プリント等を中心に授業を進める。 実習：講義で学んだ内容について実習する。

第　1　回　　オリエンテーション
【学修内容】　授業概要、調理科学について
【事前学修】　シラバスにて授業内容等を確認。（2時間）
【事後学修】　オリエンテーションの内容や配付プリントの復習、課題の取り組み。（２時間）
第　2　回　　植物性食品の特性と調理科学①
【学修内容】　食品の色に関する実験
【事前学修】　教科書等で天然色素について予習。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習。　（２時間）
第　3　回　　植物性食品の特性と調理科学①
【学修内容】　食品の色に関する実験
【事前学修】　教科書等で天然色素について予習。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習。　（２時間）
第　4　回　　動物性・植物性食品の特性と調理科学
【学修内容】　カカオの特性
【事前学修】　教科書等でカカオ及びチョコレートについて予習。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習。　（２時間）
第　5　回　　動物性・植物性食品の特性と調理科学
【学修内容】　カカオの特性
【事前学修】　教科書等でカカオ及びチョコレートについて予習。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリントを復習。　（２時間）
第　6　回　　調理科学の応用①
【学修内容】　乳・乳製品セミナー
【事前学修】　教科書等で乳・乳製品について予習。（２時間）
【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間）

授　業　計　画	第　7　回　　調理科学の応用① 【学修内容】　乳・乳製品セミナー 【事前学修】　教科書等で乳・乳製品について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第　8　回　　調理科学の応用② 【学修内容】　北海道米セミナー 【事前学修】　教科書等で北海道米について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第　9　回　　調理科学の応用② 【学修内容】　北海道米セミナー 【事前学修】　教科書等で北海道米について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 10 回　　植物性食品の特性と調理科学② 【学修内容】　デンプンと藻類の特性 【事前学修】　教科書等で食品添加物について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 11 回　　植物性食品の特性と調理科学② 【学修内容】　デンプンと藻類の特性 【事前学修】　教科書等で食品添加物について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 12 回　　調理科学の応用③ 【学修内容】　多国籍料理 【事前学修】　教科書等で韓国文化について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 13 回　　調理科学の応用③ 【学修内容】　多国籍料理 【事前学修】　教科書等で韓国文化について予習。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 14 回　　調理科学理論に基づく調理実践 【学修内容】　考案レシピ実施 【事前学修】　調理科学に基づくレシピの作成。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間） 第 15 回　　調理科学理論に基づく調理実践 【学修内容】　考案レシピ実施 【事前学修】　調理科学に基づくレシピの作成。（２時間） 【事後学修】　授業内容及び配付プリント復習。（２時間）
評　価　方　法	平常点（80%）、提出物（10%）、平素の受講態度等（10%）を加味する。
教　　科　　書	プリント教材
参　　考　　書 参 考 資 料 等	食品成分表（香川明夫監修、女子栄養大学出版部） ほか、適宜紹介する。
備　　考	特に記載事項なし。

授業科目名	形態	単位	卒業	栄養士	栄養教諭	開設年次・開講期	担当教員
フードコーディネート論	演習	2	選択			2年・後期	遠田 悦子
科目コード　SgZZB21102							担当形態：単独

	科目に含める必要事項

受講する上での注意事項	積極的な態度で受講することが望まれる。
授業の目的・概要	現在、多くの生活情報が氾濫している中で、食生活においては、消費者の安全志向、健康志向、簡便性志向、食の質向上志向が高まり、おいしく調理できる食物、快適な食卓の整え方等、食生活情報の提供と情報の正しい選択が強く求められている。 このような現状を背景として、本論では、食の分野の専門職を目指し、食物自体の栄養やおいしさだけでなく、食べる人の体調やその食物に対する心情、食べる環境等が関わる総合的な場面を構築するため、食物のおいしさについての基礎的な知識を修得し、メニュープランニングやサービスマナー等を含め、食全体にわたる実践的知識を身に付ける。
到達目標	①　生理的・心理的な影響について学修し、おいしさの本質を理解する。 ②　日本の食文化史と行事食、郷土料理について基礎知識を身に付ける。 ③　世界各国の食及び食習慣、食物禁忌等を学修し、日本の食と外国との相違点等を理解する。 ④　日本及び世界の食様式とマナーを学修し、実践的なメニュープランニングやコーディネートができる。
授業の進め方	教科書を中心に進め、参考資料、プリントの配付と取り組み、映像資料等の活用を行い授業を展開する。

第 1 回　フードコーディネートとは
【学修内容】　現代における食にまつわる問題点
【事前学修】　新聞をはじめとした各メディアの記事から食にまつわる話題に目を通す。（2時間）
【事後学修】　授業で扱った内容について自分の意見をまとめる。（2時間）

第 2 回　フードコーディネートの基本理念
【学修内容】　おいしさとは
【事前学修】　「おいしい」とはどういうことか、教科書の1章の内容を中心に目を通しておく。（2時間）
【事後学修】　より多くの人に「美味しい」と言っていただけるにはどんなことが必要かまとめる。（2時間）

第 3 回　食事文化とその課題　Ⅰ
【学修内容】　日本の食文化と年中行事
【事前学修】　日本の行事にはどのようなものがあるか予習しておく。（2時間）
【事後学修】　興味を持った年中行事について、調べを深める。（2時間）

第 4 回　食事文化とその課題　Ⅱ
【学修内容】　日本の食事文化の創造と変容
【事前学修】　数多くある日本の料理のルーツを調べる。（2時間）
【事後学修】　日本の食事文化の特徴をまとめる。（2時間）

第 5 回　世界の食事文化　Ⅰ
【学修内容】　食文化と食物禁忌
【事前学修】　宗教にまつわる食物禁忌とは何か予習しておく。（2時間）
【事後学修】　食物禁忌はなぜ生まれたのか、授業の内容を参考に自分の考えをまとめる。（2時間）

第 6 回　世界の食事文化　Ⅱ
【学修内容】　各国の料理様式
【事前学修】　日本と国外の料理様式について教科書5章を読んでおく。（2時間）
【事後学修】　教科書に出てくる各国の献立例から、わからない料理を調べてまとめる。（2時間）

授　業　計　画	第 7 回　テーブルウェアーと食卓の演出　Ⅰ 【学修内容】　食器、食具 【事前学修】　日本と世界の器の違いについて調べておく。（２時間） 【事後学修】　日本の食具の特徴を授業内容からまとめる。（２時間） 第 8 回　テーブルウェアーと食卓の演出　Ⅱ 【学修内容】　テーブルセッティング 【事前学修】　季節や行事によるセッティングの基本を予習する。（２時間） 【事後学修】　各国の料理様式の使用する食器類について特徴をまとめる。（２時間） 第 9 回　食卓のサービスとマナー　Ⅰ 【学修内容】　基本と日本料理 【事前学修】　サービスとマナーの基本理念を教科書４章を読み、予習する。（２時間） 【事後学修】　日本の食事作法の成り立ちなどを調べてまとめる。（２時間） 第 10 回　食卓のサービスとマナー　Ⅱ 【学修内容】　西洋料理と中国料理 【事前学修】　西洋と中国料理におけるサービスとマナーの違いについて、教科書に目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　サービスとマナーの国際化について考察する。（２時間） 第 11 回　食空間のコーディネート 【学修内容】　食事における色の役割 【事前学修】　色による食欲や評価などへの影響を、教科書から探して目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　食事場所や料理の盛り付け等、効果的な色使いについて使用テキストを参考に考察する。（２時間） 第 12 回　現代の食環境 【学修内容】　変わりゆく食卓 【事前学修】　現代社会において、食に関して問題になっている事柄を箇条書きにする。（２時間） 【事後学修】　授業で取り上げた食に関する問題点についての感想をまとめる。（２時間） 第 13 回　食企画の実践コーディネートⅠ 【学修内容】　食企画の構成と役割 【事前学修】　授業で学んだ各国料理の献立構成の復習として、配付プリントや教科書に目を通す。（２時間） 【事後学修】　食企画に必要なスキルについてまとめる。（２時間） 第 14 回　食企画の実践コーディネートⅡ 【学修内容】　第１３回目で学んだ内容について具体的に計画する。 【事前学修】　前回の内容の復習と具体案を考える。（２時間） 【事後学修】　具体案の内容を確認、修正。（２時間） 第 15 回　まとめ 【学修内容】　授業で学んだ事柄を食企画の構成としてまとめる。 【事前学修】　授業全般で配付、実施したプリント類を整理し、目を通しておく。（２時間） 【事後学修】　授業を終えてみて疑問に思ったことや、さらに深めてみたいことを見つけて調べる。（２時間）
評　価　方　法	筆記試験（80%）、提出物等（10%）、平常点（10%）平素の受講態度等を加味する。
教　　科　　書	フードコーディネート論（日本フードスペシャリスト協会編、建帛社） たのしい！おいしい！テーブル・カラー・コーディネート（日本色研事業）
参　考　書 参 考 資 料 等	適宜紹介する 。
備　　考	特に記載事項なし。